

土佐町地域公共交通計画

令和6年3月

土 佐 町

目次

第1章 はじめに	1
1.1 計画策定の目的	1
1.2 計画の位置づけ	1
1.3 計画の区域	2
1.4 計画の期間	2
第2章 土佐町の現状	3
2.1 本町の概況	3
(1) 位置・地勢	3
(2) 道路交通網	3
2.2 人口・世帯状況	4
(1) 人口及び年齢3区分別人口の推移	4
(2) 地区別人口及び高齢化率の推移	5
(3) 小学生・中学生の推移	8
(4) 世帯構成	8
2.3 移動状況	9
(1) 通勤・通学流動	9
(2) 移動手段	11
2.4 土地利用状況	12
2.5 施設立地状況	13
(1) 施設全体	13
(2) 公共施設	14
(3) 商業施設	16
(4) 医療施設	17
(5) 学校教育系施設、子育て支援施設	18
(6) 保健・福祉施設	19
(7) 金融機関	20
2.6 運転免許の保有・返納状況	21
(1) 運転免許の保有状況	21
(2) 運転免許の返納状況	21
第3章 上位・関連計画の概要	22
3.1 土佐町の計画	22
(1) 第7次土佐町振興計画（令和3年4月策定）	22
(2) 土佐町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月策定）	22
(3) 土佐町SDGs未来都市計画（令和2年9月策定）	23

(4) 土佐町過疎地域持続的発展計画書（令和3年9月策定）	24
(5) 第3期土佐町地域福祉計画（令和2年3月策定）	25
(6) 土佐町高齢者保健福祉計画（第9次）・介護保険事業計画（第8期）（令和3年3月策 定）	26
(7) 土佐町第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3年3月策定）	27
3.2 広域の交通計画	28
(1) 高知県地域公共交通計画（令和5年3月策定）	28
(2) 高知県嶺北地域公共交通網形成計画（平成31年3月策定）	31
第4章 土佐町の地域公共交通の現状	36
4.1 地域公共交通の概要	36
(1) 町内を運行する公共交通	36
(2) その他の移動手段	36
4.2 路線バス	37
(1) 運行概要	37
(2) 年間輸送人員の推移	46
(3) 本町の補助金負担額の推移	47
(4) 高齢者通院バス料金助成実施事業	48
(5) 利用状況（乗降調査）	48
4.3 チョイソコとさちょう（実証運行中）	54
(1) 運行概要	54
(2) 利用状況	58
4.4 タクシー	84
(1) 概要	84
(2) 土佐町福祉タクシー事業	86
(3) 透析患者の送迎	86
4.5 通学支援（スクールバス）	87
4.6 その他の移動手段	88
(1) 移動販売	88
(2) デイサービス・デイケア	88
(3) 社会福祉協議会	89
4.7 本町の公共交通への公的負担の推移	90
4.8 交通結節点の整備状況	91
(1) 田井バス停	91
(2) 大杉駅	91
4.9 公共交通空白地域	92
4.10 公共交通に対する住民ニーズ（アンケート調査）	93
(1) 目的	93
(2) 調査概要	93

(3) 調査結果（概要）	93
4.11 ヒアリング調査	96
(1) 嶺北観光自動車（路線バス、スクールバス）	96
(2) 合同会社いしはらの里（チョイソコとさちょう）	99
(3) 嶺北交通（タクシー）	102
(4) 川田ハイヤー（タクシー）	104
(5) 末広ショッピングセンター【とくし丸】（移動販売）	105
第5章 地域公共交通に関する課題の整理	108
第6章 地域公共交通の形成に向けた基本方針	110
6.1 地域公共交通が目指す将来像	110
6.2 計画の基本方針	110
基本方針① 地域住民の生活を支え、誰もが利用できる公共交通の構築	110
基本方針② わかりやすく利用しやすい公共交通の環境の整備	110
基本方針③ 共につくる持続可能な公共交通の維持・確保	110
6.3 地域公共交通の将来イメージ	111
(1) 地域公共交通の将来イメージ（5年後）	111
(2) 地域公共交通の将来イメージ（中長期）	112
6.4 地域公共交通の位置づけ	113
(1) 交通手段の位置づけ	113
(2) 交通結節点の位置づけ	113
第7章 基本方針を実現するための事業	114
7.1 事業体系	114
7.2 事業の主な内容	115
基本方針① 地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの実現	115
基本方針② わかりやすく利用しやすい公共交通の環境整備の実現	120
基本方針③ 共につくる持続可能な公共交通の実現	123
第8章 計画の評価指標と進捗管理	125
8.1 計画の評価指標の設定	125
8.2 計画の実施及び進捗管理の体制	126
(1) 計画の進捗管理	126
(2) 計画期間全体の取組スケジュール	126

第1章 はじめに

1.1 計画策定の目的

本町の地域公共交通は、嶺北観光自動車が運行する路線バス、タクシー事業者（嶺北交通、川田ハイヤー）があり、路線バスが運行していない地区もあります。

「第7次土佐町振興計画」策定のための令和2年2月に無作為抽出した18歳以上の町民427人から回答を得たアンケートでは、公共交通の充実を「実感できない」（「全く、実感できない」＋「あまり実感できない」）と回答した割合は36.8%で生活基盤づくりの項目のなかで最も高い割合であり、「安心して暮らし続けることができるまち」を実現するための取組が求められており、令和3年度より一部地区で乗合送迎サービスの実証事業を実施しています。

本町では少子高齢化の進展と人口減少、自家用車の普及に伴い、公共交通機関の利用者は減少傾向にありますが、高齢者等の交通弱者の移動手段としてのニーズは高まってきています。

これらの状況を踏まえ、本町の上位計画である「第7次土佐町振興計画」などに基づき、「地域住民の生活を支え、共につくる持続可能な公共交通」を目指す将来像として掲げ、地域公共交通全体のビジョンを示し、事業を推進するための「土佐町地域公共交通計画」を策定します。

1.2 計画の位置づけ

本計画は、「第7次土佐町振興計画」を上位計画とし、各関連計画と整合性を図りながら、本町において望ましい公共交通のあり方を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。

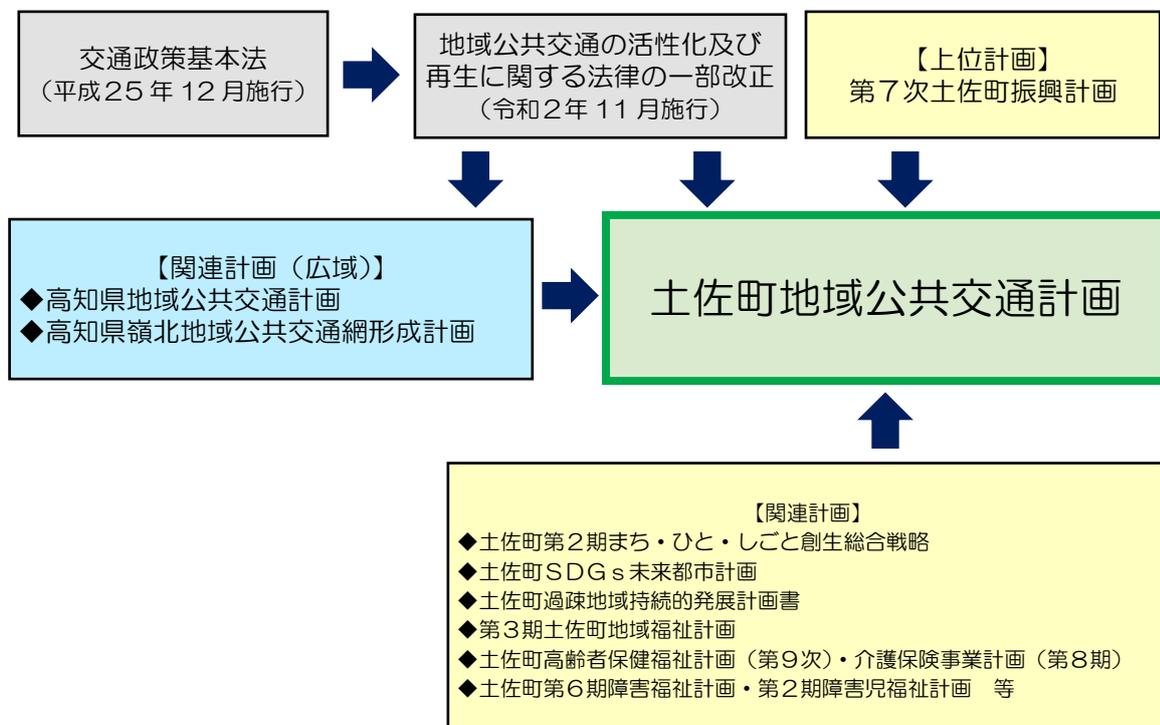


図 1.2-1 計画の位置づけ

1.3 計画の区域

本計画の対象区域は、土佐町の全域とします。

1.4 計画の期間

本計画の期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度とし、おおむね5年ごとに見直しを実施します。

なお、期間内においても必要に応じて、計画の見直し・修正を行います。

第2章 土佐町の現状

2.1 本町の概況

(1) 位置・地勢

土佐町は、四国の中央部、吉野川の源流域にあり、東は長岡郡本山町、西は吾川郡いの町、南は南国市、高知市、北は大川村及び愛媛県四国中央市に隣接しています。東西南北それぞれ約20km、行政面積は212.13km²です。

土佐町役場から大豊町のJR大杉駅まで車で片道26分程度かかります。

(2) 道路交通網

公共交通の運行の基本となる土佐町の主要道路は、広域的に本町と他市町村を結ぶ道路として町域中心部を国道439号が東西に走っており、この主要道路を補完するように県道・町道等が町内各地区・集落を連絡するように形成されています。

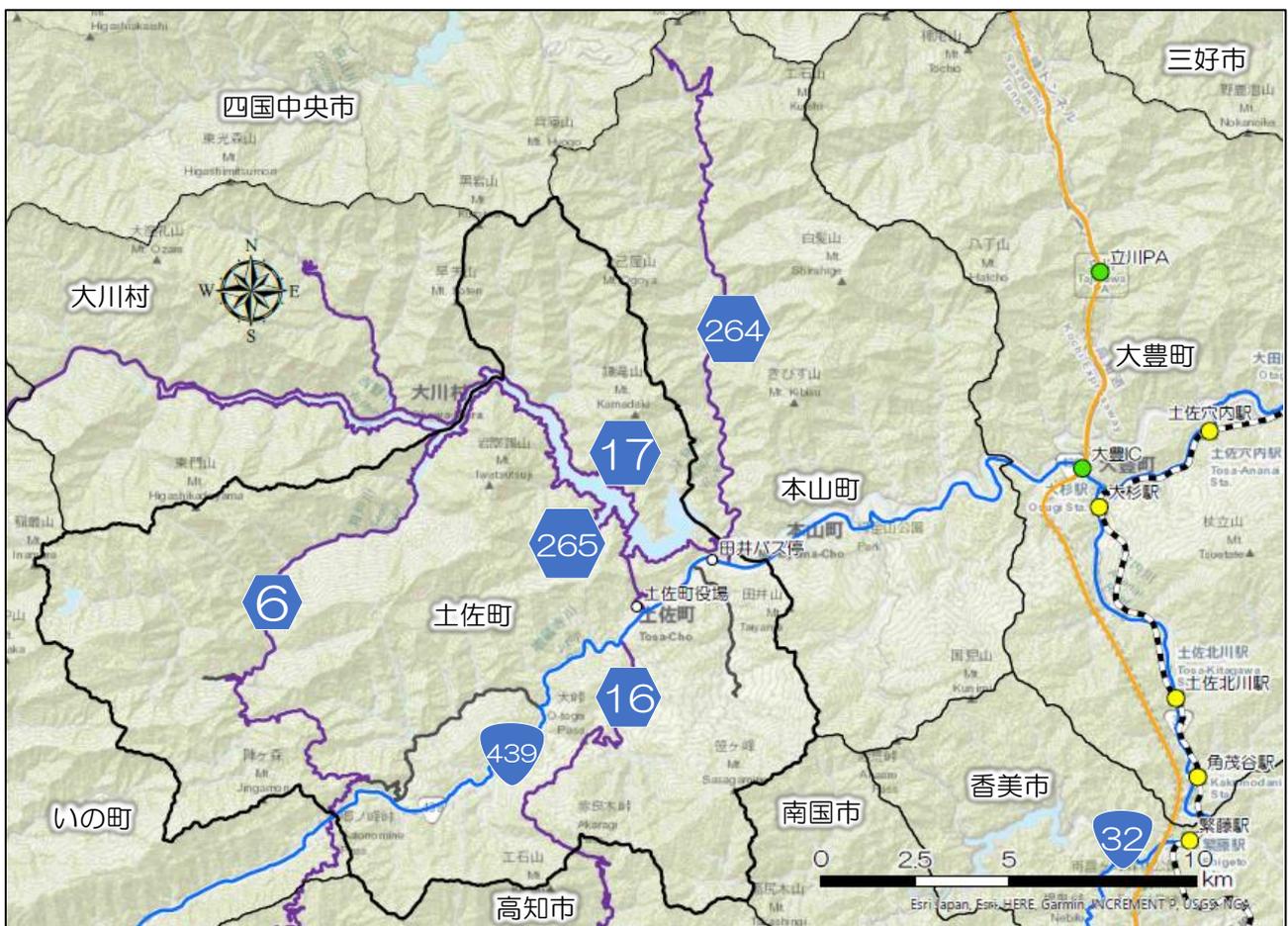


図 2.1-1 道路網図

2.2 人口・世帯状況

(1) 人口及び年齢3区分別人口の推移

土佐町の近年の人口は、昭和 55（1985）年の 6,663 人をピークに減少傾向にあり、令和 2（2020）年には 3,753 人にまで減少しています。令和 32（2050）年の人口は 2,161 人と推定され、令和 2（2020）年と比べて約 42.4%減少するとされています。

年齢3区分別人口の割合をみると、高齢者人口の割合は令和 32（2050）年には約 50.9%に達すると見込まれており、人口の半分が高齢者となります。

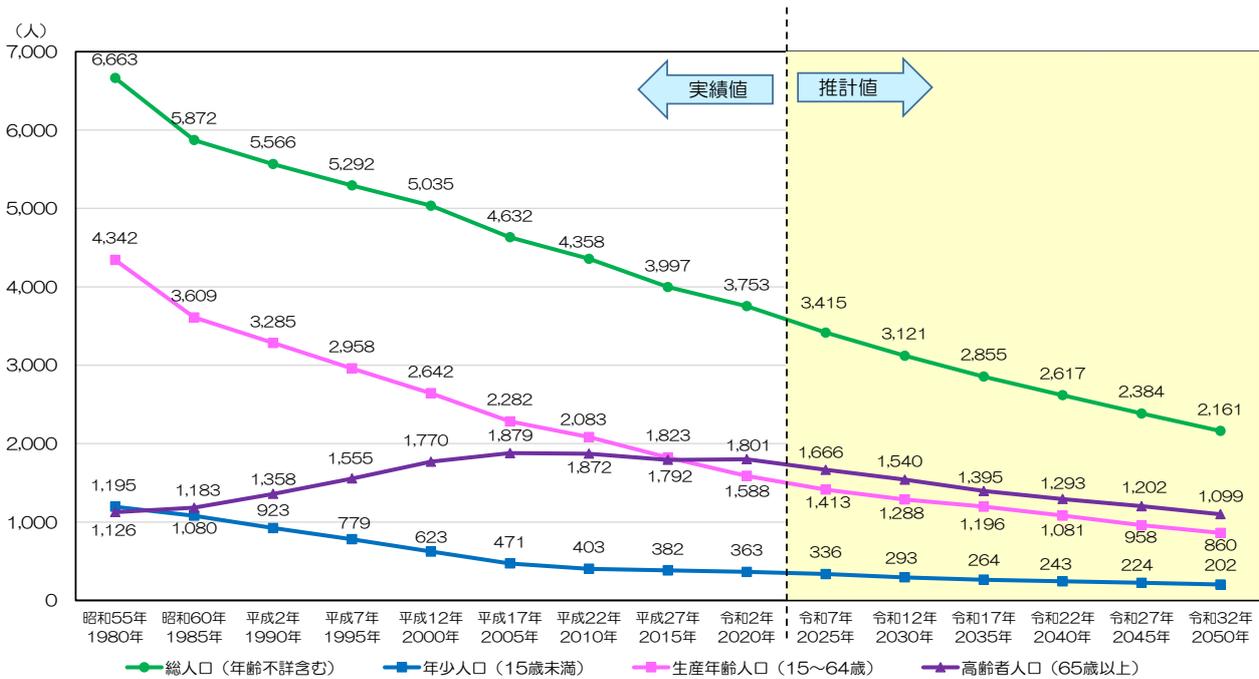


図 2.2-1 人口の推移

出典：令和2年までは国勢調査、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の「日本の地域別将来推計人口」（令和5（2023）年推計）

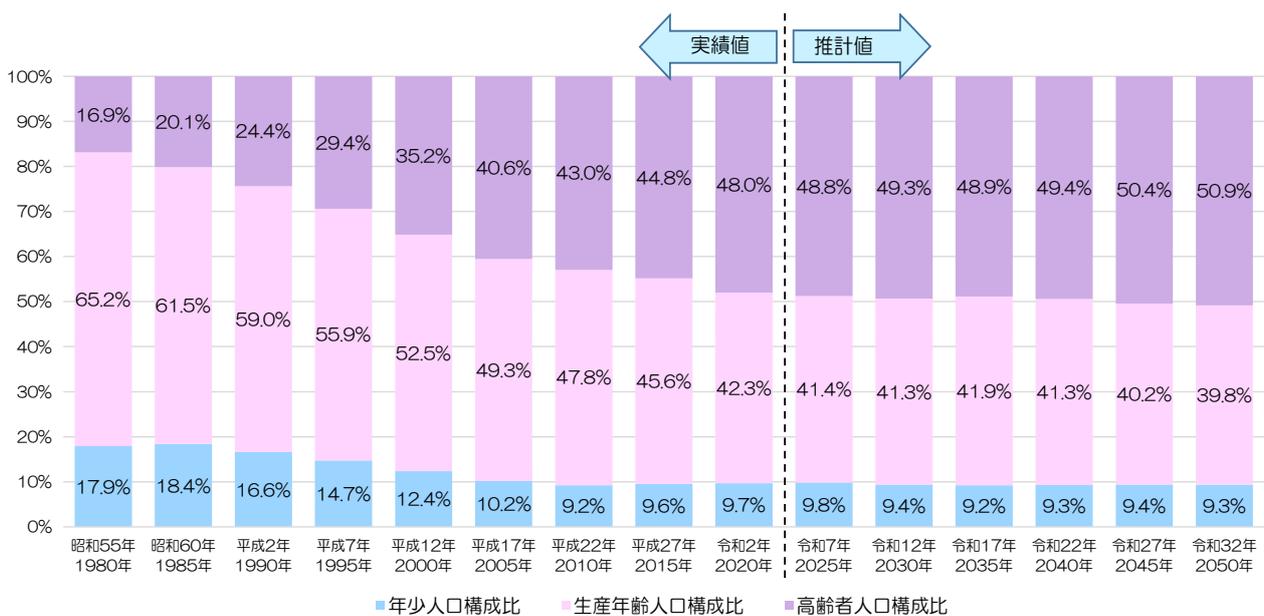


図 2.2-2 年齢3区分別人口割合の推移

出典：令和2年までは国勢調査、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の「日本の地域別将来推計人口」（令和5（2023）年推計）

(2) 地区別人口及び高齢化率の推移

人口の総数が最も多い地区は、田井地区で 1,365 人となっています。

平成 30 年から令和 4 年までの地区別の人口推移をみると、旧吉野村地区以外の地区では減少しており、減少率が高いのは瀬戸地区（△30.8%）となっています。

表.2-1 地区別の人口構成比

(単位：人(上段)、%(下段))

地区名	総数 (年齢「不詳」含まない)	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
瀬戸	36 (100.0)	0 (0.0)	13 (36.1)	23 (63.9)
石原	298 (100.0)	20 (6.7)	124 (41.6)	154 (51.7)
地藏寺	214 (100.0)	19 (8.9)	91 (42.5)	104 (48.6)
平石	73 (100.0)	7 (9.6)	25 (34.3)	41 (56.2)
相川	393 (100.0)	59 (15.0)	174 (44.3)	160 (40.7)
森	852 (100.0)	83 (9.7)	381 (44.7)	388 (45.5)
和田	58 (100.0)	1 (1.7)	17 (29.3)	40 (69.0)
松ヶ丘	222 (100.0)	19 (8.6)	109 (49.1)	94 (42.3)
田井	1,365 (100.0)	137 (10.0)	642 (47.0)	586 (42.9)
旧吉野村	23 (100.0)	6 (26.1)	8 (34.8)	9 (39.1)
南川	28 (100.0)	2 (7.1)	9 (32.1)	17 (60.7)
合計	3,562 (100.0)	353 (9.9)	1,593 (44.7)	1,616 (45.4)

出典：住民基本台帳（令和 4 年 4 月 1 日現在で、外国人を含む。）

※住民基本台帳によるデータであり、国勢調査値とは異なる。

表.2-2 地区別人口の推移

(単位：人、%)

地区名	平成30年 2018年 A	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年 B	増減 C B-A	増減率 C/A
瀬戸	52	51	46	41	36	△ 16	△ 30.8
石原	329	322	314	306	298	△ 31	△ 9.4
地藏寺	237	238	235	229	214	△ 23	△ 9.7
平石	82	83	77	76	73	△ 9	△ 11.0
相川	448	434	416	403	393	△ 55	△ 12.3
森	913	887	857	861	852	△ 61	△ 6.7
和田	63	63	63	65	58	△ 5	△ 7.9
松ヶ丘	258	249	246	242	222	△ 36	△ 14.0
田井	1,501	1,475	1,506	1,446	1,365	△ 136	△ 9.1
旧吉野村	20	18	16	24	23	3	15.0
南川	33	32	31	30	28	△ 5	△ 15.2
合計	3,936	3,852	3,807	3,723	3,562	△ 374	△ 9.5

出典：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在で、外国人を含む。）

※住民基本台帳によるデータであり、国勢調査値とは異なる。

本町の高齢者率は、平成30年では44.3%でしたが、令和4年には1.1%増加した45.4%となっています。

地区別で見ると高齢化率が最も多い高い地区（令和4年）は、和田地区で69.0%となっており、次いで瀬戸地区（63.9%）、南川地区（63.0%）の順になっています。

表.2-3 地区別高齢化人口・高齢化率の推移

(単位：人(上段)、%(下段))

地区名	平成30年 2018年 A	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年 B	増減 C B-A
瀬戸	31 (59.6)	32 (62.8)	28 (60.9)	24 (58.5)	23 (63.9)	△ 8 (4.3)
石原	166 (50.5)	162 (50.3)	157 (50.0)	159 (52.0)	154 (51.7)	△ 12 (1.2)
地藏寺	121 (51.1)	116 (48.7)	111 (47.2)	109 (47.6)	104 (48.6)	△ 17 -(2.5)
平石	44 (53.7)	44 (53.0)	42 (54.6)	43 (56.6)	41 (56.2)	△ 3 (2.5)
相川	173 (38.6)	167 (38.5)	163 (39.2)	162 (40.2)	160 (40.7)	△ 13 (2.1)
森	391 (42.8)	382 (43.1)	395 (46.1)	396 (46.0)	388 (45.5)	△ 3 (2.7)
和田	39 (61.9)	39 (61.9)	39 (61.9)	40 (61.5)	40 (69.0)	1 (7.1)
松ヶ丘	115 (44.6)	109 (43.8)	111 (45.1)	109 (45.0)	94 (42.3)	△ 21 -(2.2)
田井	632 (42.1)	620 (42.0)	612 (40.6)	609 (42.1)	586 (42.9)	△ 46 (0.8)
旧吉野村	12 (57.1)	11 (57.9)	10 (58.8)	10 (40.0)	9 (37.5)	△ 3 -(19.6)
南川	20 (62.5)	20 (64.5)	19 (63.3)	18 (62.1)	17 (63.0)	△ 3 (0.5)
合計	1,744 (44.3)	1,702 (44.2)	1,687 (44.3)	1,679 (45.1)	1,616 (45.4)	△ 128 (1.1)

出典：住民基本台帳（各年4月1日現在で、外国人を含む。）

※住民基本台帳によるデータであり、国勢調査値とは異なる。

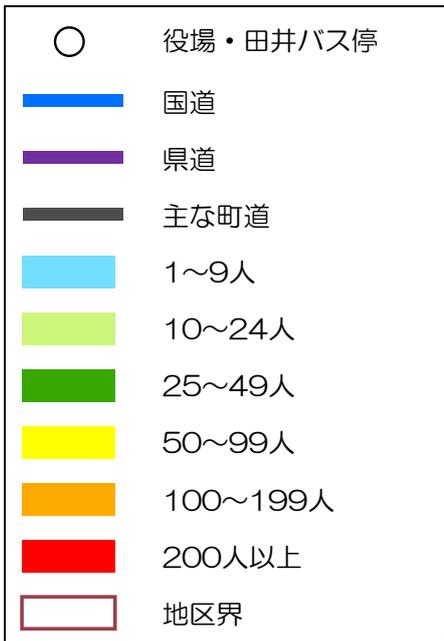
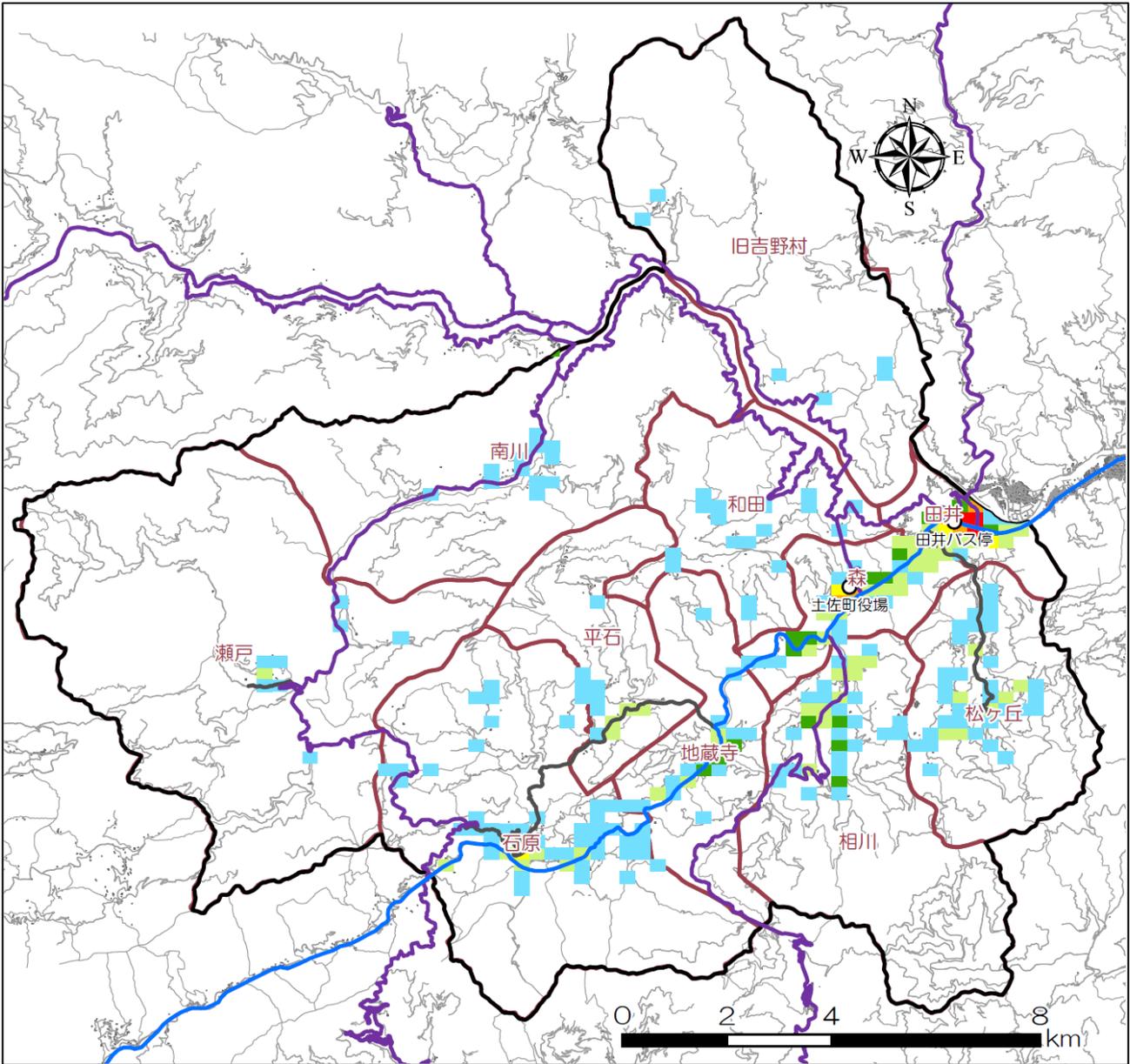


図 2.2-3 総人口の分布図

出典：令和2年国勢調査 250mメッシュデータ

(3) 小学生・中学生の推移

平成30年度から令和4年度の小学生・中学生（人口）をみると、約220～230人の間で推移しています。

表.2-4 小学生・中学生の推移

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学生	153	161	161	148	158
中学生	70	70	67	74	72
合計	223	231	228	222	230

出典：土佐町（学校基本調査）

(4) 世帯構成

平成30年から令和4年までの地区別の世帯の推移をみると、相川地区・旧吉野村地区以外の地区では減少・維持しており、減少率が高いのは瀬戸地区（△21.2%）となっています。

表.2-5 世帯構成

(単位：世帯)

項目	総数
一般世帯総数	1,610
核家族世帯 (一般世帯数に占める割合)	842 52.3%
3世代世帯数 (一般世帯数に占める割合)	77 4.8%
夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯 (一般世帯数に占める割合)	296 18.4%
65歳以上の単身世帯数 (一般世帯数に占める割合)	385 23.9%

※ 核家族世帯とは、次のものをいいます。
1) 夫婦のみの世帯
2) 夫婦と子供から成る世帯
3) 男親と子供から成る世帯
4) 女親と子供から成る世帯

出典：令和2年国勢調査

表.2-6 世帯の推移

(単位：世帯、%)

地区名	平成30年 2018年 A	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年 B	増減 C B-A	増減率 C/A
瀬戸	33	33	31	29	26	△7	△21.2
石原	167	161	161	162	160	△7	△4.2
地藏寺	116	115	119	115	113	△3	△2.6
平石	43	42	39	37	37	△6	△14.0
相川	164	163	158	162	165	1	0.6
森	478	466	462	464	463	△15	△3.1
和田	36	37	37	37	38	2	5.6
松ヶ丘	118	114	114	112	107	△11	△9.3
田井	782	775	786	756	762	△20	△2.6
旧吉野村	9	9	7	10	9	0	0.0
南川	19	18	18	18	18	△1	△5.3
合計	1,965	1,933	1,932	1,902	1,898	△67	△3.4

出典：住民基本台帳（各年4月1日現在で、外国人を含む。）
※住民基本台帳によるデータであり、国勢調査値とは異なる。

2.3 移動状況

(1) 通勤・通学流動

町内在住の通勤者（15歳以上）・通学者（15歳以上）1,926人の通勤・通学地についてみると、町内に通勤・通学している人が1,388人（72.1%）、他市町村に通勤・通学している人が516人（26.8%）となっています。

通勤・通学流動の流出人口が最も多いのは本山町270人（52.3%）であり、次いで高知市81人（15.7%）となっています。

一方、流入人口が最も多いのも本山町217人（46.3%）であり、次いで高知市112人（23.9%）となっています。

表 2.3-1 土佐町内在住の通勤・通学の状況

	町内在住の通勤の状況 (人)	町内在住の通学の状況 (人)	町内在住の通勤・ 通学の状況 (人)	割合
町内に通勤・通学	1,372	16	1,388	72.1%
他市町村に通勤・通学	442	74	516	26.8%
不詳	21	1	22	1.1%
合計	1,835	91	1,926	100.0%

出典：令和2年国勢調査

表 2.3-2 通勤・通学の状況（流入・流出）

	流入 (人)	流出 (人)	町外の流入 構成比	町外の流出 構成比
土佐町外	469	516		
本山町	217	270	46.3%	52.3%
高知市	112	81	23.9%	15.7%
大豊町	56	63	11.9%	12.2%
南国市	43	32	9.2%	6.2%
大川村	8	23	1.7%	4.5%
いの町	13	12	2.8%	2.3%
香美市	3	6	0.6%	1.2%
その他市町村	17	29	3.6%	5.6%

出典：令和2年国勢調査

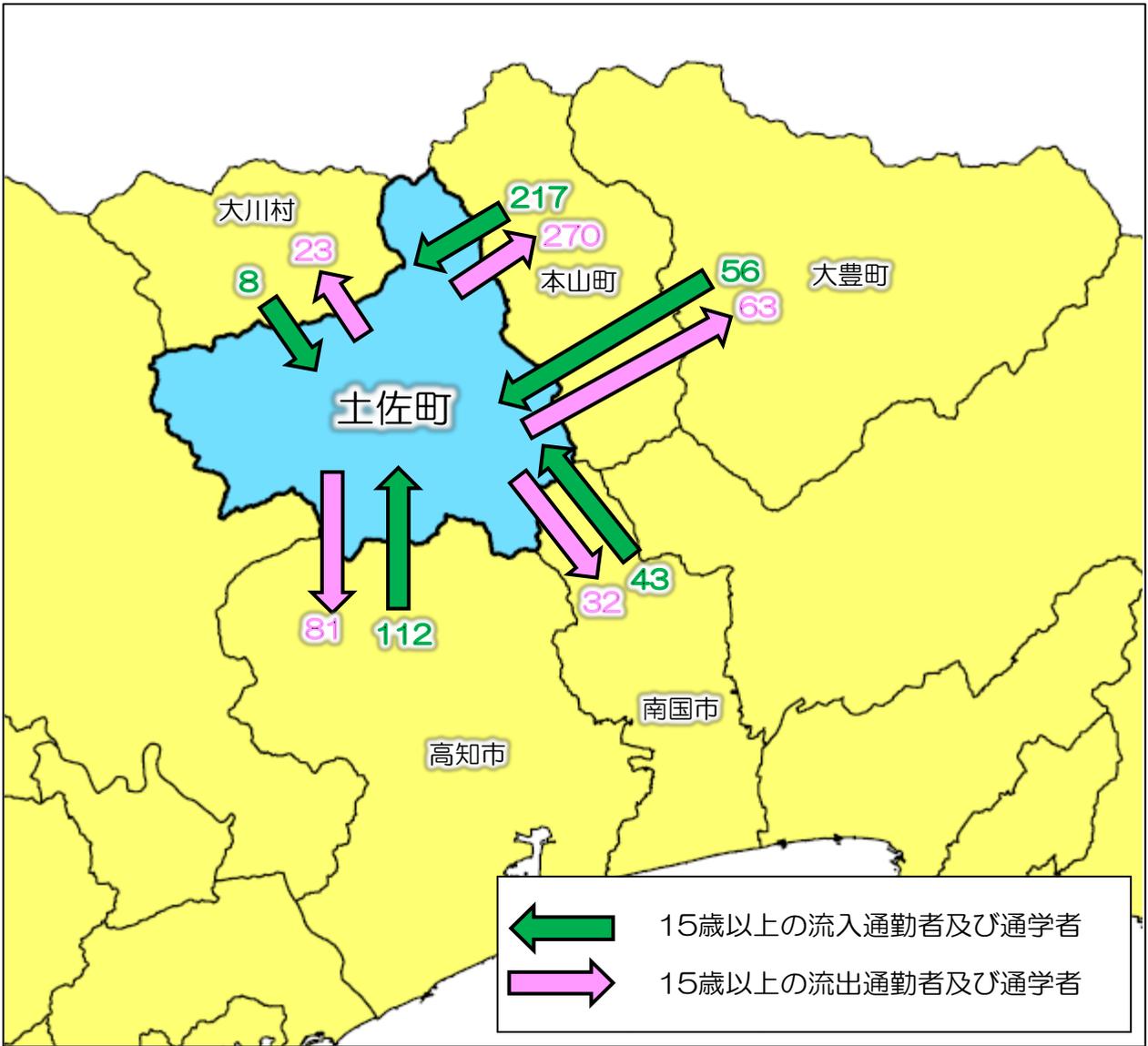


図 2.3-1 通勤者・通学者の状況（流入・流出）【上位5市町村】

出典：令和2年国勢調査

(2) 移動手段

自宅以外で土佐町内に通勤・通学している人及び他市町村に通勤・通学している人の利用交通手段の割合をみると、自家用車が最も多く 79.1%を占めています。公共交通である鉄道・電車は 0.5%、乗合バスは 0.8%で低くなっています。

表 2.3-3 通勤・通学の利用交通手段

項目	自宅外の土佐町に 通勤・通学	他市町村 に通勤・通学	通勤地・通学地 「不詳」	合計	割合
総数	999	516	22	1,537	
徒歩のみ	127	6	0	133	8.7%
鉄道・電車	0	7	0	7	0.5%
乗合バス	6	5	1	12	0.8%
勤め先・学校のバス	2	5	0	7	0.5%
自家用車	767	439	10	1,216	79.1%
ハイヤー・タクシー	0	2	0	2	0.1%
オートバイ	20	9	0	29	1.9%
自転車	67	59	2	128	8.3%
その他	8	6	0	14	0.9%
利用交通手段「不詳」	18	5	10	33	2.1%

出典：令和2年国勢調査

※通勤、通学は15歳以上。利用交通手段については、複数回答のため「総数」とは一致しない。

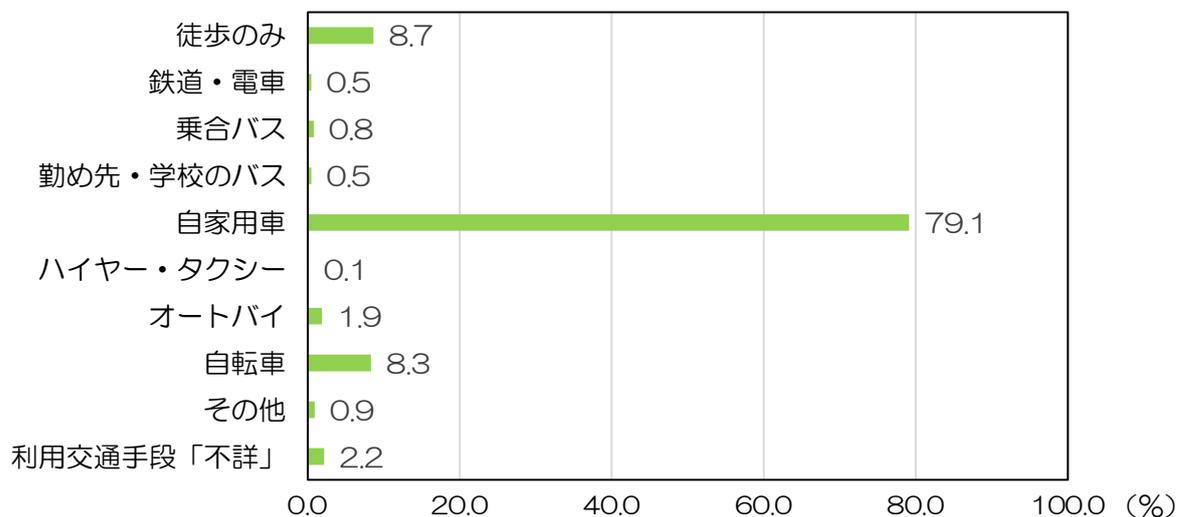


図 2.3-1 通勤・通学の利用交通手段

出典：令和2年国勢調査

※通勤、通学は15歳以上。利用交通手段については、複数回答のため「総数」とは一致しない。

2.4 土地利用状況

土佐町の土地利用の状況は、森林が町域面積の98.7%を占めています。
土佐町役場周辺や田井バス停周辺を中心に建物用地が広がっています。

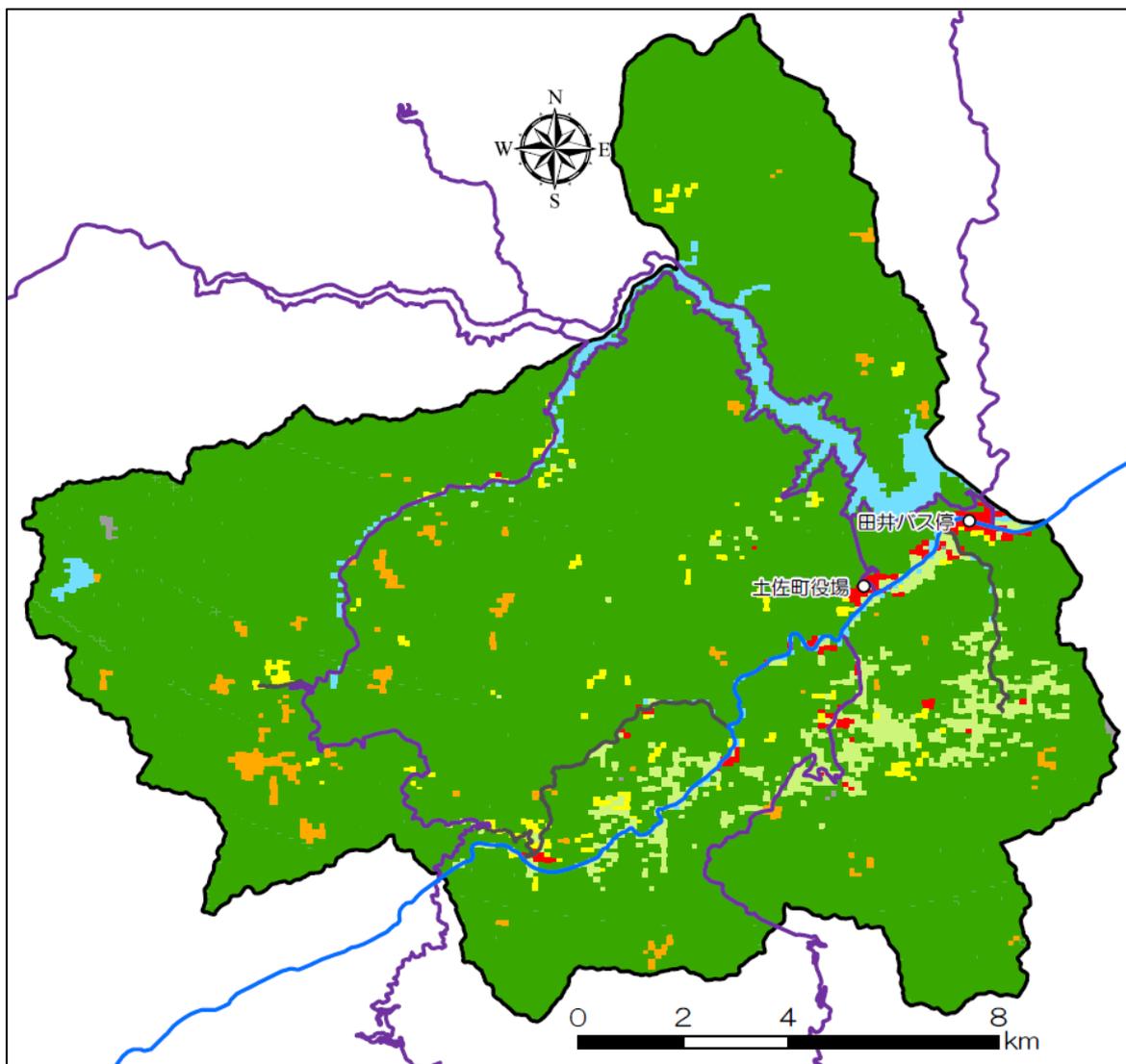


図 2.4-1 土地利用状況図

出典：令和3年度国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ（100mメッシュ））

種別	構成比
田	4.0%
その他の農用地	1.2%
森林	98.7%
荒地	1.4%
建物用地	0.8%
その他の用地	0.1%
河川地及び湖沼	2.9%
合計	100.0%



2.5 施設立地状況

(1) 施設全体

公共交通を利用する際における移動の目的地となる施設は、田井・森地区に多く分布しています。

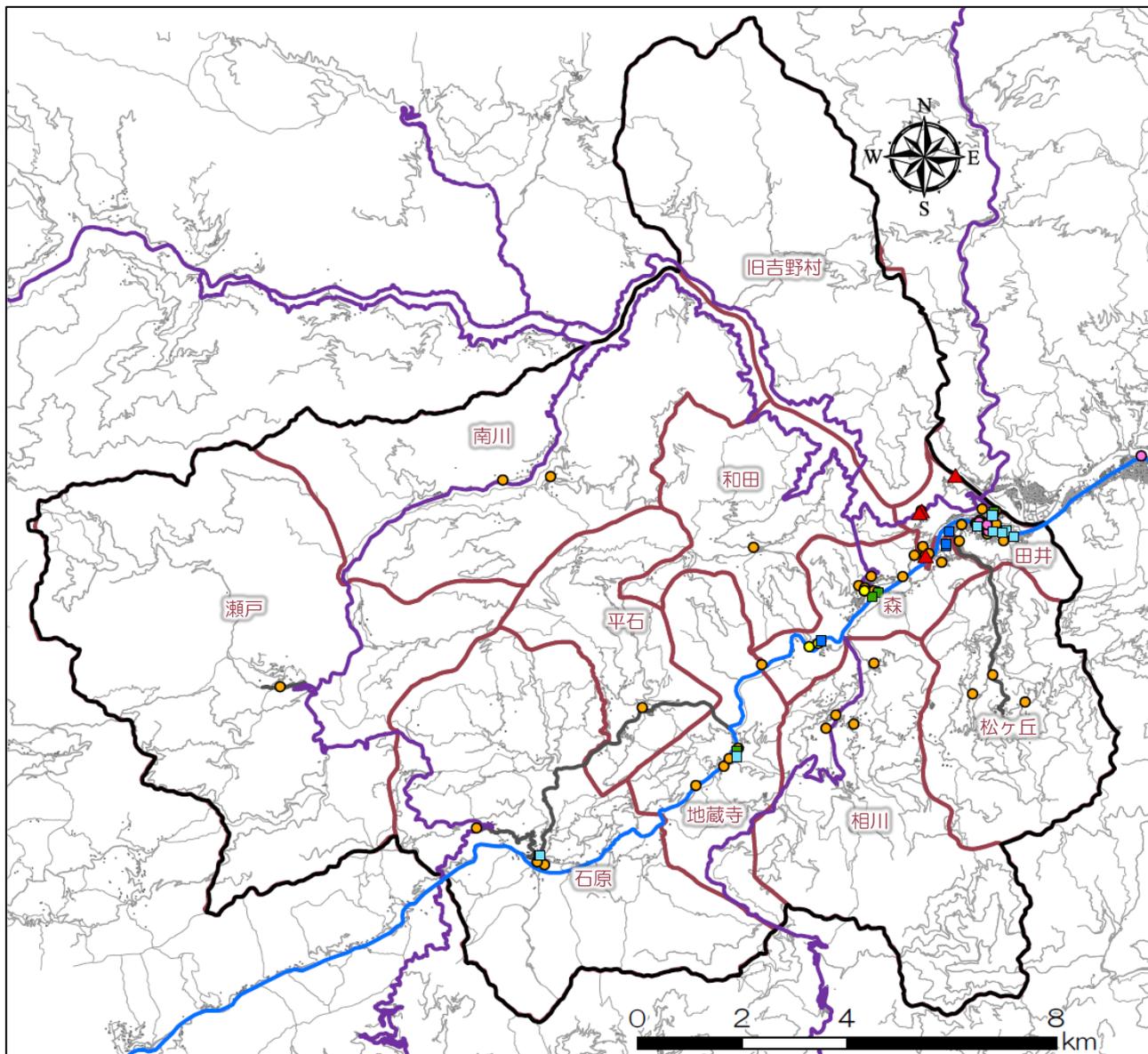


図 2.5-1 施設の立地（施設全体）

出典：土佐町公共施設総合管理計画、iタウンページ、土佐町



(2) 公共施設

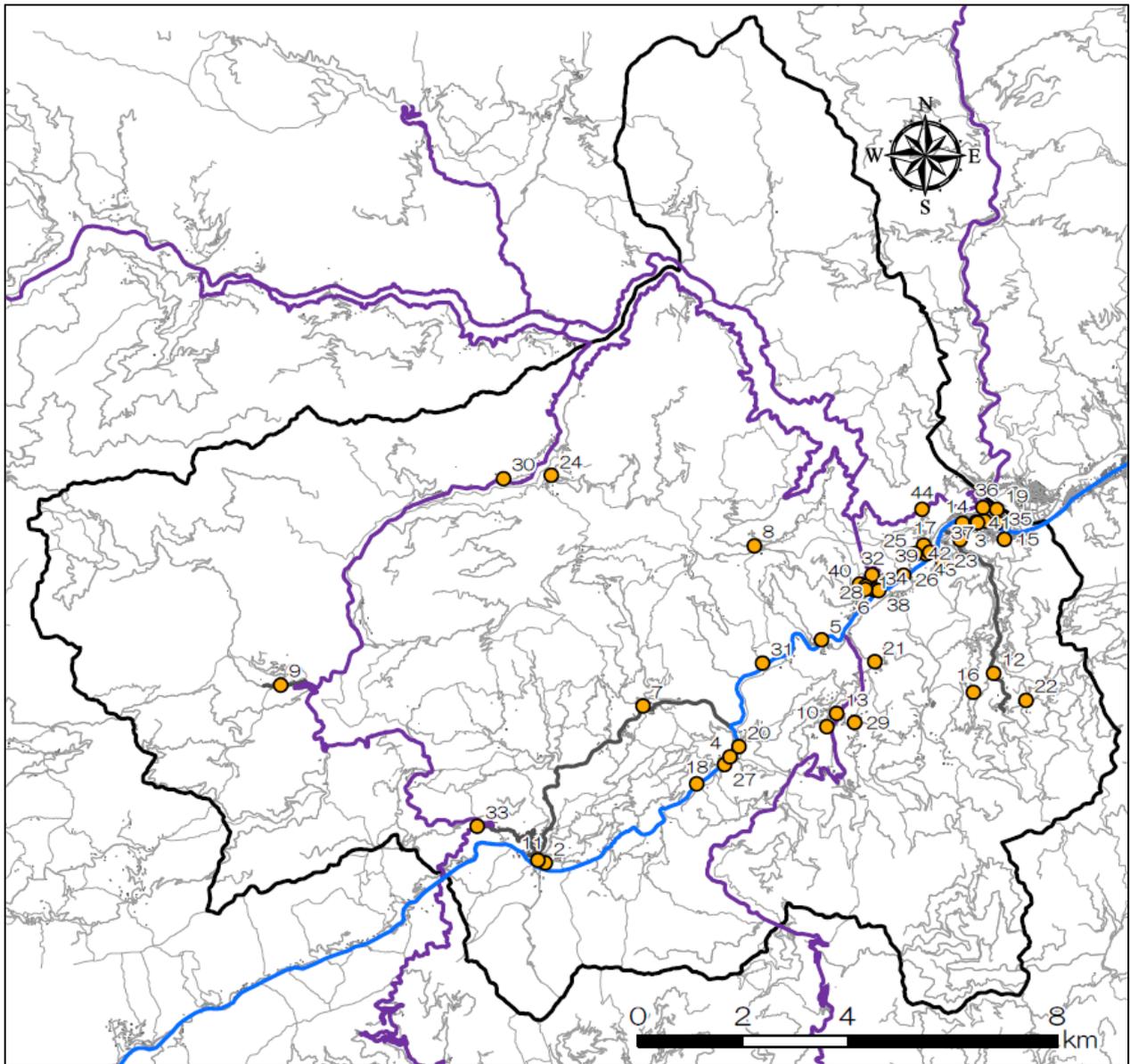
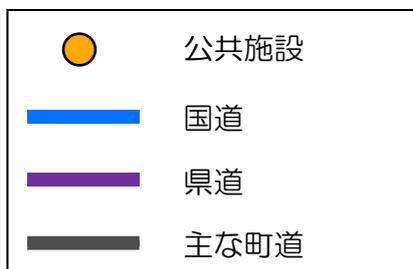


図 2.5-2 公共施設の立地

出典：土佐町公共施設総合管理計画



分類	番号	名称
行政系施設	1	土佐町役場
	2	西石原出張所
	3	田井支所
	4	地藏寺支所
	5	土佐町立中央福祉センター
	6	土佐町保健福祉センター
	7	平石コミュニティセンター
	8	和田コミュニティセンター
	9	瀬戸コミュニティセンター
	10	相川コミュニティセンター
	11	石原コミュニティセンター
	12	松ヶ丘コミュニティセンター
住民文化系施設	13	相川地区多目的研修集会施設
	14	上野地区多目的集会所
	15	田井地区多目的集会所
	16	溜井地区多目的集会所
	17	三島地区多目的集会所
	18	上地藏寺構造改善センター
	19	中島地区多目的集会所
	20	立割地区多目的活動施設
	21	白石地区多目的活動施設
	22	伊勢川地区多目的集会所
	23	宮古野ふれあい交流館
	24	中村集会所
	25	東境集会所
	26	南境集会所
	27	中地藏寺集会所
	28	中央集会所
	29	高須地区多目的集会所
	30	文化交流施設南川会館
	31	五区集会所
	32	大谷集会所
	33	峯石原集会所
	34	改良住宅陳の内団地 集会所
	35	町営住宅八反坪団地 集会所
	36	中島城ノ台ふれあい集会所
	37	農村環境改善センター
	38	土佐町基幹集落センター
	39	土佐町生涯学習交流館
社会教育系施設	40	郷土学習センター
	41	土佐町立図書館
レクリエーション系施設	42	おこぜハウス
	43	道の駅「土佐さめうら」
	44	湖の駅「さめうらレイクタウン」(さめうら荘、さめうらカヌーテラス、さめうらテントパーク)

(3) 商業施設

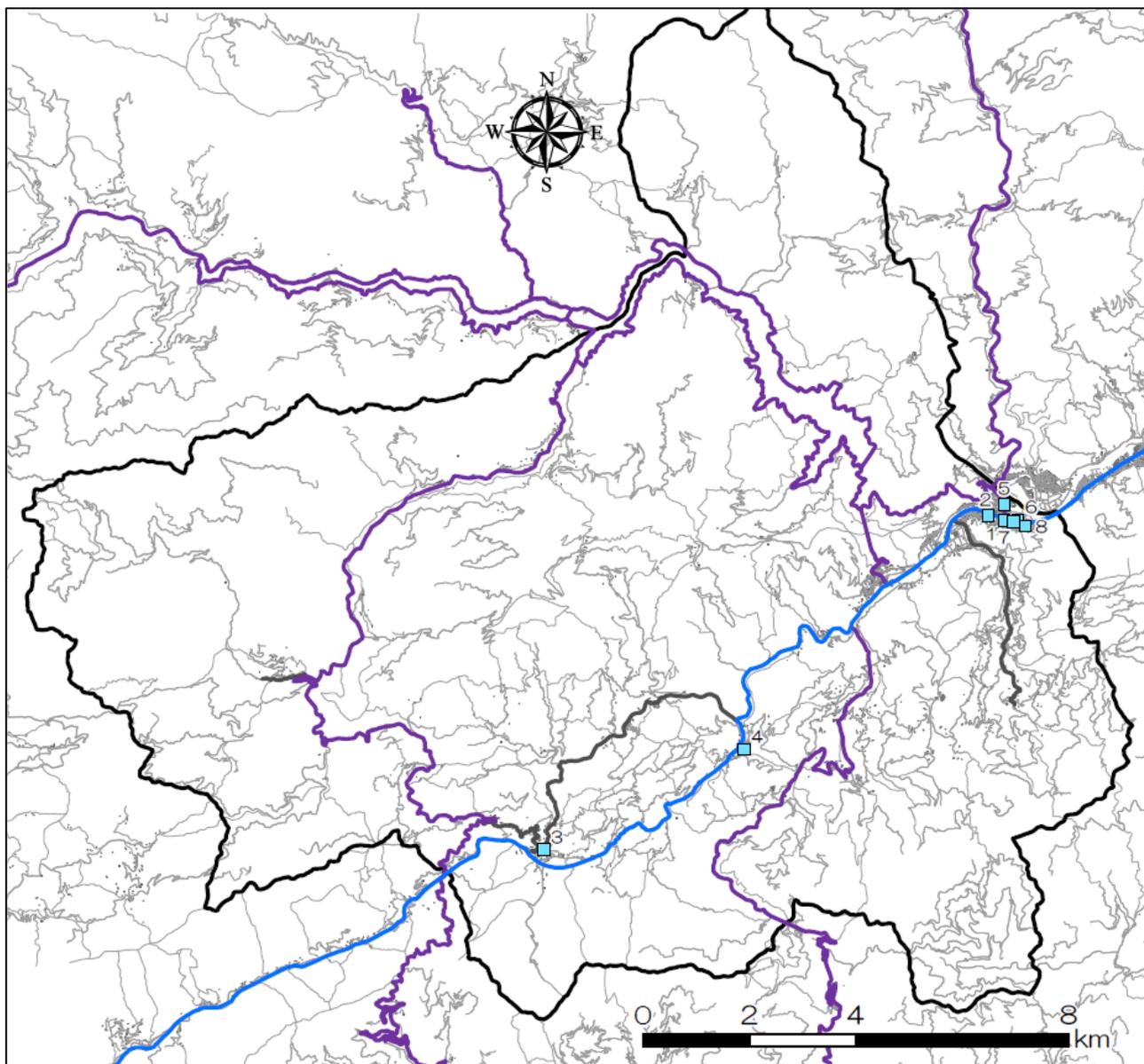
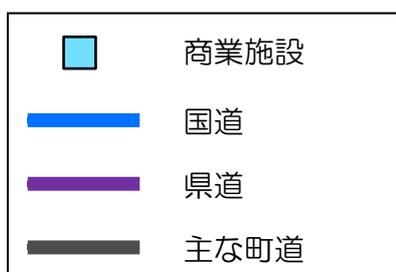


図 2.5-3 商業施設の立地

出典：iタウンページ（スーパーマーケット（個人商店含む）、コンビニエンスストア、JA、ドラッグストア、ホームセンターで検索）

※日用品、食品を売っている店舗を記載



番号	名称
1	未広ショッピングセンター
2	サンシャイン田井
3	合同会社いしはらの里（さとの店）
4	長野商店
5	上村商店
6	ドラッグセイムス土佐田井店
7	ローソン土佐町田井店
8	ホームセンターマル二田井店

(4) 医療施設

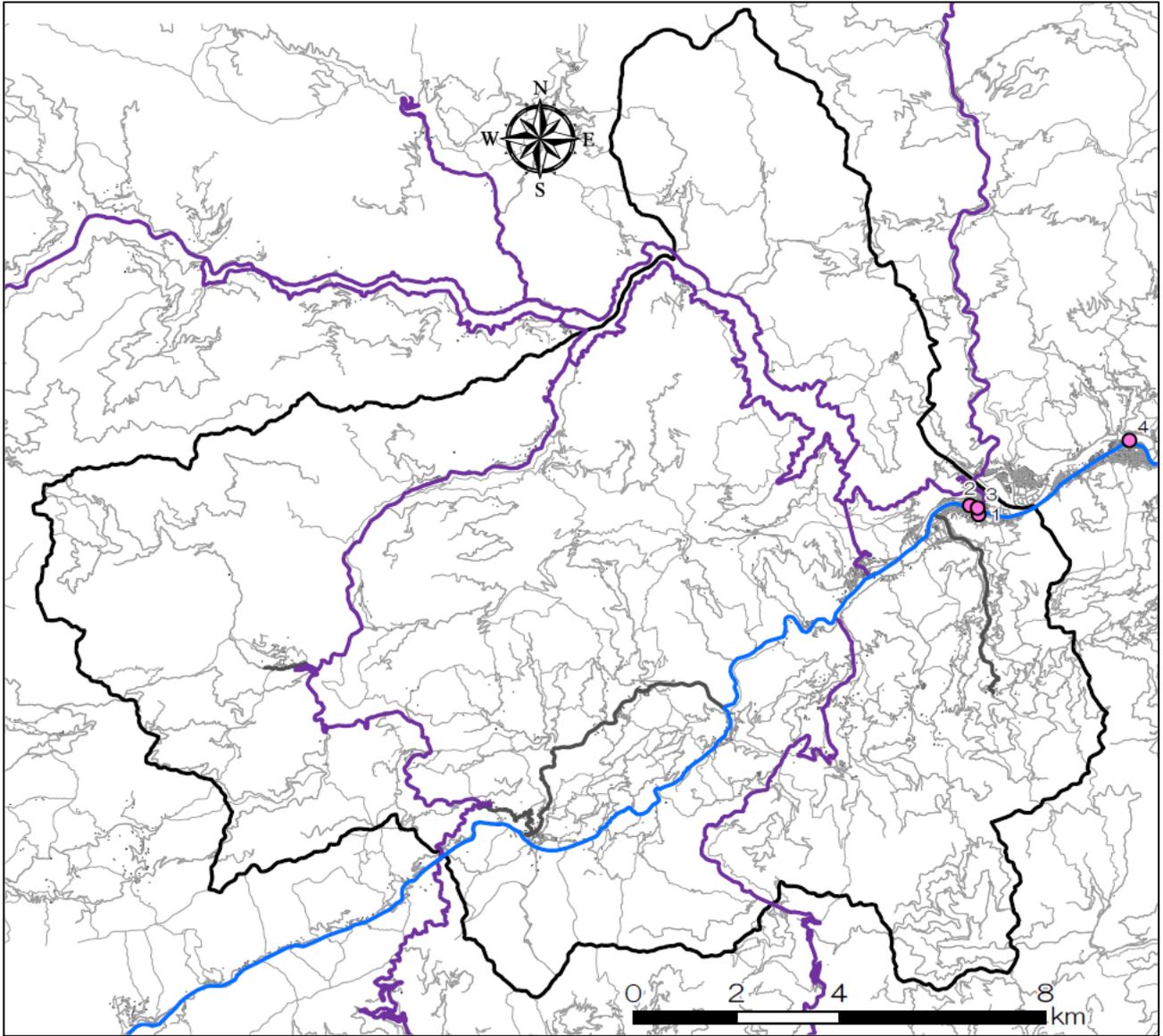
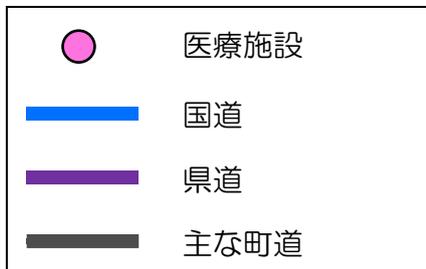


図 2.5-4 医療施設の立地

出典：iタウンページ（医療で検索）



番号	名称
1	早明浦病院
2	田井医院
3	西川歯科
4	嶺北中央病院（本山町）

(5) 学校教育系施設、子育て支援施設

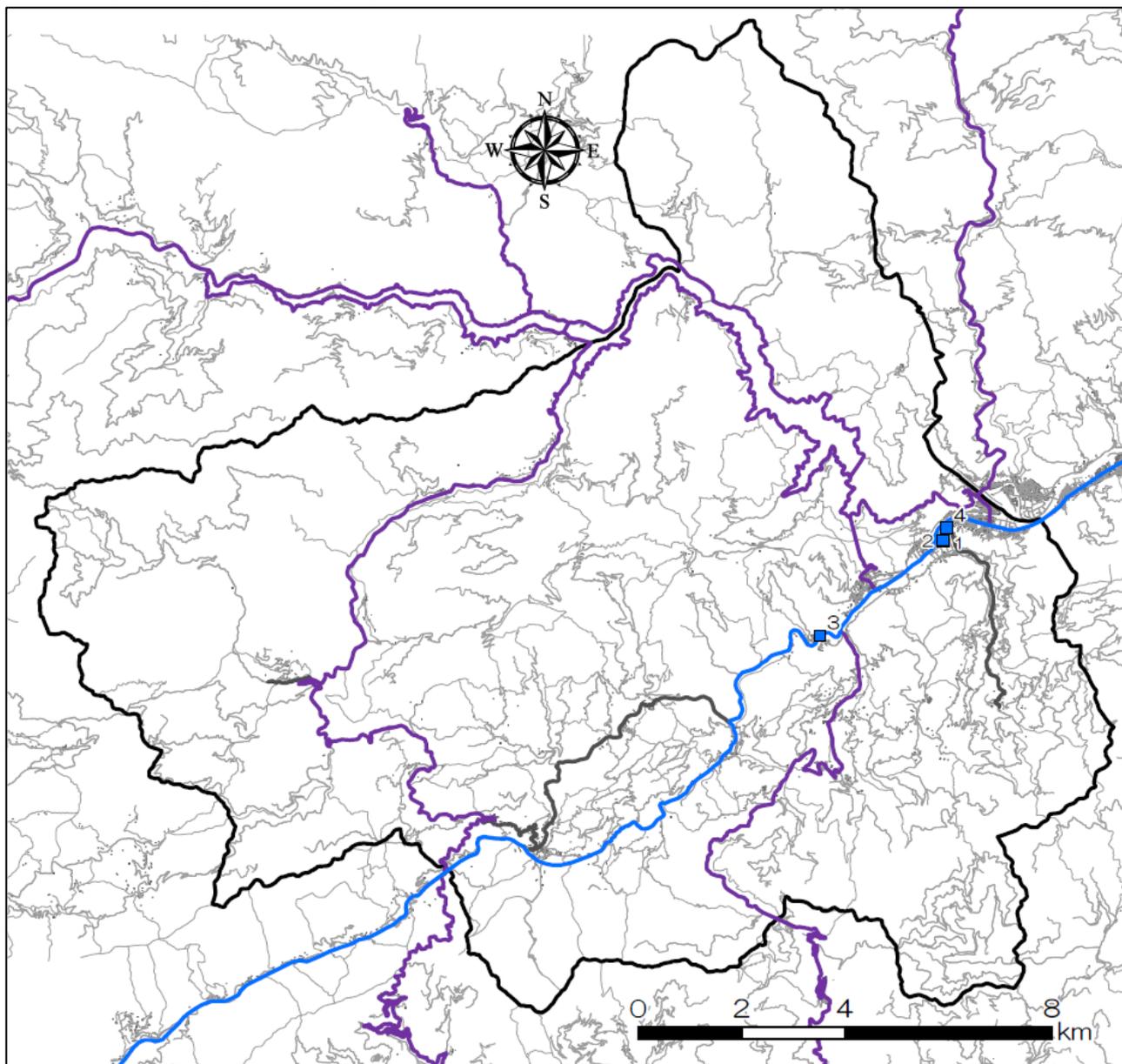
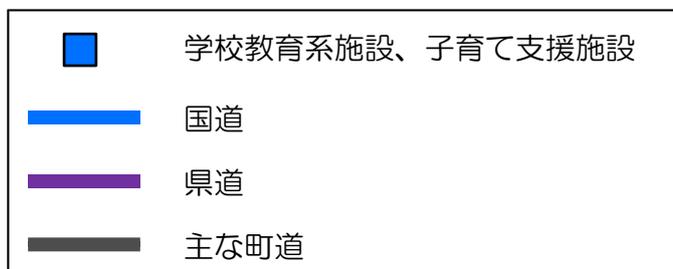


図 2.5-5 学校教育系施設、子育て支援施設の立地

出典：土佐町公共施設総合管理計画



分類	番号	名称
学校教育系施設	1	土佐町中学校
	2	土佐町小学校
子育て支援施設	3	土佐町児童館
	4	みつば保育園

(6) 保健・福祉施設

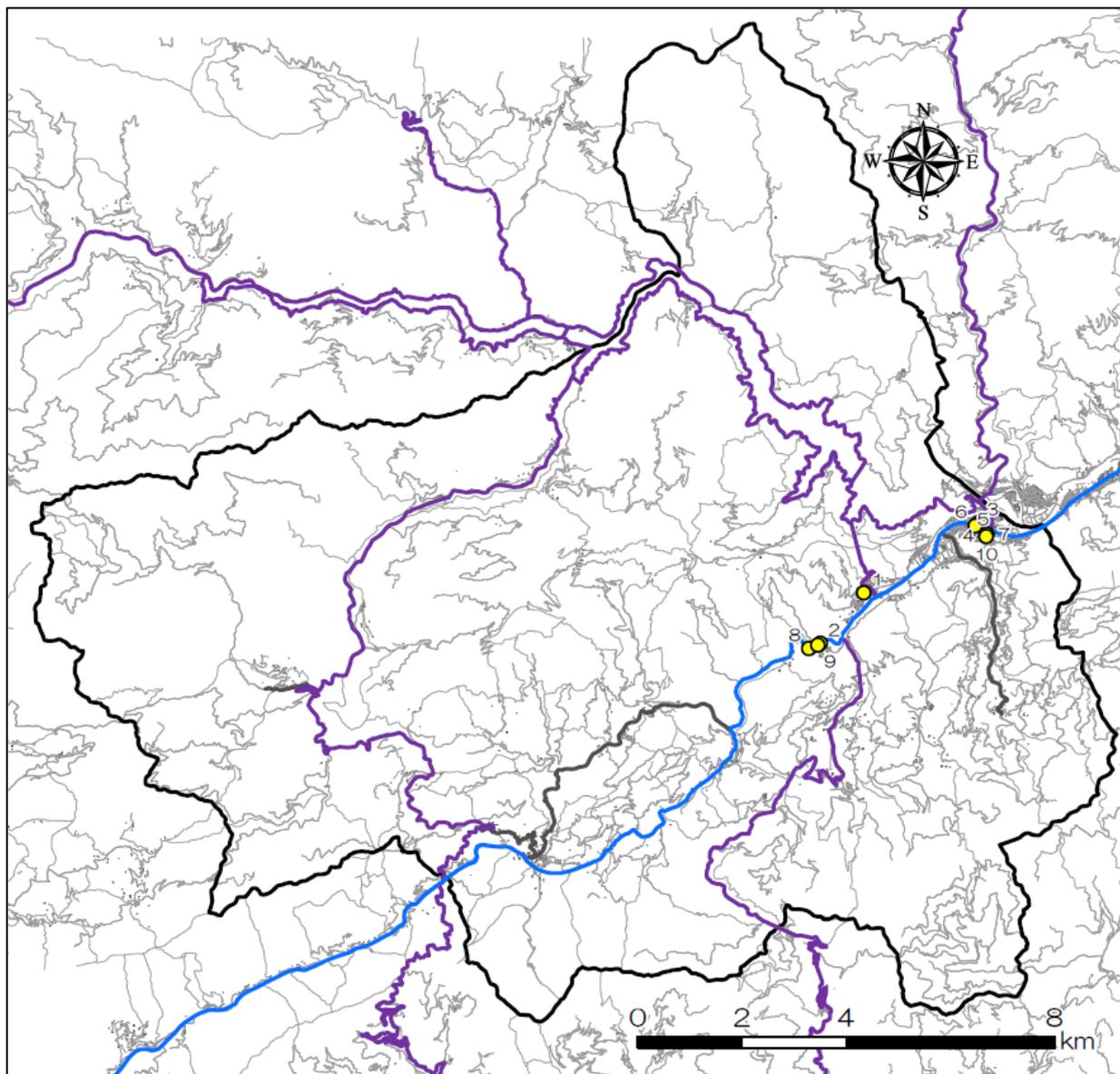
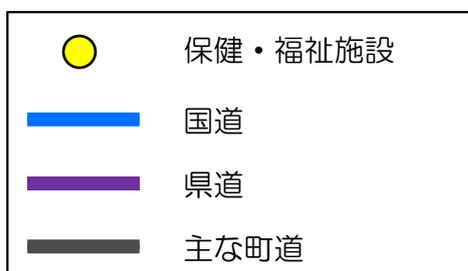


図 2.5-6 保健・福祉施設の立地

出典：土佐町公共施設総合管理計画、iタウンページ（福祉で検索）



番号	名称
1	土佐町社会福祉協議会
2	土佐町立中央福祉センター
3	デイサービス元気村たい
4	デイサービスたい
5	デイサービスセンターときわ
6	トキワ苑特別養護老人ホーム
7	れいほくの里どんぐり（NPO法人）
8	指定居宅介護支援事業所嶺北総合介護サービス
9	グループホーム
10	駒野老人憩の家
11	社会福祉法人厚敬会

(7) 金融機関

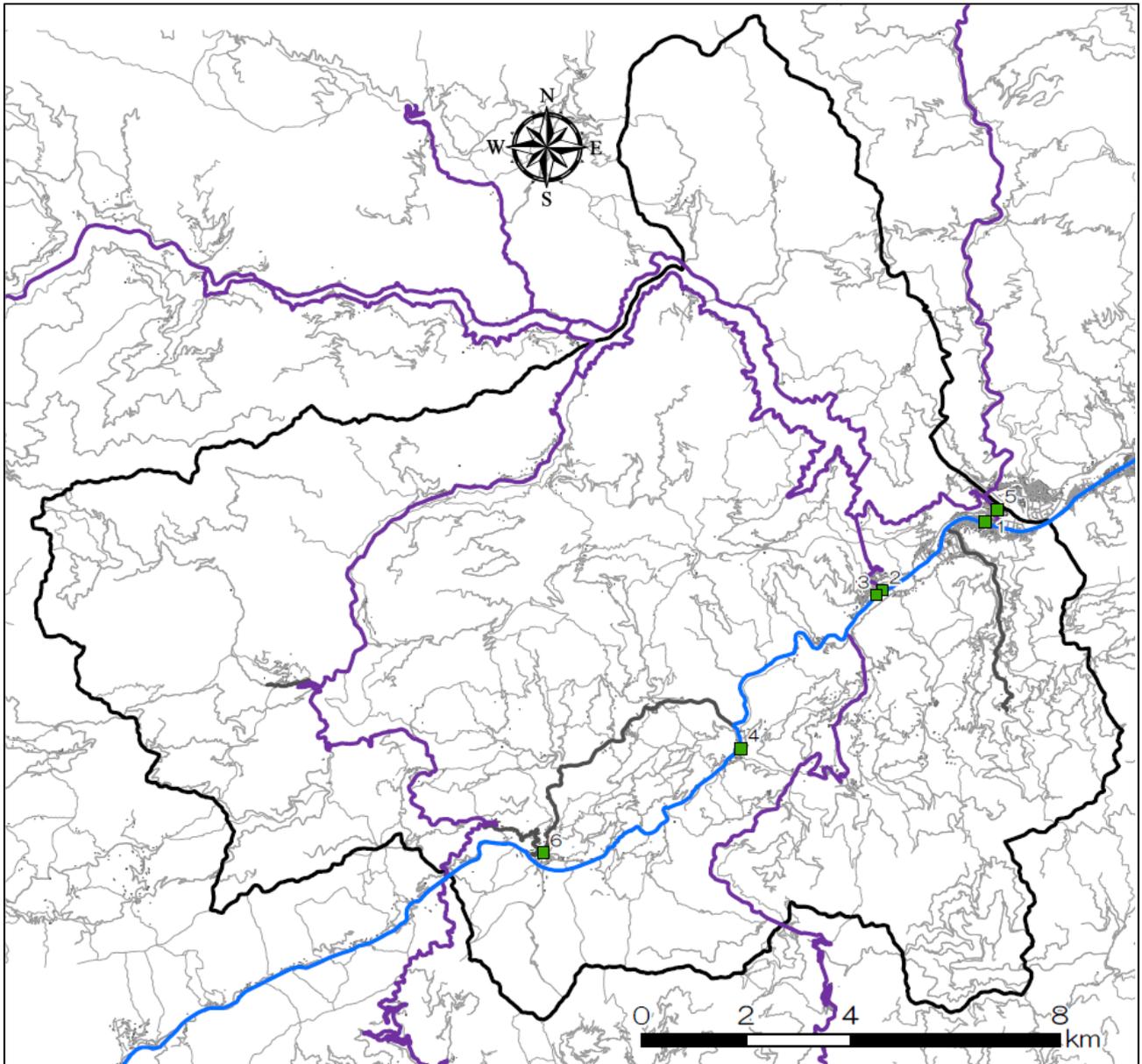
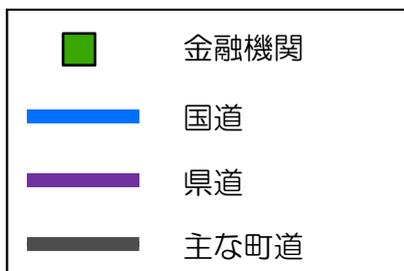


図 2.5-7 金融機関の立地

出典：iタウンページ（銀行、JA、郵便で検索）
※有人店舗のみ



番号	名称
1	高知銀行嶺北支店
2	高知県農協 れいほく支所
3	森郵便局
4	地藏寺郵便局
5	田井郵便局
6	西石原郵便局

2.6 運転免許の保有・返納状況

(1) 運転免許の保有状況

本町の運転免許の保有者数をみると、令和5年7月2日現在で2,415人となり、15歳以上の住民のうち75.3%の方が運転免許を保有しています。

表 2.6-1 運転免許の保有状況

	運転免許保有者（人）	人口（15歳以上）（人）	運転免許保有率
総数	2,415	3,209	75.3%
うち65歳以上	967	1,616	59.8%

出典：高知東警察署

※運転免許保有者（令和5年7月2日現在）

※人口（15歳以上）：住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

※原付免許などは16歳から取得することが可能

(2) 運転免許の返納状況

本町の運転免許の返納者数は、下記の表のとおりです。

表 2.6-2 運転免許の返納状況

年度	人数（人）
令和2年度	18
令和3年度	21
令和4年度	8

出典：高知東警察署

第3章 上位・関連計画の概要

3.1 土佐町の計画

土佐町の計画について整理します。

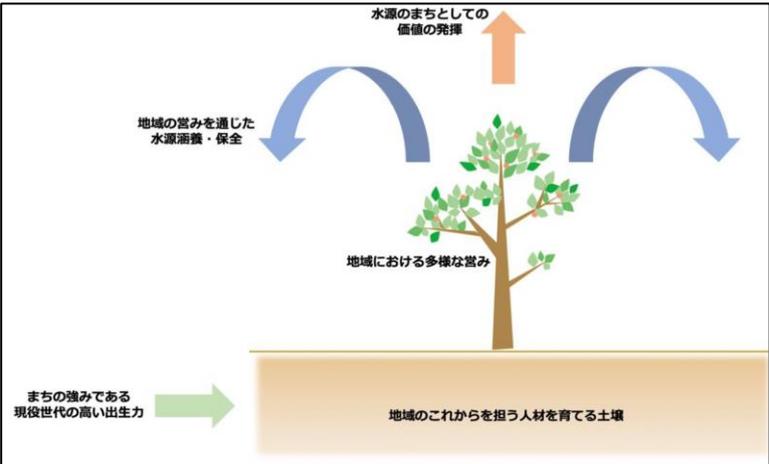
(1) 第7次土佐町振興計画（令和3年4月策定）

計画の概要											
計画期間	令和3（2021）年度～令和12（2030）年度（10年間）										
2030年の土佐町のビジョン	永遠の水源地、土佐町 Origin ✕ 3,782 ✕ X = Sustainable 水源に生きる3,782人、ひとりひとりの個性を最大化することが、まちの持続可能性となる										
2030年のすがたを実現するための分野別ビジョン	<table border="0"> <tr> <td>(1) 教育・学び・子育て</td> <td>(6) (地域) 愛</td> </tr> <tr> <td>(2) スポーツ</td> <td>(7) 繋がり</td> </tr> <tr> <td>(3) 文化（図書館・アート）</td> <td>(8) 安心安全な暮らし</td> </tr> <tr> <td>(4) 自然環境と農林業</td> <td>(9) 人口減少</td> </tr> <tr> <td>(5) 仕事・産業</td> <td>(10) その他（行財政）</td> </tr> </table>	(1) 教育・学び・子育て	(6) (地域) 愛	(2) スポーツ	(7) 繋がり	(3) 文化（図書館・アート）	(8) 安心安全な暮らし	(4) 自然環境と農林業	(9) 人口減少	(5) 仕事・産業	(10) その他（行財政）
(1) 教育・学び・子育て	(6) (地域) 愛										
(2) スポーツ	(7) 繋がり										
(3) 文化（図書館・アート）	(8) 安心安全な暮らし										
(4) 自然環境と農林業	(9) 人口減少										
(5) 仕事・産業	(10) その他（行財政）										
公共交通に関連する分野別ビジョン	(8) 安心安全な暮らし 生涯を通じて、ひとりひとりが生きがいを持ち、みんなで支え合いながら、安心して暮らし続けることができるまち。道路や上下水道、インターネットなど、必要なインフラを維持し、災害にも強い安全なまち。										

(2) 土佐町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月策定）

計画の概要	
計画期間	令和2（2020）年度～令和6（2024）年度（5年間）
全体目標	SDGsと住民幸福度に基づく「誰ひとり取り残さない」持続可能なまちづくり
基本目標	<p>基本目標1 質の高い教育と学びの環境に満たされたまちの土台づくり ◇町の持続可能性の土台をつくる「中山間地域型先進教育」の実現</p> <p>基本目標2 地域資源を生かした持続可能な産業への転換 ◇人口縮小下でも持続的に成長できる地域産業の構造転換の実現</p> <p>基本目標3 地域の活力を育む都市と地域との新たな関係性の創出 ◇社会増を起点に人口の自然増に繋げる持続可能な移住促進の実現 ◇SDGs等を追い風にした都市と地域の持続可能な関係構築の実現</p> <p>基本目標4 誰もが役割や居場所をもち活躍し続ける環境の構築 ◇全世代全員参加による「誰ひとり取り残さない」まちの実現</p>
公共交通に関連する取組	<p>基本目標2</p> <p>◎観光の振興</p> <p>地域資源である「さめうら湖」及び周辺環境を整備し、カヌーやアウトドアアクティビティを通じたスポーツツーリズムを推進します。また、嶺北4町村による広域観光の取り組みを推進します。併せて、「食」を軸としたインバウンド観光の実現に向けて、体制整備等に取り組みます。</p>

(3) 土佐町SDGs未来都市計画（令和2年9月策定）

計画の概要	
2030年のあるべき姿	<p>地域で暮らす人々の豊かな営みが、他の地域をも潤す“世界”の水源地のまち</p> <p>【具体的な姿】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どこよりも水の価値を知るまち（地域の構造の理解） 2. 生まれた場所や環境に関わらず、全ての人が質の高い教育や「学び」の機会を得られるまち（地域のこれからを担う人材を育てる土壌づくり） 3. 地域の資源から新たな経済循環を創出するまち（産業構造のリデザイン） 4. 地域に暮らす多様な人々が、「誰ひとり取り残されず」活躍するまち 5. 豊かな自然とコンパクトな市街地が共存する、暮らしやすいまち
自治体SDGsの推進に資する取組	<p>■地域のこれからを担う人材を育てる土壌づくり</p> <p>①地域における質の高い教育や学びの環境の充実（社会）</p> <p>■豊かな土壌から生まれる多様な人々による地域の営みのリデザイン及び活性化</p> <p>②地域に新たな「価値」を生み出す産業の創出（経済）</p> <p>③地域に暮らす多様な人々が「誰ひとり取り残されず」活躍できる仕組みづくり（社会）</p> <p>■地域の営みを通じた「水源」の涵養・保全</p> <p>④豊かな自然や水源を育む農村部と、コンパクトな市街地が互いに相乗効果を発揮しあう、まちのランドデザイン（社会）</p> <p>⑤地域の生業を通じた水源の保全（環境）</p> <p>■それらの循環を生み出すための、水源のあり様の把握</p> <p>⑥地域における水循環の姿や、水源涵養の状態の把握（統合・先導的取組）</p> <p>⑦水源涵養及び保全による社会的インパクトの把握（統合・先導的取組）</p> <p>⑧水源涵養及び保全から発する産業関連の把握（統合・先導的取組）</p> <p>【全体概要】</p> 
公共交通に関連する具体的取組の概要	<p>④豊かな自然や水源を育む農村部と、コンパクトな市街地が互いに相乗効果を発揮しあう、まちのランドデザイン（社会）</p> <p>◇農村地域と市街地を結ぶ交通網の検討：双方の地域をより気軽に行き来できるようにするため、デマンド等の集落間交通や、グリーンスローモビリティの導入等を検討する。</p>

(4) 土佐町過疎地域持続的発展計画書（令和3年9月策定）

計画の概要	
計画期間	令和3（2021）年度～令和7（2025）年度（5年間）
公共交通に関連する対策（産業の振興）	<p>⑤観光の振興</p> <p>●カヌーやアウトドアアクティビティを通じたスポーツツーリズムの推進 日本有数の環境である「さめうら湖」を活用し、競技カヌーやレジャーカヌー、SUP等のアウトドアアクティビティを通じたスポーツツーリズムを推進するとともに、下流の町とも連携し、地域全体で「パドルスポーツの聖地」となるよう取り組む。また、<u>レンタサイクル</u>やその他のアクティビティの充実にも取り組む。</p>
公共交通に関連する対策（交通施設の整備、交通手段の確保）	<p>②交通手段の確保</p> <p>●公共交通の維持及び利用普及 既存の公共交通機関への支援を行いながら、路線の維持を図るとともに、通学バスとの混乗等を通じて利用拡大を図る。</p> <p>●次世代公共交通の検討 デマンド型交通や MaaS 等の導入の検討を行いながら、公共交通利用空白地の解消に取り組み、地域の生活を支える新たな交通サービスの確保に向けて取り組みを進める。</p>

(5) 第3期土佐町地域福祉計画（令和2年3月策定）

計画の概要	
計画期間	令和2（2020）年度～令和6（2024）年度（5年間）
基本理念	ともに ささえあう 町づくり 土佐町
基本目標	<p>基本目標1：自助・共助に基づく地域福祉の心を育てよう</p> <p>基本目標2：地域福祉を一緒に考え、ささえあえる仲間・つながり（絆）を創ろう</p> <p>基本目標3：仲間・つながりを活かしてもっと住みよい町にしよう</p> <p>基本目標4：生涯にわたって健康で安心して暮らせる町づくりを進めよう</p>
公共交通に関連する基本施策の内容・取り組み方向	<p>基本施策 12-2：暮らしやすいまちづくりの推進</p> <p>①地方バス路線維持運営補助</p> <p>バス路線の維持確保のために民間事業者に対し、運営費の補助を行い、日常的な移動のための交通手段の確保を図るものです。</p> <p>公共交通の利用者は減少しており、その上、人手不足等により路線廃止も検討されている状況にあるため、事業者を含めた検討会議を行い、今後の公共交通のあり方について再検討を行っていきます。</p> <p>②廃止路線代替バス車両購入補助</p> <p>バス路線の維持確保のために民間事業者に対し、バス購入補助を行い、住民の日常的な移動のための交通手段の確保を図るものです。</p> <p>前計画期間中は車両更新がありませんでしたが、今後は事業者を含めた検討会議で更新時期を検討しながら、購入支援を実施していきます。</p> <p>③買い物弱者対策に向けた検討</p> <p>買い物弱者の解消に向けては、商業活性化の面からの取り組みと交通利便性の面からの取り組みが考えられます。</p> <p>商業活性化の面からは、地域や町が協力しながら、地域巡回型の移動販売車の導入や公設民営型等の新規店舗開設等、様々な視点から検討していきます。</p> <p>また、交通利便性の面からは、買い物弱者対策を含めた総合的な交通手段確保策として検討していくとともに、買い物バスの運行などについても検討していきます。</p> <p>当面は、移動購買車に対する補助（継ぎ足し）を実施していきます。</p> <p>さらに、買い物弱者対策を含めたあったかふれあいセンターにおける買い物支援等、ニーズに応じた交通手段の確保についても関係各課と連携しながら検討していきます。</p>

(6) 土佐町高齢者保健福祉計画（第9次）・介護保険事業計画（第8期）（令和3年3月策定）

計画の概要	
計画期間	令和3（2021）年度～令和5（2023）年度（3年間）
基本理念	健康で安心な生活が送れる地域社会づくり
施策の柱	1. 介護予防の推進 2. 保健福祉サービスの推進 3. 生きがいづくりと社会参加の推進 4. 介護サービスの充実したまちづくりの推進 5. 地域全体で支え合うまちづくりの推進
公共交通に関連する施策（現状と今後の方向性）	施策の柱 2. 保健福祉サービスの推進 （3）土佐町福祉タクシー事業 【現状】 公共交通が少なく、地理的条件が不利な中山間地域において高齢者や障害者の移動手段として、タクシーは必要不可欠な乗り物であるが、申請から支払いまでの手続きの煩雑さ、利用者本人に年間利用分の立替えが必要なことなど、課題が多くなっています。 【今後の方向性】 令和3年度から抜本的に見直す予定です。（助成金額、利用の仕方等）通院のみならず、買い物や社会参画へも利用できるよう検討していきます。 （4）高齢者通院バス料金助成実施事業 【現状】 バス路線（国道沿い）の方の利用が目立ち、国道から距離がある家からはなかなかバスの利用は難しい状況にあります。また、路線によっては1日の便数が少なく時間の制約もあるため、使い勝手は悪くなっています。 【今後の方向性】 令和3年度から抜本的に見直す予定です。（助成金額、利用の仕方等）通院のみならず、買い物や社会参画へも利用できるよう検討していきます。

(7) 土佐町第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画（令和3年3月策定）

計画の概要	
計画期間	令和3（2021）年度～令和5（2023）年度（3年間）
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の入所者の地域生活への移行 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ・地域生活支援拠点等が有する機能の充実 ・福祉施設から一般就労への移行等 ・障害児支援の提供体制の整備等 ・相談支援体制の充実・強化等 ・障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの必要な量の見込み及び確保方策 ・地域生活支援事業の見込み及び確保方策 ・障害児支援の見込み及び確保方策
公共交通に関連する事業	<p>●移動支援事業</p> <p>障害者の社会参加のために、移動支援事業の体制づくりに努めるとともに、地域生活支援事業以外の福祉タクシー等のサービスの利用勧奨、またサービス内容の充実を図り、障害者の外出がスムーズになるよう努めます。</p>

3.2 広域の交通計画

広域の交通計画について整理します。

(1) 高知県地域公共交通計画（令和5年3月策定）

計画の概要	
計画期間	令和5（2023）年度～令和9（2027）年度（5年間）
対象地域	高知県
計画主体	高知県地域公共交通活性化協議会
基本方針	① 公共交通を地域社会の維持に最低限必要な生活インフラとしてとらえる ② 県民の日常生活をはじめ、産業や中山間の振興を支える基本政策として、公共交通の活性化を強力的に推進する ③ 地域の実情に応じた持続可能な公共交通システムの確立を目指す
基本目標	目標1 様々なモード間・事業者間の連携による移手段の確保 目標2 安全安心で使い勝手の良さを実感 目標3 中山間地域でのきめ細かな移動サービスを確保 目標4 公共交通を意識してもらうための啓発活動を強化
施策・事業	
目標1	<p>施策①：公共交通ネットワークの維持・確保</p> <p>事業①-1：バス路線維持のための継続的な支援</p> <p>◇【補助継続】地域間幹線系統バスに対して、県・市町村が協調し、継続的な補助を行う（必要に応じて、新型コロナウイルス対策の追加支援を含む）。</p> <p>◇低床車両を含む車両購入について、県・市町村が協調し、継続的な補助を行う。</p> <p>事業①-2：鉄道・路面電車維持のための継続的な支援</p> <p>事業①-3：バス運転士等の人材確保</p> <p>◇公共交通を維持していくため、都市人材を受け入れる「地域おこし協力隊」制度や、移住促進施策とも連携しながらバス運転士等の人材確保に向けた取り組みを進める。</p> <p>施策②：モビリティミックスの推進</p> <p>事業②-1：公共交通ネットワークの継続的な再編</p> <p>◇【職員研修】地域の実情に応じた公共交通を検討するにあたり、公共交通に関する知識や業務のノウハウを習得するとともに、人的ネットワークを形成するため市町村や事業者の関係職員等を対象とした研修会を継続的に実施する。</p> <p>事業②-2：利用しやすいダイヤの実現</p> <p>◇パターンダイヤ、乗継しやすいダイヤ、増便など、複数モード間を含めた利用しやすいダイヤについて、「高知県地域公共交通活性化協議会」（地域別部会）などを活用し、関係者で協議や検証を行う。</p> <p>事業②-3：利用しやすい運賃体系の実現</p>

<p>目標2</p>	<p>施策③：安全安心で使いやすい環境整備</p> <p>事業③-1：パークアンドライド、サイクルアンドライドの推進 ◇公有地の活用や、近隣の商業施設との連携等を推進し、協調して整備を進める。</p> <p>事業③-2：バス停、待合環境（駅舎、バス停）の整備 ◇協調して改良・更新等を進める。</p> <p>事業③-3：バリアフリー化の推進 ◇【環境整備】ハード面のバリアフリー化や心のバリアフリー化について協調して取り組む。 ◇【山間部対応車両】山間部に適した低床のバス車両の導入事例等について、情報収集を行い、関係者と情報共有する。</p> <p>施策④：新技術の導入</p> <p>事業④-1：キャッシュレス決済の検討・導入 ◇様々な決済手段に対応できるシステムを研究する。 ◇導入や維持に要する費用の低コスト化を研究する。 ◇協調して導入・更新を進める。</p> <p>事業④-2：バスロケーションシステムの導入 ◇バスロケーションシステムについて、協調して導入を進める。 ◇待合所や公共施設等でバスロケーションシステムの情報が確認できるデジタルサイネージについて、協調して導入を進める。</p>
<p>目標3</p>	<p>施策⑤：すべての人が利用できる公共交通網の構築</p> <p>事業⑤-1：生活交通の確保・維持 ◇コミュニティバス等地域の生活交通の維持・確保を協調して進める。</p> <p>事業⑤-2：公共交通空白地域の解消 ◇公共交通空白地域の解消に向けた取組を協調して進める。 ◇移動手段確保等に向けた研修会等を開催する。</p> <p>施策⑥：地域の実情に合った輸送資源の選択</p> <p>事業⑥-1：公共交通以外の輸送手段の活用 ◇スクールバスや施設送迎バスなど地域の輸送資源の活用を推進する。</p> <p>事業⑥-2：移動手段の効率化 ◇路線バスと、スクールバスや、病院・介護施設の送迎サービスといったものが重複して走っている区間では、路線バスの利用に一本化することを利用者ニーズを踏まえながら検討する。 ◇自動運転技術等の新たな移動手段や貨客混載について、関係者間の情報共有や導入の検討を行う。</p>

<p>目標4</p>	<p>施策⑦：情報発信</p> <p>事業⑦-1：県民や来訪者に行動変容を促すプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇公共交通の利用を促す広報啓発事業を実施する。 <p>事業⑦-2：GTFS のオープンデータ化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇【導入促進・更新】バスの停留場の位置や時刻表など基盤となるバス情報（GTFS）のオープンデータ化を推進するとともに、最新の情報に随時更新する。 ◇【人材確保】市町村や交通事業者の GTFS データの導入や更新を支援するデジタル人材の確保・育成を行う。 <p>施策⑧：利用促進</p> <p>事業⑧-1：イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇公共交通の利用促進のためのイベント等や「乗り方教室」に協調して取り組む。 <p>事業⑧-2：多様な関係者・分野と連携した利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇【キャッシュレス決済】様々な利用促進事業への取組が可能となる情報連携基盤として、キャッシュレス決済の研究を推進する。 ◇【職員研修】行政職員や交通事業者を対象とした研修会を実施する。 ◇【環境配慮型車両】費用対効果や運用・メンテナンス面での課題を整理し、導入促進施策について検討する。
------------	--

(2) 高知県嶺北地域公共交通網形成計画（平成 31 年 3 月策定）

計画の概要	
計画期間	令和元年（2019）度～令和5（2023）年度（5年間）
対象地域	本山町、大豊町、土佐町、大川村
計画主体	嶺北地域公共交通協議会
調査結果のまとめ （土佐町のみ）	<p>【高齢者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出先は、町内への移動が約7割 <p>【若年層の保護者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学先の約5割が嶺北地域外 <p>【地域別意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物は、町内への車での移動が主（末広・サンシャイン）、高知市方面への移動や移動販売の活用もみられる ・通勤は、嶺北中央病院、早明浦病院、整形外科等の専門科へ車や路線バスで移動 ・地域内交通への要望は、田井営業所までのきめ細やかな移動手段、幹線までの移動手段確保、福祉バス・タクシー申請の簡略化 ・地域間交通への要望は、田井営業所を拠点とした地域外へのスムーズな乗継環境の整備
基本方針	<p>基本方針1 嶺北地域内で自家用車に頼らずに暮らしていけるための公共交通手段を整えます</p> <p>基本方針2 嶺北地域外と便利に行き来できるように幹線及び乗り継ぎ拠点の整備を行います</p> <p>基本方針3 公共交通の利用を促進し、持続可能な公共交通を目指します</p>
計画目標	<p>計画目標1 連携した交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成</p> <p>計画目標2 移動のしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備</p> <p>計画目標3 誇りと愛着のある公共交通となるための取組みの推進</p> <p>計画目標4 暮らしを支える公共交通の利用環境の整備</p>
施策	
計画目標を達成するための主要施策	<p>施策1：公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します</p> <p>【概要】</p> <p>嶺北地域内では嶺北観光自動車及びとさでん交通の路線バス平日・休日の運行本数が概ね同程度で運行されている。しかしながら、平日においては高校の部活動終了時には運行されていない、最終列車との接続が取られていないなどの課題があり、休日においては利用者のいない区間もみられる。</p> <p>嶺北地域と高知都市圏を結ぶ田井線は片道約110分の長大路線であり、運行する交通事業者においては、運転手の確保が困難になっており、長大路線の維持が難しくなっている。田井線の利用の実態として、主に高知市内への高齢者の移動手段として利用されているものの、その利用頻度は低い。</p>

	<p>こうした移動実態やニーズを踏まえて、本計画及び各町村の公共交通政策に基づき、嶺北地域内の移動の利便性の向上を目指したバス路線の再構築を行う。再構築にあたっては、嶺北地域内の主要な交通結節点である嶺北観光自動車（田井）、嶺北中央病院周辺、大杉駅、大川村役場周辺等において、各自治体が運行している、または運行を予定しているコミュニティバスや町営バスと路線バスとの接続や、福祉タクシーの活用等に利用実態に合わせた適切な移動手段も検討する。</p> <p>施策2：公共交通を使って嶺北地域から（へ）の移動のしやすさを確保します 施策 2-1：大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います</p> <p>【概要】 土讃線で運行されている特急は上り方向 16 便、下り方向 16 便となっている。そのうち、JR大杉駅に停車するのは上り方向9便、下り方向9便と約半数となっている。</p> <p>大杉駅で停車する特急列車の増便及びバス路線との連携を行う社会実験を実施することにより、JR大杉駅の利便性向上及び高知都市圏との移動速達性の向上の効果を検証する。</p> <p>施策 2-2：大豊バスストップで高知から（へ）の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います</p> <p>【概要】 大豊町にある大豊バスストップは、上り方面（高松・岡山方面）の乗車及び下り方面（高知方面）の降車にしか利用することができない。</p> <p>そこで、高知都市圏との移動の速達性を向上させるために、大豊バスストップでの上り方面の降車及び下り方面の乗車を可能とするための社会実験を行い、本格化に向けた検証を行う。</p>
<p>主要施策を支える 補助施策</p>	<p>施策1：ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります</p> <p>【概要】 鉄道と路線バス、路線バスと路線バス、路線バスとコミュニティバス等の乗継が想定される箇所において、30分以上の待合が発生する箇所があるにもかかわらず、簡易な待合スペースのみしか整備されていない箇所もある。</p> <p>こうした現状に対し、公共交通の利用環境改善のため、各町村や施設管理者と連携し、数箇所で長時間滞在できる、または乗継箇所自体が目的地となるような「おでかけスポット（仮称）」の整備を行う。</p> <p>【例】 待合施設へのWi-Fi環境や充電環境の整備 待合施設で図書館の本が貸し借りできるサービスの導入 行政手続き窓口の併設 商業施設や病院等へのバス路線の乗入れ など</p>

施策2：地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります

施策2-1：地域の子どもたちとともにバスマップをつくり、バスを「知り」、バスを「利用しやすく」します

【概要】

嶺北地域内の路線図は事業者や町村ごとに個別に作成されているが、地域全体の公共交通を網羅的に整理した路線図は作成されておらず、乗り継ぎ利用時などに情報の確認が難しい。

そこで、嶺北地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図を嶺北地域内の児童・生徒と一緒に作成することで、児童・生徒の路線バスについての認知度を向上させるとともに、地域住民の利便性を向上させる。

施策2-2：皆さんに分かりやすいバス停にします

【概要】

嶺北地域内のバス停は、老朽化により、普段バスを利用していない人にとってバス停と認識できないとの意見がある他、名称も、既に移設してしまった施設あるいは、名称が変更された施設等の名称がそのまま用いられているなど、実態に即していない箇所もある。

そこで、地域内で共通したバス停デザインや、地域内のバス路線図の掲示、利用者にとって実態に即したわかりやすい名称を検討することにより、バス停の認知度の向上や利便性の向上を図る。

施策2-3：地域の皆さんにバスを知ってもらうよう取り組みます

【概要】

高校生との意見交換会において、自宅の周辺のどこをバスが通っているかが分からないなどの意見がみられた。

高齢者については、自家用車での移動が中心であるため、バス路線等についてあまり理解されていないことが想定される。

そこで、バスの認知度を高めるために乗り方教室などの出前授業を開催するなど（例：9月20日バスの日など）、地域でのバスについての理解度を向上させる。

施策2-4：公共交通を使って嶺北地域に観光に来てもらえるよう情報発信します

【概要】

嶺北地域に訪れたいと思っていただける観光客を増やしていくため、主要な交通結節点などで、観光情報や公共交通に関する情報提供を行い、公共交通の利用を促進する。また、観光協会のHPなどでもバス情報を把握できるようにする。

施策3：皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」よう取り組みます

施策3-1：嶺北地域内の公共交通のことが分かるホームページをつくります

【概要】

嶺北地域内の公共交通に関する情報提供は、とさでん交通、JR四国等の個別の情報提供及び「アクセスこうち」での嶺北観光自動車の情報提供のみとなっている。

嶺北地域内の公共交通に関する情報を一元的に管理・提供するポータルサイトを構築することにより、地域内外の利用者の利便性の向上を図る。

施策3-2：地域内バスを気軽に利用できるような運賃にします

【概要】

「地域内を移動するための路線バスの運賃は高額なため、気軽に利用できない」との意見が高校生との意見交換会や高校生の保護者アンケートでもみられる。

嶺北地域内の移動についての運賃の上限を設定するなどし、従来よりも安価に路線バスを利用できるようにすることで、利用者の増加を目指す。また、高校生については通学定期の補助制度等についても併せて検討を行う。

施策3-3：特急がより利用しやすくなるような料金にします

【概要】

大杉駅には1日上り16本、下り16本の列車が停車している。その内、特急列車が9本、普通列車が7本となっており半数以上が特急列車となっているため、鉄道により地域外に移動するには費用の負担が大きい。

そこで、特急料金の補助等を行うことにより、列車の利用率を向上させることで鉄道の維持を図る。

施策3-4：様々なニーズに応えられるようバス車両を改善します

【概要】

現行車両の老朽化と公共交通に対する需要の変化に対応するため、車両の更新時期などにあわせて、バス車両の環境改善を推進する。

【改善の例】

- ・輸送人数に合わせた車両の小型化
- ・貨客混載用の荷物スペースの設置
- ・自転車持ち込みへの対応
- ・低床車両の導入
- ・フリーWi-Fiの導入
- ・スマートフォン充電用の電源の整備
- ・ハイバックシートの導入 など

施策4：地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます

【概要】

少子高齢化により労働力人口が減少する中、高知県においても既存のバス路線を維持していくための、バスやタクシー運転者の安定的な確保はより一層困難となっている。持続的に路線バスを運行するために、戦略的なリクルート（若年層や女性などに向けた広報）、運行者の養成支援（大型2種免許の取得支援）等の支援を行う。

施策5：家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します

【概要】

高齢者へのアンケート結果から日常的に運転をされる方でも、地域内の運転は良いが地域外の運転は自信がないという方がみられた。

住民意見交換会においても、バス停までのアクセスが大変という意見や、駅の駐車場の台数が少なく駐車できないという意見も聞かれた。

そこで、路線バスやJR駅周辺などの地域の幹線や交通結節点等への駐車場や駐輪場の整備を進めることで、「自宅から拠点駐車場まではマイカーで、そこからは公共交通で」という新しいライフスタイルを提案し、パークアンドライドの定着に向けた広報を行う。

また、幹線までの移動を支援するために、コミュニティバスやタクシーの活用についての検討を行う。

第4章 土佐町の地域公共交通の現状

4.1 地域公共交通の概要

(1) 町内を運行する公共交通

町内を運行している公共交通は次のとおりです。

表 4.1-1 地域公共交通の概要

種類	運行事業者	路線名等
路線バス	嶺北観光自動車	○大川～役場東～田井線 ○大川～中島～田井線 ○黒丸～大川線 ○西石原～地藏寺・バイパス・田井・北岸～本山線 ○田井～北岸・本山～大杉駅・医大病院線 ○田井～中島～冬の瀬線 ○田井～本山～寺家～冬の瀬線 ○田井～南泉入口（バイパス）～檜山線 ○田井～伊勢川線 ○田井～【中学校前】～伊勢川線 ○田井（南泉入口（バイパス）・地藏寺経由）峰石原線 ○田井～森土居～（地藏寺）～平石～西石原～峰石原線 ○田井～森土居～地藏寺～西石原線
チョイソコとさちょう （実証運行中）	合同会社いしはらの里	○いしはら号 ○まつがおか・たい号 ○もり・わだ号
タクシー	嶺北交通	【田井営業所】 高知県土佐郡土佐町田井 1466-1
	川田ハイヤー	高知県土佐郡土佐町田井 951-2
通学支援（スクールバス）	嶺北観光自動車	※路線バス混乗及びスクールバス専用がある

(2) その他の移動手段

その他の移動手段は次のとおりです。

表 4.1-2 その他の移動手段の概要

種類	運行事業者	その他
移動販売	末広ショッピングセンター	とくし丸
デイサービス・デイケア	デイサービスたい	事業者による利用者の送迎
	デイサービスセンターときわ	
	デイサービス元気村たい	
	レイクビューさめうら	
社会福祉協議会	社会福祉協議会	あったかふれあいセンター開設時の参加者の送迎

※町内の医療施設の送迎はない。また、町民がよく利用する町外の医療施設（高知医大病院、嶺北中央病院）の送迎はない。

4.2 路線バス

(1) 運行概要

本町の路線バスは、嶺北観光自動車が行回事業者として、17系統の路線バスがあります。

表 4.2-1 運行概要

系統番号	路線名	起点	経由地	終点	系統キロ	輸送人員	乗車密度	平均運行回数		実車走行キロ	平均乗率	収支			収支率
								平日	土日祝日			経常費用	経常収益	経常損失	
旧廃4	大川(中島経由)	田井	中島	大川局前	18.2	479	0.1	3.0	2.0	33,633.6	39.58	9,621,703	242,911	9,378,792	2.5%
旧廃5	大川(役場東経由)	田井	役場東	大川局前	17.7	7,583	3.9	2.0	2.0	25,682.7	40.24	7,347,156	4,119,847	3,227,309	56.1%
旧廃6	黒丸	大川局前	—	黒丸	13.3	6,973	3.5	2.0	2.0	19,285.8	42.73	5,517,169	2,931,112	2,586,057	53.1%
旧廃7	檜山	田井	南泉入口	檜山	7.0	24,929	3.8	4.0	±3.0 日祝日1.0	19,026.0	52.39	5,442,846	3,805,398	1,637,448	69.9%
1	(本山経由) 田井	西石原上	南泉入口 寺家 本山	田井	22.6	18,541	5.3	2.0	2.0	32,815.2	39.32	9,387,580	6,937,677	2,449,903	73.9%
2	西石原	田井	南泉入口	西石原上	13.5	13,908	3.5	3.0	3.0	30,294.0	42.35	8,666,330	4,551,853	4,114,477	52.5%
3	(森旧道) 西石原	田井	森土居	西石原上	13.9	2,334	5.2	0.5	0.5	5,045.7	41.48	1,443,444	1,106,389	337,055	76.6%
4	(平石経由) 西石原	田井	森土居 平石	西石原上	14.6	4,763	3.8	1.0	1.0	10,599.6	40.29	3,032,272	1,656,636	1,375,636	54.6%
5	(平石経由) 峰石原	田井	森土居 平石	峰石原	16.8	1,211	4.2	0.0	0.5	2,755.2	39.38	788,192	461,744	326,448	58.6%
6	伊勢川	田井	—	伊勢川	5.2	12,486	2.8	2.5	3.0	12,292.8	54.68	3,516,652	1,928,636	1,588,016	54.8%
7	平石	田井	森土居 地藏寺下	平石	11.2	2,355	3.3	0.5	0.0	4,468.8	45.89	1,278,408	690,304	588,104	54.0%
8	(平石経由) 田井	峰石原	平石 地藏寺下 森土居	田井	18.4	2,184	5.1	0.5	0.0	3,661.6	39.49	1,047,489	755,256	292,233	72.1%
9	(学校経由) 田井	伊勢川	中学校前	田井	5.6	3,473	3.0	0.5	0.0	3,270.4	51.17	935,577	521,882	413,695	55.8%
10	有間分岐	田井	森土居	有間分岐	12.3	2,073	3.5	0.5	0.5	4,464.9	42.35	1,277,292	678,053	599,239	53.1%
11	峰石原	田井	南泉入口 地藏寺	峰石原	15.7	4,842	3.9	1.0	1.0	11,398.2	41.56	3,260,730	1,873,453	1,387,277	57.5%
県補2	大杉駅	田井	北岸	大杉駅	16.1	10,540	0.7	8.0	8.0	90,256.6	42.41	25,819,705	3,066,232	22,753,473	11.9%
県補3	医大病院	田井	北岸 大杉駅	医大病院	44.3	7,028	1.0	3.0	3.0	96,372.6	33.85	27,569,309	3,461,621	24,107,688	12.6%
合計					266.4	125,702				405,323.7		115,951,854	38,789,004	77,162,850	33.5%

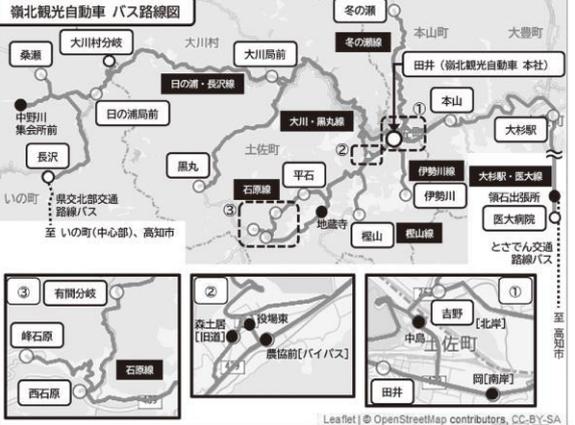
出典：嶺北観光自動車（令和4年度）

田井～本山～大杉駅～医大病院線

(北)北岸線由 (南)南岸線由 元旦(1/1)は全便運休します。

西石原	田井	吉野	嶺北高校前	中央病院前	本山	本山東大橋	西津家	川口分岐	大杉	東大橋	成合	徳石出	国分通	医大病院
(北) 5:53	5:56	6:01	6:02	6:03	6:09	6:14	6:17	6:21	7:23	7:38	7:48	7:56	8:01	8:05
(北) 6:54	6:57	7:02	7:03	7:04	7:10	7:15	7:18	7:22	7:22	7:37	7:47	7:55	8:00	8:04
(南) 9:12	9:15	9:18	9:19	9:20	9:26	9:31	9:34	9:38	10:35	10:50	11:00	11:08	11:13	11:17
(北) 10:07	10:10	10:15	10:16	10:17	10:23	10:28	10:31	10:35						
(北) 11:56	11:59	12:02	12:03	12:04	12:10	12:15	12:18	12:22						
(北) 12:20	12:23	12:28	12:29	12:30	12:36	12:41	12:44	12:48						
(北) 13:05	13:08	13:13	13:14	13:15	13:21	13:26	13:29	13:33						
(北) 15:07	15:10	15:15	15:16	15:17	15:23	15:28	15:31	15:35						
(北) 15:14	15:17	15:22	15:23	15:24	15:30	15:35	15:38	15:42	15:43	15:58	16:08	16:16	16:21	16:25
(北) 17:00	17:03	17:08	17:09	17:10	17:16	17:21	17:24	17:28						
(北) 17:35	17:38	17:43	17:44	17:45	17:51	17:56	17:59	18:03						
(北) 18:20	18:23	18:28	18:29	18:30	18:36	18:41	18:44	18:48						

西石原	田井	吉野	嶺北高校前	中央病院前	本山	本山東大橋	西津家	川口分岐	大杉	東大橋	成合	徳石出	国分通	医大病院
(北) 8:34	8:38	8:43	8:51	9:01	9:16	9:17	9:21	9:24	9:29	9:35	9:36	9:37	9:42	9:45
(北) 11:05	11:09	11:12	11:12	11:12	11:17	11:22	11:25	11:28	11:30	11:33	11:34	11:35	11:40	11:43
(北) 12:24	12:28	12:33	12:41	12:51	13:06	13:07	13:11	13:14	13:19	13:25	13:26	13:27	13:32	13:35
(北) 16:59	17:04	17:12	17:22	17:37	17:38	17:42	17:45	17:50	17:56	17:57	17:58	18:03	18:06	18:10
(北) 18:18	18:22	18:25	18:30	18:36	18:41	18:42	18:45	18:49	18:53	18:54	18:55	18:59	19:02	19:05
(北) 19:15	19:19	19:22	19:27	19:33	19:34	19:35	19:36	19:37	19:38	19:39	19:40	19:41	19:42	19:43



●【医大病院でのお乗換につきましては、下記お問い合わせ下さい】
 とさでん交通株式会社
 TEL 088-833-7171
 URL https://www.tosaden.co.jp

●【列車の運行状況等につきましては、下記お問い合わせ下さい】
 JR 四国電話案内センター
 TEL 0570-00-4592
 JR 高知駅
 TEL 088-822-8229
 URL https://www.jr-shikoku.co.jp

JR大杉駅 列車時刻表 (令和5年3月18日改正)

大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅	大杉駅
6:29		7:44	8:19	9:06	10:03	10:57	14:46	17:47	18:13	18:52	19:09	20:17	21:09	22:14
6:35		7:44	8:20	9:07	10:03	10:58	14:55	17:57	18:13	18:55	19:10	20:18	21:10	22:15
7:07	7:12	8:04	8:57	9:27	10:25	11:17	15:42	18:25	18:33	20:00	20:29	20:37	21:31	22:34
7:22	8:10	9:12	9:32	10:30	11:22	12:15	15:50	18:46	18:38	20:09	20:34	20:43	21:36	22:39
7:39	8:18	9:32	9:39	10:37	11:30	12:23	16:06	19:04	18:48	20:27	20:43	20:52	21:44	22:47
先行	土佐山田	伊野	中村	高知										

本山～田井～榎山～西石原～峰石原線

役場通の旧印=森土原バス停の通過時間。役場通の○=役場通バス停の通過時間。地蔵寺の○=地蔵寺下バス停の通過時間。地蔵寺バス停は通りません。土佐町小中構内について、学校が休みの時は「構内」への立寄りしませんが、

本山	田井	吉野	嶺北高校前	中央病院前	本山	本山東大橋	西津家	川口分岐	大杉	東大橋	成合	徳石出	国分通	医大病院
(回送)	6:49	7:00	7:00	7:00	7:06	7:11	7:16	7:21	7:23	7:38	7:48	7:56	8:01	8:05
(回送)	7:14	7:25	7:25	7:25	7:31	7:36	7:41	7:46	7:48	8:03	8:13	8:21	8:26	8:30
□	7:35	7:46	7:46	7:46	7:52	7:57	8:02	8:07	8:09	8:24	8:34	8:42	8:47	8:51
(北)吉野発	8:05	8:16	8:16	8:16	8:22	8:27	8:32	8:37	8:39	8:54	9:04	9:12	9:17	9:21
■	8:10	8:21	8:21	8:21	8:27	8:32	8:37	8:42	8:44	9:00	9:10	9:18	9:23	9:27
(南)	8:14	8:25	8:25	8:25	8:31	8:36	8:41	8:46	8:48	9:04	9:14	9:22	9:27	9:31
(北)	9:22	9:33	9:33	9:33	9:39	9:44	9:49	9:54	9:56	10:12	10:22	10:30	10:35	10:39
(南)	10:33	10:44	10:44	10:44	10:50	10:55	11:00	11:05	11:07	11:23	11:33	11:41	11:46	11:50
○	11:20	11:31	11:31	11:31	11:37	11:42	11:47	11:52	11:54	12:10	12:20	12:28	12:33	12:37
(北)	12:16	12:27	12:27	12:27	12:33	12:38	12:43	12:48	12:50	13:06	13:16	13:24	13:29	13:33
(北)	12:20	12:31	12:31	12:31	12:37	12:42	12:47	12:52	12:54	13:10	13:20	13:28	13:33	13:37
(南)	12:30	12:41	12:41	12:41	12:47	12:52	12:57	13:02	13:04	13:20	13:30	13:38	13:43	13:47
(南)	13:17	13:28	13:28	13:28	13:34	13:39	13:44	13:49	13:51	14:07	14:17	14:25	14:30	14:34
▲	15:30	15:41	15:41	15:41	15:47	15:52	15:57	16:02	16:04	16:20	16:30	16:38	16:43	16:47
□	16:30	16:41	16:41	16:41	16:47	16:52	16:57	17:02	17:04	17:20	17:30	17:38	17:43	17:47
□	16:30	16:41	16:41	16:41	16:47	16:52	16:57	17:02	17:04	17:20	17:30	17:38	17:43	17:47
○	17:10	17:21	17:21	17:21	17:27	17:32	17:37	17:42	17:44	18:00	18:10	18:18	18:23	18:27
○	18:15	18:26	18:26	18:26	18:32	18:37	18:42	18:47	18:49	19:05	19:15	19:23	19:28	19:32
○	18:30	18:41	18:41	18:41	18:47	18:52	18:57	19:02	19:04	19:20	19:30	19:38	19:43	19:47
△	18:30	18:41	18:41	18:41	18:47	18:52	18:57	19:02	19:04	19:20	19:30	19:38	19:43	19:47

田井～大川局～黒丸～日の浦～長沢～桑瀬線

田井	中島	大川局	黒丸	日の浦	長沢	桑瀬	桑瀬	長沢	中島	田井
6:51	7:02	7:13	7:24	7:35	7:46	7:57	8:08	8:19	8:30	8:41
12:30	12:41	12:52	13:03	13:14	13:25	13:36	13:47	13:58	14:09	14:20
15:56	16:07	16:18	16:29	16:40	16:51	17:02	17:13	17:24	17:35	17:46
17:06	17:17	17:28	17:39	17:50	18:01	18:12	18:23	18:34	18:45	18:56
17:10	17:21	17:32	17:43	17:54	18:05	18:16	18:27	18:38	18:49	19:00

田井～本山～冬の瀬線

田井	本山	吉野	沢ヶ内	さが野	冬の瀬	冬の瀬	さが野	沢ヶ内	吉野	本山	田井
回送 7:06	7:09	7:21	7:28	7:35	7:39	7:46	7:53	8:05	8:12	8:14	8:22
(南) 12:15	12:23	12:30	12:42	12:49	12:56	13:00	13:07	13:14	13:26		13:29
□ 16:21	16:24	16:36	16:43	16:50	16:50	16:57	17:04	17:16			17:19
17:26	17:29	17:41	17:48	17:55	17:55	18:02	18:09	18:21			18:24

田井～伊勢川線

田井	松ヶ丘	伊勢川	伊勢川	松ヶ丘	土佐町小中構内	田井
7:35	7:45	7:48	7:50	7:53	8:03	
12:19	12:29	12:32	12:32	12:38	12:48	
17:25	17:35	17:38	17:40	17:43	17:53	

図 4.2-1 時刻表

出典：嶺北観光自動車 (令和5年4月1日改正)

大川～役場東～田井線										田井		
								桂月前	120	120		
								役場東	120	150		
							南越ト ンネル	130	170	230		
						吉野 川南	120	180	220	290		
					吉野 川北	120	130	200	240	310		
				古味	130	150	200	260	300	380		
			井尻	160	220	240	290	350	390	460		
		下川口	120	190	260	280	320	390	430	500		
	上津川	120	150	240	310	320	370	440	480	550		
	鈴ヶ瀬	130	180	220	300	370	390	440	500	540	600	
大川局・小松団地・大川橋		130	200	240	280	370	440	450	500	560	600	660

大川～中島～田井線										田井		
									中島	120	120	
								南越・ 南越ト ンネル	トンネル 北口	120	150	
								140	200	230	230	
						吉野 川南	120	200	250	290	290	
					吉野 川北	120	130	220	270	310	310	
				古味	130	150	200	290	340	380	380	
			井尻	160	220	240	290	380	430	460	460	
		下川口	120	190	260	280	320	410	460	500	500	
	上津川	120	150	240	310	320	370	460	510	550	550	
	鈴ヶ瀬	130	180	220	300	370	390	440	520	570	600	
大川局・小松団地・大川橋		130	200	240	280	370	440	450	500	590	630	660

図 4.2-2 運賃表（大川線）

出典：嶺北観光自動車

黒丸～大川線										大川局・小松団地・大川橋	
									下中切	120	120
								南川橋	120	120	120
						程野	120	120	160	180	150
					旧七尾	120	120	150	180	210	180
				寺谷橋	120	120	150	180	240	260	210
			柿の畝	120	150	180	210	260	290	310	260
		カリヤ 橋	120	170	200	230	260	290	330	360	310
		安淵	120	160	220	250	280	300	330	360	360
		瀬戸	130	180	230	290	310	340	370	400	430
	芥川橋	120	170	210	260	320	340	380	400	430	460
黒丸	120	140	210	260	310	370	390	420	450	480	500

図 4.2-3 運賃表（黒丸線）

出典：嶺北観光自動車

田井～南泉入口(バイパス)～榎山線

						榎山
					相川	120
				日浦	120	160
			相川口	120	130	180
		農協前	120	120	170	210
	桂月前	120	140	170	200	250
田井	120	150	190	210	250	300

田井～伊勢川線

			伊勢川	
		松ヶ丘	120	
	相生橋	120	140	
大加屋	120	150	180	
田井	120	160	200	230

田井～【中学校前】～伊勢川線

平成21年4月1日改訂

						桂月前
					伊勢川	230
				松ヶ丘	120	200
			相生橋	120	140	160
	大加屋	120	150	180	120	
田井	120	160	200	230	120	

図 4.2-4 運賃表（榎山線、伊勢川線）

出典：嶺北観光自動車

田井(南泉入口(バイパス)-地藏寺経由)峰石原線

												峰石原						
											立道	120						
										西石原	120	140						
									三宝山前	120	140	170						
									東石原上	120	120	170	200					
									石根	120	130	160	210	240				
									池の本	120	140	170	190	240	270			
									地藏寺	120	150	190	220	240	290	320		
								立石	120	160	190	230	260	280	350	390		
							筋川	120	150	200	230	270	300	320	390	430		
						駒野	120	150	200	250	280	320	340	370	430	470		
					相川口	120	140	190	230	280	310	350	380	400	460	500		
					農協前	120	130	180	220	260	310	340	390	410	440	500	530	
					桂月前	120	140	170	210	260	300	350	380	420	450	470	540	570
田井	120	150	190	220	260	300	350	400	430	470	500	520	580	610				

田井～森土居～【地藏寺】～平石～西石原～峰石原線

																		地藏寺									
																	峰石原	390									
															立道	120	350										
														西石原	120	140	280										
													下久保	120	130	160	280										
													有馬分	120	140	190	210	230									
													西の本	120	160	180	220	260	200								
													野平	120	120	180	200	240	280	170							
													笹	120	140	180	230	250	300	330	120						
													立石	120	170	200	230	280	280	350	390	120					
													筋川	120	150	210	240	270	320	390	430	150					
													駒野	120	150	200	260	280	320	360	370	430	200				
													相川口	120	140	190	230	290	310	350	390	400	460	500	230		
													森土居	120	130	180	220	260	320	350	390	430	440	500	530	260	
													桂月前	120	140	170	210	260	300	360	390	420	460	470	540	570	300
田井	120	150	190	220	260	300	350	410	430	470	500	520	580	610	350												

図 4.2-5 運賃表（石原線①）

出典：嶺北観光自動車

日の浦～大川村分岐線				日の浦～大川線																															
			大川村分岐																																
		岩ノ谷分岐	120																																
日の浦局前	150		190																																
				大川局・小松団地・大川橋																															
											高野上	120	120																						
												木屋下	120	130	160																				
													木屋野	120	130	170	200																		
														ハイハラ	120	140	170	200	230																
															小金滝	120	120	170	200	230	260														
																保育所	120	120	160	200	230	260	290												
																	井の谷	120	120	160	190	230	260	290	320										
																		井の川	120	130	170	200	230	270	300	330	360								
																			大平	120	170	200	230	260	290	330	360	390	420						
																				小北川	120	160	200	230	260	290	320	360	390	420	450				
																					大藪	120	120	190	230	250	290	310	350	390	420	450	480		
																						高藪	120	150	180	240	280	310	340	370	400	440	470	500	530
日の浦	120	180	210	240	300	340	370	400	430	460	500	530	560	590																					

図 4.2-9 運賃表（日の浦線）

出典：嶺北観光自動車

長沢・桑瀬・中野川・日の浦線																																		
											中野川集会所前																							
												ツエケ谷	120																					
												日の浦局前	220	260																				
													登川橋	120	180	210																		
														桑瀬	190	240	170	200																
															出合橋	120	130	180	120	150														
																葛原	120	170	120	140	150	190												
																	モツゴ谷	120	150	210	140	190	200	230										
																		名の谷	120	170	200	250	190	230	240	270								
																			段々大橋	120	150	210	230	290	220	270	280	310						
																				大砂橋	120	150	200	250	280	340	270	310	320	360				
																					戸中橋	130	180	220	260	320	350	410	340	380	390	430		
																						黒滝	120	180	220	260	300	360	390	450	380	420	430	470
長沢	120	140	210	260	300	340	400	430	480	420	460	470	500																					

図 4.2-10 運賃表（長沢線）

出典：嶺北観光自動車

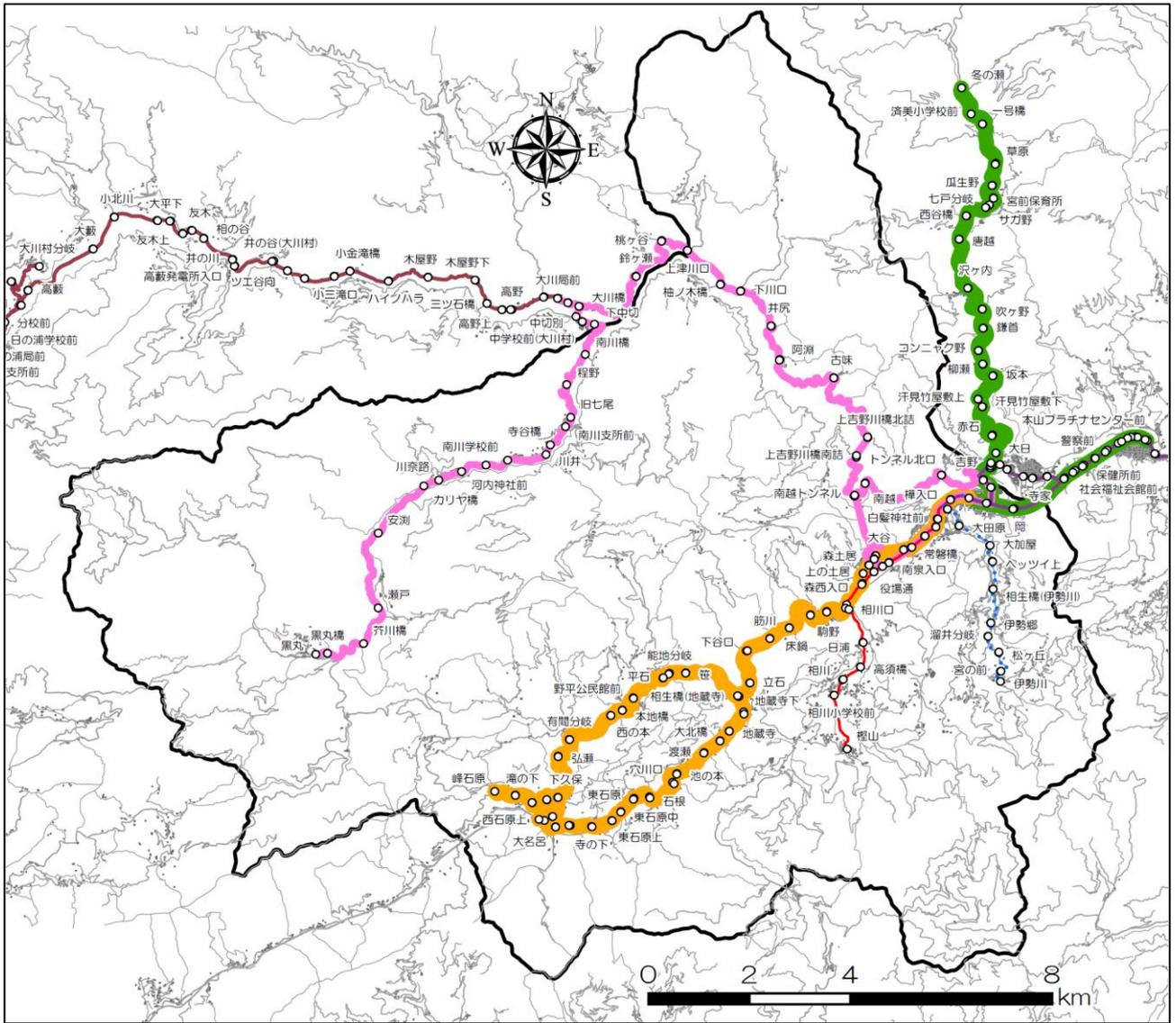


図 4.2-11 路線図

	大川・黒丸線
	檜山線
	石原線
	伊勢川線
	冬の瀬線
	田井～本山～大杉駅～医大病院線
	いの町方面

(2) 年間輸送人員の推移

表 4.2-2 年間輸送人員の推移

(単位：人)

系統番号	路線名	起点	経由地	終点	平成30年度 A	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 B	増減 C B-A	増減率 C/A
旧廃4	大川(中島経由)	田井	中島	大川局前	1,116	769	769	470	479	-637	-57.1%
旧廃5	大川(役場東経由)	田井	役場東	大川局前	8,167	7,702	7,702	7,468	7,583	-584	-7.2%
旧廃6	黒丸	大川局前	—	黒丸	7,300	6,882	6,882	6,881	6,973	-327	-4.5%
旧廃7	檜山	田井	南泉入口	檜山	26,066	26,883	26,883	27,449	24,929	-1,137	-4.4%
1	(本山経由)田井	西石原上	南泉入口寺家本山	田井	22,142	22,911	23,191	20,510	18,541	-3,601	-16.3%
2	西石原	田井	南泉入口	西石原上	11,696	12,509	13,161	11,721	13,908	2,212	18.9%
3	(森旧道)西石原	田井	森土居	西石原上	2,327	2,485	2,608	2,366	2,334	7	0.3%
4	(平石経由)西石原	田井	森土居平石	西石原上	5,733	4,711	4,584	5,015	4,763	-970	-16.9%
5	(平石経由)峰石原	田井	森土居平石	峰石原	1,321	1,137	1,105	1,269	1,211	-110	-8.3%
6	伊勢川	田井	—	伊勢川	10,735	10,898	11,608	12,402	12,486	1,751	16.3%
7	平石	田井	森土居地藏寺下	平石	2,797	2,276	2,276	2,499	2,355	-442	-15.8%
8	(平石経由)田井	峰石原	平石地藏寺下森土居	田井	2,141	1,720	1,838	2,351	2,184	43	2.0%
9	(学校経由)田井	伊勢川	中学校前	田井	2,993	3,015	3,271	3,508	3,473	480	16.0%
10	有間分岐	田井	森土居	有間分岐	2,473	2,040	1,985	2,174	2,073	-400	-16.2%
11	峰石原	田井	南泉入口地藏寺	峰石原	4,965	5,113	5,339	4,835	4,842	-123	-2.5%
旧廃1	田井	県庁前	北岸・南岸	田井(出)	65,519	69,736	56,241	47,522			
県補2	大杉駅	田井	北岸	大杉駅	2,540	2,672	2,345	1,650	10,540	8,000	315.0%
県補3	医大病院	田井	北岸大杉駅	医大病院					7,028		
合計					180,031	183,459	171,788	160,090	125,702		

出典：嶺北観光自動車、土佐町

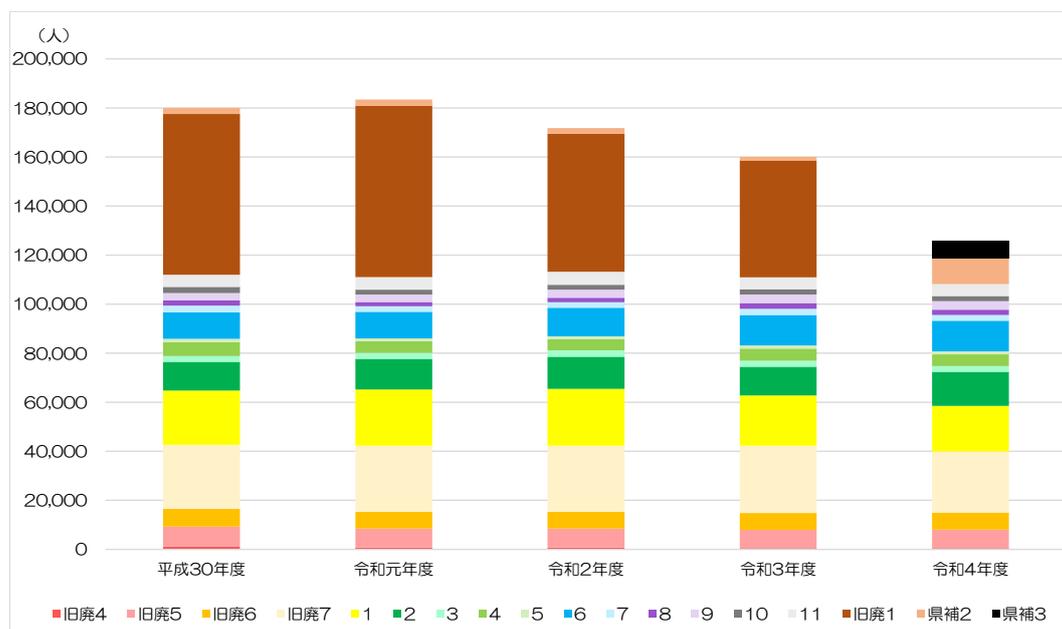


図 4.2-13 路線図

出典：嶺北観光自動車、土佐町

(3) 本町の補助金負担額の推移

本町の路線バスへの補助金負担額の推移は、年々増加傾向にあり、令和4年度は約 3,300 万円となっています。

表 4.2-3 本町の補助金負担額の推移

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	千円	割合								
生活バス路線運行維持費補助金（とさでん交通） 田井～県庁前 *国・県補助路線	571	3.0%	627	2.9%	623	2.5%	676	2.3%		
地方バス路線維持費補助金（とさでん交通） 田井～大杉駅 *県補助路線	370	1.9%	342	1.6%	347	1.4%	375	1.3%		
生活バス路線運行維持費補助金（嶺北観光自動車） 田井～大杉駅、田井～医大 *県補助路線									9,310	28.4%
生活バス路線運行維持費補助金（嶺北観光自動車） 田井～大川局前 *県補助路線	3,364	17.4%	3,512	16.5%	3,649	14.7%	3,906	13.5%	3,607	11.0%
路線運行バス運営費補助金（嶺北観光自動車） 町補助路線	15,014	77.7%	16,852	79.0%	20,120	81.3%	23,948	82.9%	19,868	60.6%
合計	19,319	100.0%	21,333	100.0%	24,739	100.0%	28,905	100.0%	32,785	100.0%

出典：土佐町
※百円以下切り捨て

※令和4年度の高知県からの補助金は、
生活バス路線運行維持費補助金（嶺北観光自動車）「田井～大杉駅、田井～医大」：9,310 千円
生活バス路線運行維持費補助金（嶺北観光自動車）「田井～大川局前」：4,689 千円

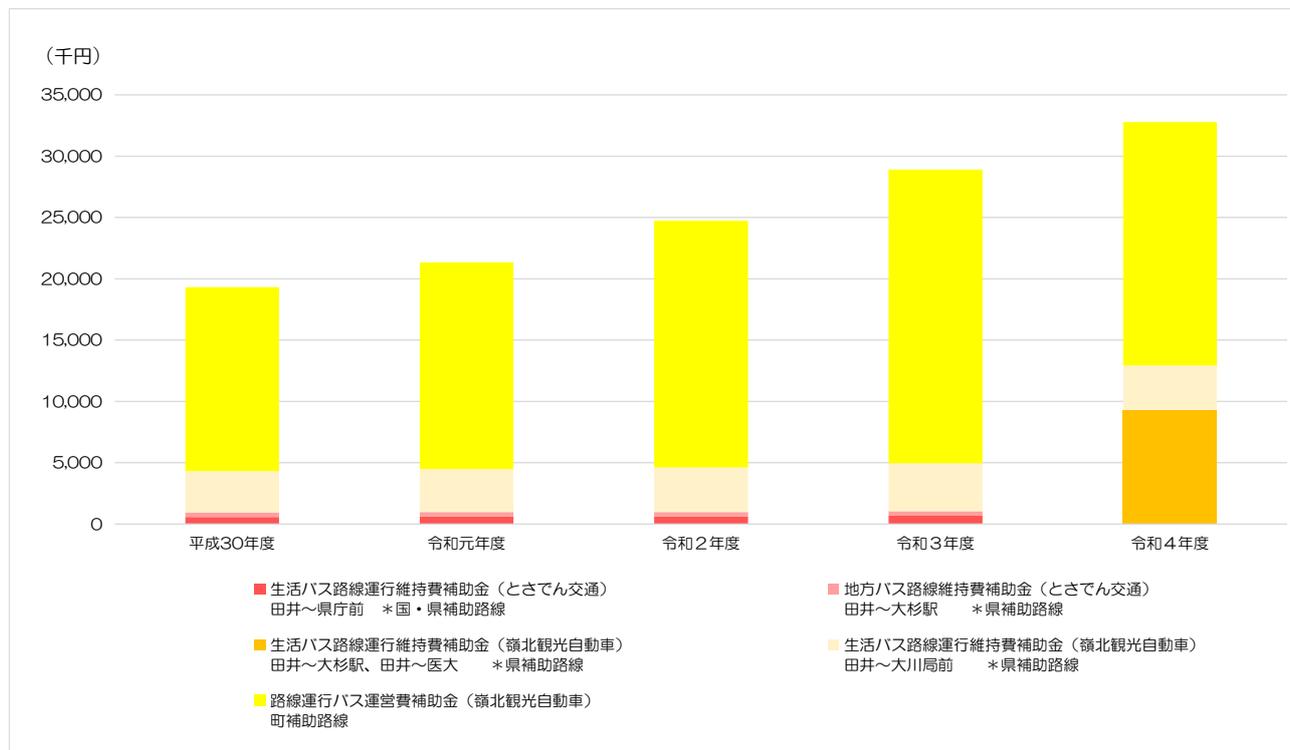


図 4.2-14 本町の補助金負担額の推移

出典：土佐町
※百円以下切り捨て

(4) 高齢者通院バス料金助成実施事業

本町では高齢者の通院支援として、高齢者通院バス料金助成実施事業を実施しています。

表 4.2-4 高齢者通院バス料金助成の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用人数（人）	19	20	15	12	12
扶助費（円）	115,780	128,240	141,240	83,810	46,730

出典：土佐町

(5) 利用状況（乗降調査）

1) 調査概要

調査期間	令和5年9月28日～10月1日（4日間）【平日2日、土曜日1日、日曜日1日】
調査方法	バス停における乗車人数、降車人数を人手観測（スクールバスの通学者は除く）
対象	嶺北観光自動車の全路線

2) 調査結果

4日間の調査期間で、利用者数は合計 288 人となり、運行便数は合計 342 便で、1 便あたりの利用者数は 0.84 人/便となっています。その内、利用者 0 人の便が 202 便（全体の 59.1%が利用者 0 人の便）となっています。

時間帯別の 1 便あたりの利用者数をみると、最も少ないのは 18 時台～19 時台で 0.49 人/便となり、次いで 12 時台～14 時台が 0.57 人/便、15 時台～17 時台が 0.69 人/便となっています。

時間帯別の利用者 0 人の便数の割合をみると、最も高いのは 18 時台～19 時台で 77.1% となり、次いで 12 時台～14 時台が 66.7%、15 時台～17 時台が 58.9%となっています。

路線別の 1 便あたりの利用者数をみると、最も多いのは田井～医大病院線で 2.42 人/便となり、次いで田井～大杉駅線が 1.63 人/便、大川局前～黒丸線と田井～大川局前線が 1.00 人/便となっています。

一方、最も少ないのは田井～伊勢川線と田井～檜山線で 0.13 人/便となり、次いでいの町方面が 0.25 人/便、（本山）田井～西石原・峰石原線が 0.40 人/便となっています。

バス停別の利用者数をみると、最も多いのは田井で 88 人（乗車 42 人、降車 46 人）となり、次いで大杉駅が 76 人（乗車 36 人、降車 40 人）、大川局前が 47 人（乗車 28 人、降車 19 人）となっています。

表 4.2-5 乗降調査の結果 (1/3)

	始発時刻	始発のバス停	終着時刻	終着のバス停	利用者数 (人)				合計
					9/28 (木)	9/29 (金)	9/30 (土)	10/1 (日)	
大川局前～黒丸線	13:10	大川局前	13:38	黒丸	2	2	0	1	5
	17:47	大川局前	18:15	黒丸	0	0	1	0	1
	6:55	黒丸	7:23	大川局前	2	6	0	0	8
	13:50	黒丸	14:18	大川局前	0	1	1	0	2
田井～伊勢川線	7:35	田井	7:48	伊勢川	0	0	0	0	0
	12:19	田井	12:32	伊勢川	0	0	0	0	0
	17:25	田井	17:38	伊勢川	0	0	0	0	0
	7:50	伊勢川	8:05	田井	1	1	1	0	3
	12:35	伊勢川	12:48	田井	0	0	0	0	0
	17:40	伊勢川	17:53	田井	0	0	0	0	0
田井～樫山線	7:35	田井	7:49	樫山	0	0			0
	8:10	田井	8:24	樫山			0	0	0
	11:20	田井	11:34	樫山	0	1	0		1
	16:30	田井	16:44	樫山	0	0			0
	18:15	田井	18:29	樫山	0	0	0		0
	7:51	樫山	8:05	田井	1	1			2
	8:25	樫山	8:39	田井			0	0	0
	11:36	樫山	11:50	田井	0	0	0		0
	16:45	樫山	16:59	田井	0	0			0
	18:30	樫山	18:44	田井	0	0	0		0
田井～吉野線	8:00	田井	8:03	吉野	3	1	0	0	4
	8:05	吉野	8:08	田井	1	0	0	0	1
田井～大川局前線	6:51	田井	7:25	大川局前	0	0	0	0	0
	12:30	田井	13:05	大川局前	2	4	0	0	6
	15:56	田井	16:30	大川局前	1	2			3
	17:06	田井	17:40	大川局前	1	0	2	1	4
	17:10	田井	17:45	大川局前	0	0	1	0	1
	7:25	大川局前	8:00	田井	5	7	0	0	12
	8:20	大川局前	8:54	田井	0	2	2	0	4
	14:20	大川局前	14:55	田井	0	3	2	1	6
	16:30	大川局前	17:04	田井	0	0			0
	17:30	大川局前	18:04	田井	0	0	0	0	0

表 4.2-6 乗降調査の結果 (2/3)

	始発時刻	始発のバス停	終着時刻	終着のバス停	利用者数 (人)				合計
					9/28 (木)	9/29 (金)	9/30 (土)	10/1 (日)	
田井～本山線	9:12	田井	9:20	本山	1	2	0	0	3
	11:56	田井	12:04	本山	0	0	0	0	0
	10:33	本山	10:41	田井	2	1	0	1	4
	13:17	本山	13:25	田井	0	0	0	1	1
(本山) 田井～西石原・峰石原線	9:22	本山	9:56	西石原上	2	3	0	0	5
	12:06	本山	12:40	西石原上	2	1	0	0	3
	12:20	田井	12:54	西石原上	0	0	1	0	1
	14:16	田井	14:40	西石原上	0	0	0	0	0
	15:30	田井	15:57	有間分岐			0		0
	15:50	田井	16:14	西石原上	0	0	0	0	0
	16:30	田井	16:59	峰石原	1	2	1	1	5
	16:30	田井	16:54	平石	2	2			4
	18:30	田井	18:54	西石原上	0	0	0	0	0
	18:30	田井	18:57	有間分岐	0	0		0	0
	7:24	峰石原	08:05/08:03	田井	0	1	0	0	1
	7:41	西石原上	8:05	田井	1	1	1	0	3
	9:57	西石原上	10:31	本山	2	2	0	1	5
	12:41	西石原上	13:15	本山	0	0	0	0	0
	12:57	西石原上	13:31	田井	0	0	1	0	1
	14:41	西石原上	15:09	田井	0	0	0	0	0
	16:17	西石原上	16:41	田井	0	0	0	0	0
	17:00	峰石原	17:29	田井	0	0	0	0	0
	18:55	西石原上	19:19	田井	0	0	0	0	0
	田井～大杉駅線	5:53	田井	6:21	大杉駅	7	2	3	1
7:30		田井	7:58	大杉駅	2	2	2	1	7
10:07		田井	10:35	大杉駅	5	3	0	7	15
12:20		田井	12:48	大杉駅	0	1	0	2	3
15:07		田井	15:35	大杉駅	1	3	1	0	5
17:00		田井	17:28	大杉駅	1	1	1	1	4
17:35		田井	18:03	大杉駅	0	0	0	0	0
18:20		田井	18:48	大杉駅	1	2	2	1	6
6:55		大杉駅	7:23	田井	1	1	2	0	4
8:00		大杉駅	8:28	田井	2	6	0	0	8
11:05		大杉駅	11:33	田井	1	4	1	0	6
13:56		大杉駅	14:24	田井	4	0	2	0	6
15:50		大杉駅	16:18	田井	4	2	1	3	10
17:50		大杉駅	18:18	田井	1	1	3	1	6
18:18		大杉駅	18:46	田井	0	0	0	0	0
19:15		大杉駅	19:43	田井	4	3	2	2	11

表 4.2-7 乗降調査の結果 (3/3)

	始発時刻	始発のバス停	終着時刻	終着のバス停	利用者数 (人)				合計
					9/28 (木)	9/29 (金)	9/30 (土)	10/1 (日)	
田井～医大病院線	6:54	田井	8:05	医大病院	2	4	2	0	8
	8:10	田井	9:21	医大病院	3	2	3	2	10
	15:14	田井	16:25	医大病院	3	2	2	3	10
	8:34	医大病院	9:45	田井	5	2	5	3	15
	12:24	医大病院	13:35	田井	4	2	1	0	7
	16:55	医大病院	18:06	田井	3	2	3	0	8
田井～冬の瀬線	12:15	田井	12:56	冬の瀬	1	0	0	2	3
	16:21	田井	16:50	冬の瀬	1	0			1
	17:26	田井	17:55	冬の瀬	0	0	0	0	0
	7:39	冬の瀬	8:22	田井	9	1	0	1	11
	13:00	冬の瀬	13:29	田井	1	1	0	0	2
	16:50	冬の瀬	17:19	田井	0	0			0
いの町方面	7:25	大川局前	8:25	長沢	1	0	0	0	1
	7:37	大川村分岐	7:50	日の浦局前	0	0	0		0
	13:10	大川局前	13:37	日の浦局前	0	1	0	0	1
	14:00	日の浦局前	14:30	長沢	0	0	0	0	0
	17:43	大川局前	18:10	日の浦局前	1	0	2	1	4
	18:10	日の浦局前	18:20	桑瀬	0	0	0		0
	7:24	日の浦局前	7:37	大川村分岐	0	0	0		0
	7:50	日の浦局前	8:17	大川局前	0	1	2	0	3
	12:10	長沢	13:07	大川局前	0	0	0	1	1
	16:30	長沢	17:27	大川局前	0	0	0	0	0
	18:20	桑瀬	18:30	日の浦局前	0	0	0		0
合計					100	95	54	39	288
運行便数 (便)					91	91	84	76	342
利用者0人の便数 (便)					48	47	54	53	202
1便あたりの利用者数 (人/便)					1.10	1.04	0.64	0.51	0.84

表 4.2-8 時間帯別の利用者

時間帯（始発時刻）	9/28（木）			9/29（金）			9/30（土）			10/1（日）			合計		
	利用者数（人）	運行便数（便）	1便あたりの利用者数（人/便）												
5時台～8時台	46	24	1.92	41	24	1.71	23	24	0.96	8	22	0.36	118	94	1.26
9時台～11時台	13	9	1.44	16	9	1.78	1	9	0.11	9	7	1.29	39	34	1.15
12時台～14時台	16	21	0.76	16	21	0.76	8	21	0.38	8	21	0.38	48	84	0.57
15時台～17時台	20	27	0.74	17	27	0.63	18	21	0.86	11	20	0.55	66	95	0.69
18時台～19時台	5	10	0.50	5	10	0.50	4	9	0.44	3	6	0.50	17	35	0.49
合計	100	91	1.10	95	91	1.04	54	84	0.64	39	76	0.51	288	342	0.84

表 4.2-9 時間帯別の利用者0人の便

時間帯（始発時刻）	9/28（木）			9/29（金）			9/30（土）			10/1（日）			合計		
	運行便数（便）	利用者0人の便数の割合（%）	利用者0人の便数（便）												
5時台～8時台	24	33.3%	8	24	29.2%	7	24	58.3%	14	22	77.3%	17	94	48.9%	46
9時台～11時台	9	33.3%	3	9	22.2%	2	9	88.9%	8	7	57.1%	4	34	50.0%	17
12時台～14時台	21	66.7%	14	21	57.1%	12	21	71.4%	15	21	71.4%	15	84	66.7%	56
15時台～17時台	27	55.6%	15	27	66.7%	18	21	47.6%	10	20	65.0%	13	95	58.9%	56
18時台～19時台	10	80.0%	8	10	80.0%	8	9	77.8%	7	6	66.7%	4	35	77.1%	27
合計	91	52.7%	48	91	51.6%	47	84	64.3%	54	76	69.7%	53	342	59.1%	202

表 4.2-9 路線別の利用者

路線名	平日			土日			合計		
	運行便数（便）	利用者数（人）	1便あたりの利用者数（人/便）	運行便数（便）	利用者数（人）	1便あたりの利用者数（人/便）	運行便数（便）	利用者数（人）	1便あたりの利用者数（人/便）
大川局前～黒丸線	8	13	1.63	8	3	0.38	16	16	1.00
田井～伊勢川線	12	2	0.17	12	1	0.08	24	3	0.13
田井～樫山線	16	3	0.19	8	0	0.00	24	3	0.13
田井～吉野線	4	5	1.25	4	0	0.00	8	5	0.63
田井～大川局前線	20	27	1.35	16	9	0.56	36	36	1.00
田井～本山線	8	6	0.75	8	2	0.25	16	8	0.50
（本山）田井～西石原・峰石原線	36	22	0.61	34	6	0.18	70	28	0.40
田井～大杉駅線	32	65	2.03	32	39	1.22	64	104	1.63
田井～医大病院線	12	34	2.83	12	24	2.00	24	58	2.42
田井～冬の瀬線	12	14	1.17	8	3	0.38	20	17	0.85
いの町方面	22	4	0.18	18	6	0.33	40	10	0.25
合計	182	195	1.07	160	93	0.58	342	288	0.84

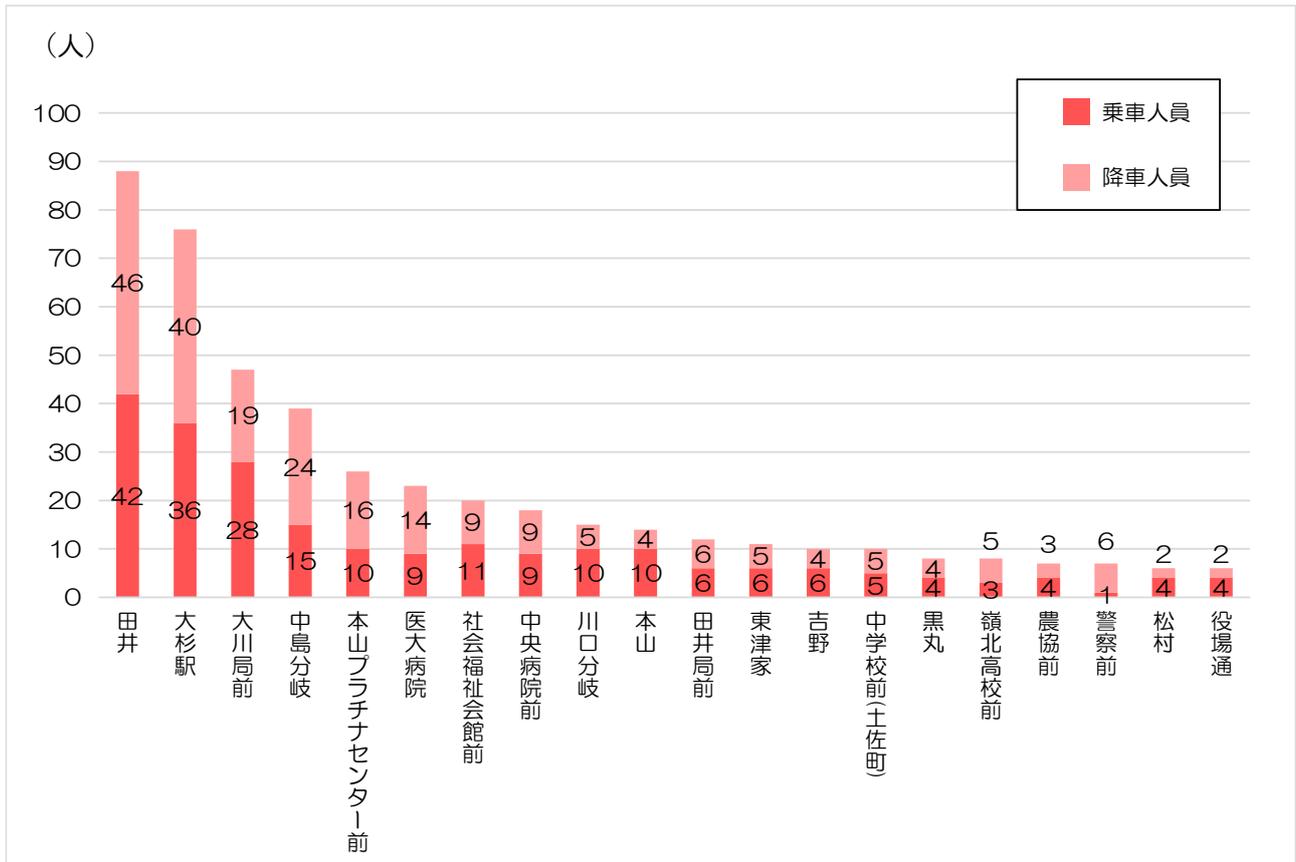


図 4.2-15 利用の多いバス停上位 20 箇所

4.3 チョイソコとさちょう（実証運行中）

（1）運行概要

本町では、移動手段の確保や外出支援のため、令和3年度より土佐町乗合交通実証事業（チョイソコとさちょう）を実施しています。

利用するためには事前に会員登録が必要となり、事前予約制・乗合で運行しています。

表 4.3-1 運行概要（黒丸・下瀬戸・南川地区にお住まいの方）

利用対象者	黒丸・下瀬戸・南川地区にお住まいの方 ※田井以外にお住まいの75歳以上は自宅までの送迎
予約方法	電話（①名前と会員番号、②利用希望日、③乗り場と行き先、④着きたい時刻）
運行区域	黒丸・下瀬戸・南川地区から森・田井の公共機関・病院・店舗・嶺北中央病院
運行曜日	火曜日（祝日、年末年始は除く）
運行時間	①黒丸・下瀬戸・南川地区 ⇒ 田井着 10:30（嶺北中央病院着 10:40） ②（嶺北中央病院発 14:20）田井発 14:30 ⇒ 黒丸・下瀬戸・南川地区 ※予約状況により、①の出発時間、②の到着時間は異なる。 ※午前8時までの路線バス田井発医大病院・大杉駅行きへの乗継は応相談。
予約受付時間	平日 8:30～17:00 ※事前予約が必要。 ※乗車希望日の1営業日前の正午までに予約が必要。 ※予約は乗車希望日の2ヶ月前から可能。
会員登録・ 予約先	合同会社いしはらの里
実証期間	令和5年4月3日～令和6年3月29日
料金	無料（実証期間中のため）

表 4.3-2 運行概要（上野・田井・中島・三島・樺地区以外にお住まいの方）

利用対象者	上野・田井・中島・三島・樺地区以外にお住まいの方 ※上野・田井・中島・三島・樺地区にお住まいの方は臨時会員として、臨時会員登録のうえ、既に設定している乗り場間を利用することができる。 臨時会員の利用例：田井に住んでいる方が役場田井支所から役場本庁への移動など ※田井以外にお住まいの75歳以上は自宅までの送迎
予約方法	電話（①名前と会員番号、②利用希望日、③乗り場と行き先、④着きたい時刻）
運行区域	利用対象者の居住区域及び、利用対象者の居住区域内から森・田井の公共機関・病院・店舗・嶺北中央病院
運行曜日	平日
運行時間	8:30～17:00 ※路線バスと同方向・同時間帯には利用できない。 ※田井から各地区へは15:30までの運行となる。 ※最寄りの路線バスのバス停から自宅付近までは17:00までは利用可能。 ※午前8時までの路線バス田井発医大病院・大杉駅行きへの乗継は時間外も対応。 （黒丸・下瀬戸・南川地区方面の運行は、火曜日のみで運行形態が異なる。）
予約受付時間	平日 8:30～17:00 ※事前予約が必要。 ※乗りたい時間の1時間前までに予約。 ※先に予約を入れた方を優先で運行する。 ※予約は乗車希望日の2ヶ月前から可能。 ※8:30～10:00までの乗車は1営業日前までに予約が必要。
会員登録・予約先	合同会社いしはらの里
実証期間	令和5年4月3日～令和6年3月29日（土日祝日、年末年始除く）
料金	無料（実証期間中のため）

「チョイソコとさちょう」の主な停留所

停留所名称	旧小学校区
峯石原公民館	石原
やまさとの市	石原
石原コミュニティーセンター	石原
西石原文化会館	石原
さとの店	石原
西石原郵便局	石原
東石原集会所	石原
上地藏寺集会所	地藏寺
中地藏寺集会所結いの里 (中地藏寺集会所)	地藏寺
下地藏寺集会所	地藏寺
地藏寺郵便局	地藏寺
旧JA地藏寺支所	地藏寺
役場地藏寺支所	地藏寺
野平公民館	平石
平石コミュニティーセンター	平石
相川集会所	相川
高須集会所	相川
立割集会所	相川
白石集会所	相川
北境集会所	和田
中和田集会所	和田
和田町民体育館(旧和田小学校)	和田
五区集会所	森
中央福祉センター・児童館	森
上ノ土居集会所	森
中村集会所	森
大谷集会所	森
中央集会所	森
南境公民館	森
東境集会所	森
南泉集会所	森
宮古野ふれあい交流館	森
上野上公民館	田井
松ヶ丘コミュニティーセンター	田井
伊勢川集会所	田井
三立公民館	田井
溜井集会所	田井
松木野集会所	田井
瀬戸コミュニティーセンター	瀬戸
黒丸公民館	瀬戸
瀬戸公民館	瀬戸
南川会館	南川
古味公民館	田井

停留所名称	旧小学校区
土佐町役場	森
土佐町郷土学習センター	森
JAれいほく支所	森
JA葬祭ルミエールタ月	森
道の駅土佐さめうら	田井
土佐町小中学校	森
みつば保育園	田井
土佐町町民ランド・おこぜハウス	田井
(有) 嶺北観光自動車	田井
旧JA田井出張所	田井
土佐町役場田井支所・町立図書館	田井
田井医院	田井
土佐町環境改善センター・土佐地区商工会	田井
高知銀行嶺北支店	田井
早明浦病院	田井
西川歯科	田井
末広ショッピングセンター	田井
セイムス田井店	田井
マルニ田井店	田井
田井町民体育館	田井
湖の駅さめうらレイクタウン・さめうら荘	田井
嶺北中央病院(本山町)	—

* 嶺北観光自動車運行の路線バスの町内のバス停、町内の小売店などの事業所もチョイソコの停留所として乗降できます。

図 4.3-1 主な停留所

令和5年度 乗合送迎サービスの運行について

【会員登録制】事前に会員登録をお願いします。

【運行時間】平日 8:30～17:00 (8時までの路線バス医大病院行き及び大杉駅行き乗継は8:30前も対応。要会員登録。)

【利用対象者の居住地域】上野・田井・中島・三島・樺地区以外にお住まいの方

上野・田井・中島・三島・樺地区の方は臨時会員登録のうえ、臨時会員として本事業で既に設定されている乗降場所間を利用可能(要予約)

【運行区域】嶺北中央病院、町内の乗降場所に指定する乗降場所間

【森・田井方面の乗降場所】役場、郷土学習センター、図書館、JA支所・出張所・葬祭夕月、道の駅、小中学校、保育園、田井町民グラウンド・体育館、嶺北観光自動車、改善センター、高知銀行、田井医院、早明浦病院、西川歯科、末広、セイムス、マルニ、湖の駅、嶺北中央病院など

【利用対象者の居住地域の乗降場所】路線バスのバス停、公共施設、会員の自宅近くなど(会員登録時に場所を設定します。なお、上野・田井・中島・三島・樺地区の方は自宅近くを乗り場に設定することができません。)

各地区⇄田井方面・嶺北中央病院 利用できる時間帯

田井 → 本山 10:30～12:00 13:30～15:00 15:30～16:30	本山 → 田井 12:15～13:00 14:00～16:00
石原・地藏寺・森 → 田井 8:30～10:00 10:30～12:30 13:30～14:30 15:00～16:00	田井 → 森・地藏寺・石原 10:00～11:30 13:00～14:00 14:30～15:30
檜山・相川・森 → 田井 9:00～11:00 12:30～15:30	田井 → 森・相川・檜山 9:00～11:00 12:00～15:30
伊勢川・溜井・上野上 → 田井 9:00～12:00 13:00～15:30	田井 → 伊勢川・溜井・上野上 9:00～12:00 13:00～15:30
上津川・古味 → 田井 9:00～14:00 15:00～16:00	田井 → 上津川・古味 8:30～12:00 13:00～15:30
黒丸・下瀬戸・南川 → 田井 * 火曜日のみ到着時間固定 田井着10:30 (嶺北中央病院着10:40)	田井 → 黒丸・下瀬戸・南川 * 火曜日のみ出発時間固定 田井発11:30 (嶺北中央病院発14:20) 田井発14:30

それぞれの地区内は8:30～17:00の時間帯で利用できます(黒丸・下瀬戸・南川地区を除く)

【予約】乗車希望の2カ月前から1時間前までに予約が必要

10時までの運行は1営業日前までの予約

(黒丸・下瀬戸・南川方面は1営業日前の正午までに予約が必要)

【会員登録・予約先】070-4420-1000 (合同会社いしはらの里)

図 4.3-2 田井～各地区の利用可能時間帯表

(2) 利用状況

チョイソコとさちょうの予約表より、利用状況について整理します。

1) 登録者の状況

① 居住地区・性別登録者数

令和5年9月22日現在で276人（男性91人、女性185人）が登録をしています。

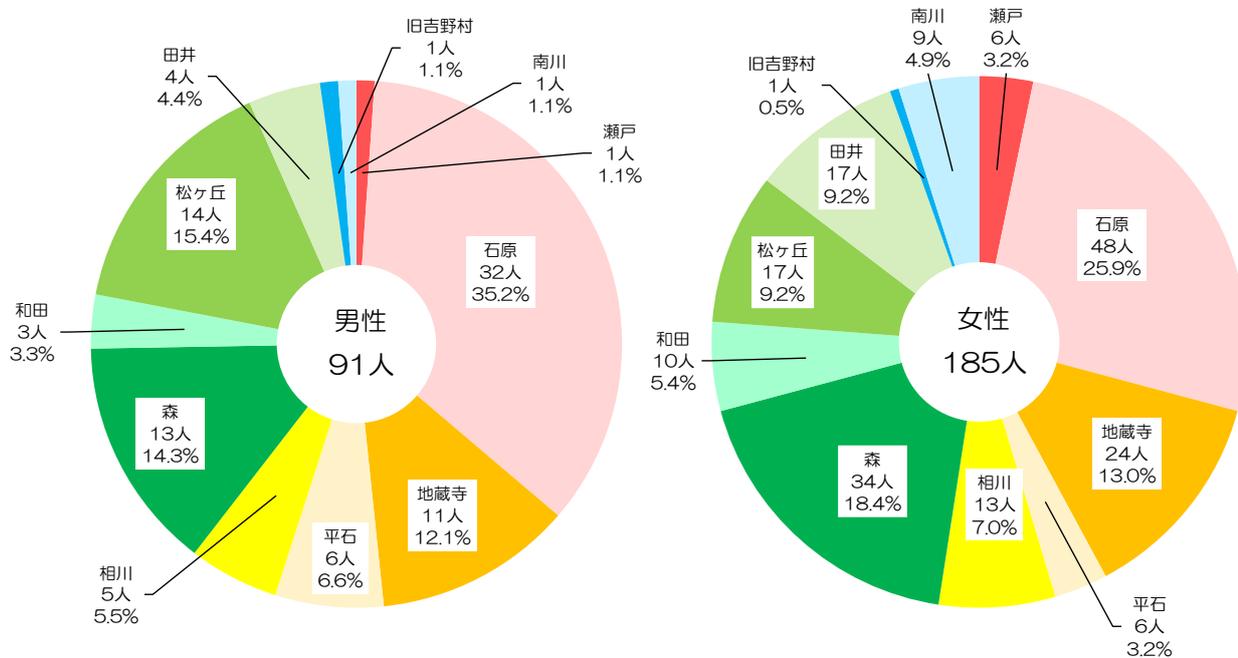


図 4.3-3 居住地区・性別登録者数

出典：土佐町
※登録者数（令和5年9月22日現在）

② 登録者の利用状況

登録者数のうち 139 人（土佐町人口の 3.9%）の方が利用されています。

居住地区別でみると、登録者数割合が最も高い地区は、南川地区で 35.7%（10 人）となっています。また、実利用者数割合が最も高い地区は、和田地区で 15.5%（9 人）となっています。

年代別でみると、登録者数割合が最も高い年代は、80～89 歳で 22.6%（115 人）となっています。また、実利用者数割合が最も高い年代も 80～89 歳で 12.6%（64 人）となっています。

表 4.3-3 居住地区・性別—登録者・実利用者数割合

（単位：人）

居住地区	登録者数			実利用者数			地区別人口	登録者数割合	実利用者数割合
	男性	女性	合計	男性	女性	合計			
瀬戸	1	6	7	0	0	0	36	19.4%	0.0%
石原	32	48	80	12	25	37	298	26.8%	12.4%
地藏寺	11	24	35	6	17	23	214	16.4%	10.7%
平石	6	6	12	3	0	3	73	16.4%	4.1%
相川	5	13	18	3	12	15	393	4.6%	3.8%
森	13	34	47	5	22	27	852	5.5%	3.2%
和田	3	10	13	1	8	9	58	22.4%	15.5%
松ヶ丘	14	17	31	5	9	14	222	14.0%	6.3%
田井	4	17	21	2	5	7	1,365	1.5%	0.5%
旧吉野村	1	1	2	0	0	0	23	8.7%	0.0%
南川	1	9	10	0	4	4	28	35.7%	14.3%
合計	91	185	276	37	102	139	3,562	7.7%	3.9%

出典：土佐町

※登録者数（令和5年9月22日現在）

※実利用者数は令和3年10月1日から令和5年9月29日の期間で1回以上利用者された方の人数

※地区別人口：住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

表 4.3-4 年代・性別—登録者・実利用者数割合

（単位：人）

年代	登録者数			実利用者数			年代別人口	登録者数割合	実利用者数割合
	男性	女性	合計	男性	女性	合計			
0～9歳	4	0	4	5	0	5	217	1.8%	2.3%
10～19歳	5	9	14	2	6	8	240	5.8%	3.3%
20～29歳	2	2	4	2	0	2	178	2.2%	1.1%
30～39歳	2	1	3	1	1	2	272	1.1%	0.7%
40～49歳	3	1	4	2	0	2	361	1.1%	0.6%
50～59歳	6	4	10	2	4	6	410	2.4%	1.5%
60～69歳	10	10	20	4	3	7	547	3.7%	1.3%
70～79歳	16	45	61	5	22	27	624	9.8%	4.3%
80～89歳	30	85	115	9	55	64	508	22.6%	12.6%
90～99歳	13	27	40	5	11	16	197	20.3%	8.1%
100歳以上	0	1	1	0	0	0	8	12.5%	0.0%
合計	91	185	276	37	102	139	3,562	7.7%	3.9%

出典：土佐町

※登録者数（令和5年9月22日現在）

※実利用者数は令和3年10月1日から令和5年9月29日の期間で1回以上利用者された方の人数

※地区別人口：住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

表 4.3-5 年代・居住地区別の登録者数

(単位：人)

年代	登録者数											
	瀬戸	石原	地藏寺	平石	相川	森	和田	松ヶ丘	田井	旧吉野村	南川	合計
0～9歳	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
10～19歳	0	6	2	2	3	1	0	0	0	0	0	14
20～29歳	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
30～39歳	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
40～49歳	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4
50～59歳	1	5	2	0	1	0	0	1	0	0	0	10
60～69歳	0	12	1	0	0	3	0	2	1	0	1	20
70～79歳	1	23	10	0	2	9	4	6	3	0	3	61
80～89歳	4	19	11	7	9	28	8	12	10	2	5	115
90～99歳	0	10	6	2	3	5	1	8	4	0	1	40
100歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	7	80	35	12	18	47	13	31	21	2	10	276

出典：土佐町

※登録者数（令和5年9月22日現在）

※地区別人口：住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

表 4.3-6 年代・居住地区別の実利用者数

(単位：人)

年代	実利用者数											
	瀬戸	石原	地藏寺	平石	相川	森	和田	松ヶ丘	田井	旧吉野村	南川	合計
0～9歳	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	5
10～19歳	0	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	8
20～29歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
30～39歳	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
50～59歳	0	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	6
60～69歳	0	4	0	0	0	0	0	2	1	0	0	7
70～79歳	0	6	8	0	2	6	4	0	0	0	1	27
80～89歳	0	13	8	0	8	18	4	5	5	0	3	64
90～99歳	0	3	2	1	3	3	0	4	0	0	0	16
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	37	23	3	15	27	9	14	7	0	4	139

出典：土佐町

※実利用者数は令和3年10月1日から令和5年9月29日の期間で1回以上利用者された方の人数

※地区別人口：住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

2) 利用者の状況

① 月別利用者数の推移

月別利用者数は増加傾向にあり、令和5年9月では309人（1日あたり15.5人/日）が利用しており、地域の足として定着しつつあります。

表 4.3-7 月別利用者数の推移

年	令和3年			令和4年												令和5年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月別利用者数(人)	11	13	16	24	13	21	14	18	29	89	142	153	164	153	183	133	204	211	244	247	295	306	316	309
運行予定日数(日)	21	20	20	19	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	20	20	22	20	22	20
実働日数(日)	8	8	6	12	7	10	9	8	11	20	22	20	20	20	20	19	19	22	20	20	22	20	21	20
1日平均(人/日)	1.4	1.6	2.7	2.0	1.9	2.1	1.6	2.3	2.6	4.5	6.5	7.7	7.7	9.2	7.0	10.7	9.6	12.2	12.4	13.4	15.3	15.0	15.5	

出典：土佐町

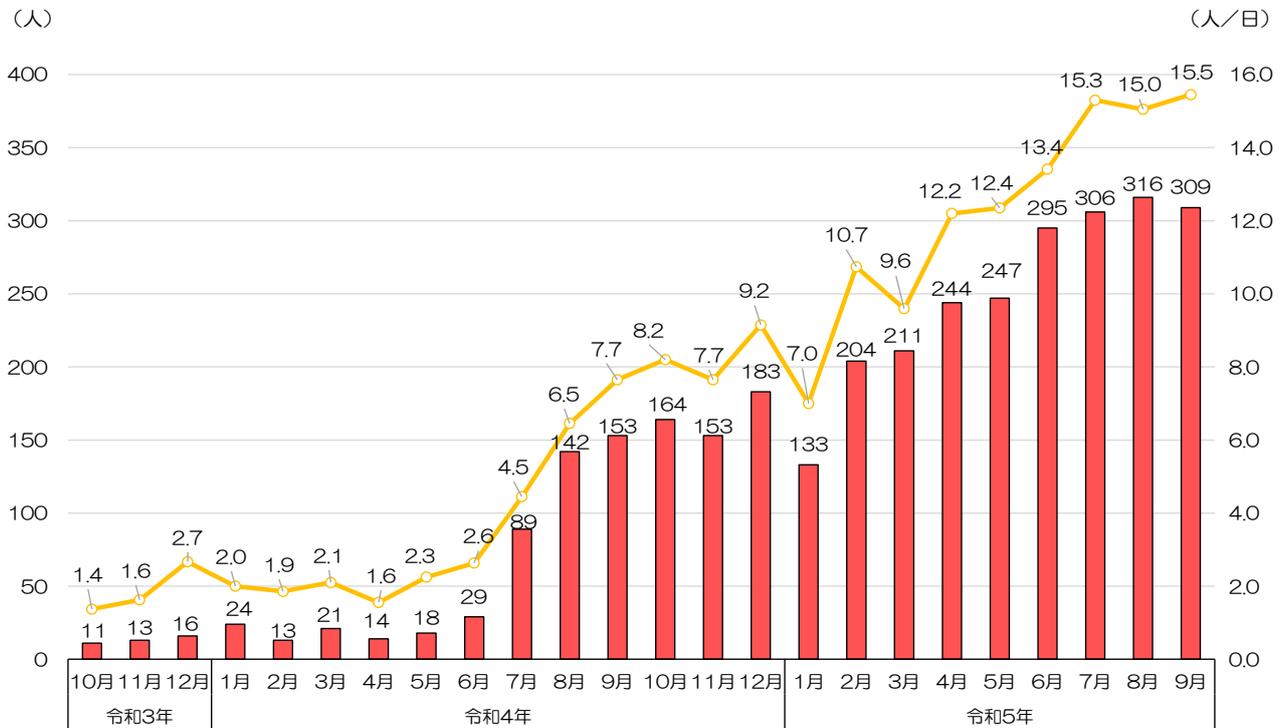


図 4.3-4 月別利用者数の推移

出典：土佐町

◇運行状況について

- ①令和3年10月～令和3年12月：石原地区内で運行
- ②令和4年1月～令和4年6月：石原地区の住民対象に石原地区内及び田井方面にも運行
- ③令和4年7月～令和5年3月：旧石原・平石・地藏寺・和田・相川・森小学校区及び松ヶ丘地区の住民対象に同地区内及び田井方面に運行
- ④令和5年4月～令和6年3月：③の地区に大淵・古味・南川・下瀬戸・黒丸地域を追加

② 号・月別利用者数の推移

号・月別の利用者数をみると、いしはら号の利用者数が多い傾向にあります。

表 4.3-8 号・月別利用者数の推移

年		令和3年			令和4年												令和5年								
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月別利用者数 (人)	いしはら	11	13	16	24	13	21	14	18	26	61	73	72	58	58	83	55	100	106	108	103	141	116	119	134
	まつがおか・たい									2	13	45	45	52	32	34	34	42	39	59	64	72	73	73	58
	もり・わだ									1	15	24	36	54	63	66	44	62	66	77	80	81	117	124	117
	合計	11	13	16	24	13	21	14	18	29	89	142	153	164	153	183	133	204	211	244	247	294	306	316	309

出典：土佐町

※令和5年6月の1人の号名が不明

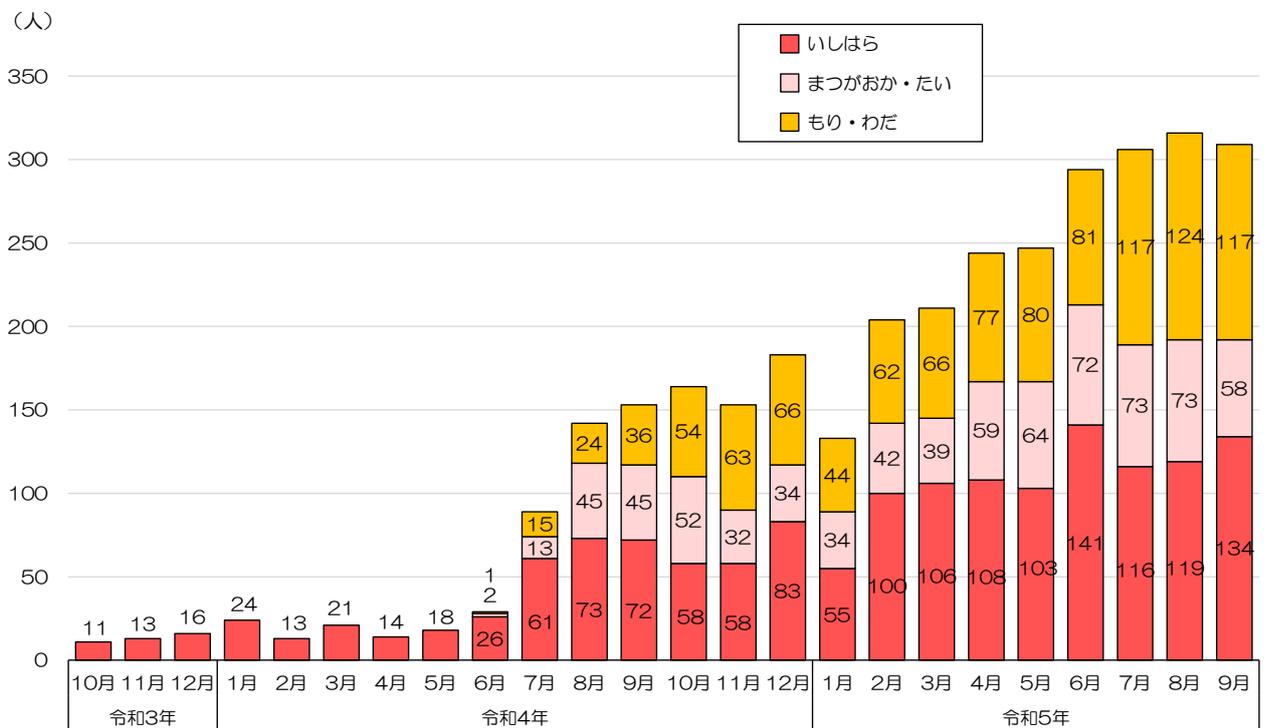


図 4.3-5 号・月別利用者数の推移

出典：土佐町

※令和5年6月の1人の号名が不明

③ 号・月別走行距離の推移

号・月別走行距離をみると、利用者数は増加するのに比例して、走行距離も増加しています。

表 4.3-9 号・月別走行距離の推移

年		令和3年			令和4年												令和5年								
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月別利用者数 (人)	いしはら	11	13	16	24	13	21	14	18	26	61	73	72	58	58	83	55	100	106	108	103	141	116	119	134
	まつがおか・たい									2	13	45	45	52	32	34	34	42	39	59	64	72	73	73	58
	もり・わだ									1	15	24	36	54	63	66	44	62	66	77	80	81	117	124	117
乗車日数 (日)	いしはら	8	8	6	12	7	10	9	8	11	20	22	20	20	20	20	18	19	22	19	19	22	20	21	20
	まつがおか・たい									1	8	22	18	19	19	17	17	19	21	20	19	22	19	21	20
	もり・わだ									1	6	12	13	16	17	17	13	17	18	17	17	17	17	20	19
月別走行距離 (km)	いしはら	16.1	34.0	32.4	126.2	97.6	153.4	99.0	171.5	278.2	703.3	861.3	841.0	699.8	617.1	824.3	602.3	878.8	951.9	1,033.5	958.0	1,288.4	989.2	1,142.1	1,275.6
	まつがおか・たい									11.4	51.8	234.4	256.0	408.6	326.8	272.5	350.9	396.1	392.2	492.5	527.1	667.8	478.9	603.4	426.4
	もり・わだ									5.8	100.2	143.3	165.0	238.8	292.3	289.4	200.2	240.5	298.8	405.8	388.9	407.8	670.0	630.8	538.2
月別1日の平均走行距離 (km)	いしはら	2.0	4.2	5.4	10.5	13.9	15.3	11.0	21.4	25.3	35.2	39.1	42.1	35.0	30.9	41.2	33.5	46.3	43.3	54.4	50.4	58.6	49.5	54.4	63.8
	まつがおか・たい									11.4	6.5	10.7	14.2	21.5	17.2	16.0	20.6	20.8	18.7	24.6	27.7	30.4	25.2	28.7	21.3
	もり・わだ									5.8	16.7	11.9	12.7	14.9	17.2	17.0	15.4	14.1	16.6	23.9	22.9	24.0	33.5	30.0	28.3

出典：土佐町

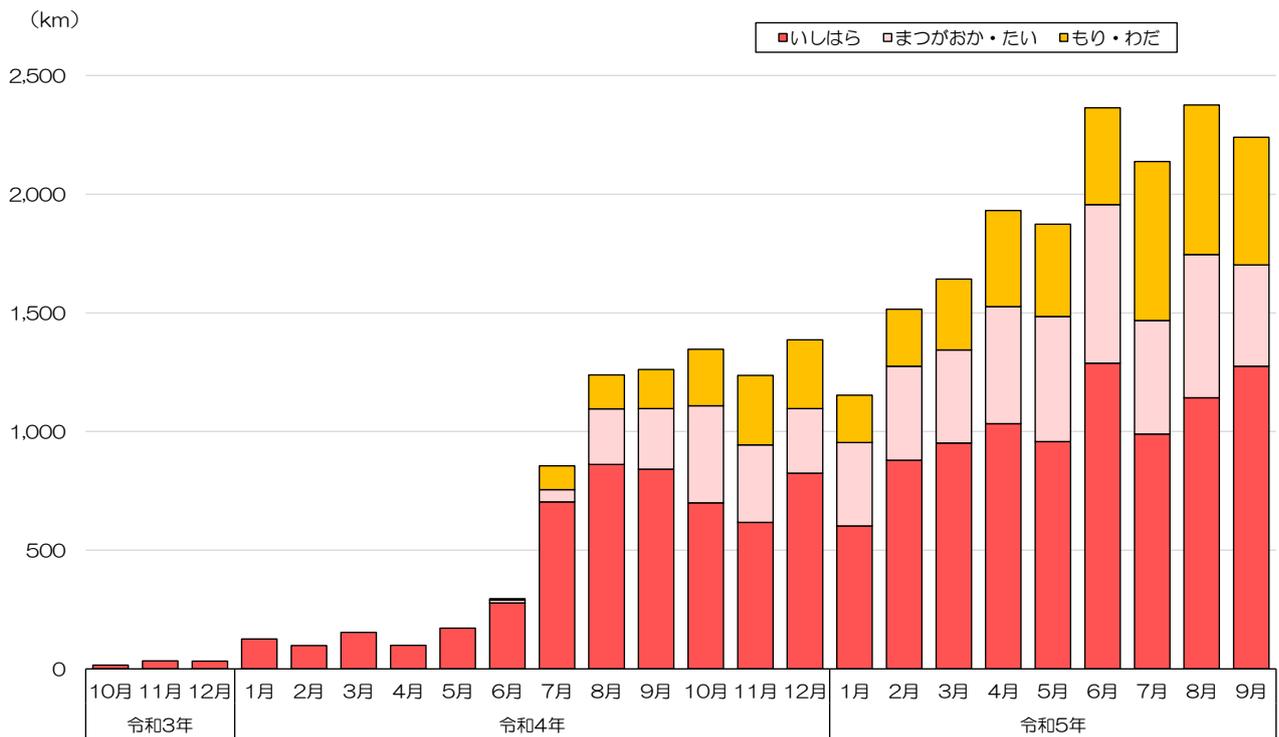


図 4.3-6 号・月別走行距離の推移

出典：土佐町

④ 号・月別実働日数の推移

月別の実働日数をみると、増加傾向にあり、令和5年9月においては、運行予定日数に対して実働が無かったのは、もり・わだ号の1日のみとなっています。

表 4.3-10 号・月別実働日数の推移

年		令和3年			令和4年												令和5年								
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月別利用者数(人)	いしはら	11	13	16	24	13	21	14	18	26	61	73	72	58	58	83	55	100	106	108	103	141	116	119	134
	まつがおか・たい	/	/	/	/	/	/	/	/	2	13	45	45	52	32	34	34	42	39	59	64	72	73	73	58
	もり・わだ	/	/	/	/	/	/	/	/	1	15	24	36	54	63	66	44	62	66	77	80	81	117	124	117
運行予定日数(日)		21	20	20	19	18	22	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	20	20	22	20	22	20
実働日数(日)	いしはら	8	8	6	12	7	10	9	8	11	20	22	20	20	20	20	18	19	22	19	19	22	20	21	20
	まつがおか・たい	/	/	/	/	/	/	/	/	1	8	22	18	19	19	17	17	19	21	20	19	22	19	21	20
	もり・わだ	/	/	/	/	/	/	/	/	1	6	12	13	16	17	17	13	17	18	17	17	17	20	21	19
1日平均(人/日)	いしはら	1.4	1.6	2.7	2.0	1.9	2.1	1.6	2.3	2.4	3.1	3.3	3.6	2.9	2.9	4.2	3.1	5.3	4.8	5.7	5.4	6.4	5.8	5.7	6.7
	まつがおか・たい	/	/	/	/	/	/	/	/	2.0	1.6	2.0	2.5	2.7	1.7	2.0	2.0	2.2	1.9	3.0	3.4	3.3	3.8	3.5	2.9
	もり・わだ	/	/	/	/	/	/	/	/	1.0	2.5	2.0	2.8	3.4	3.7	3.9	3.4	3.6	3.7	4.5	4.7	4.8	5.9	5.9	6.2

出典：土佐町

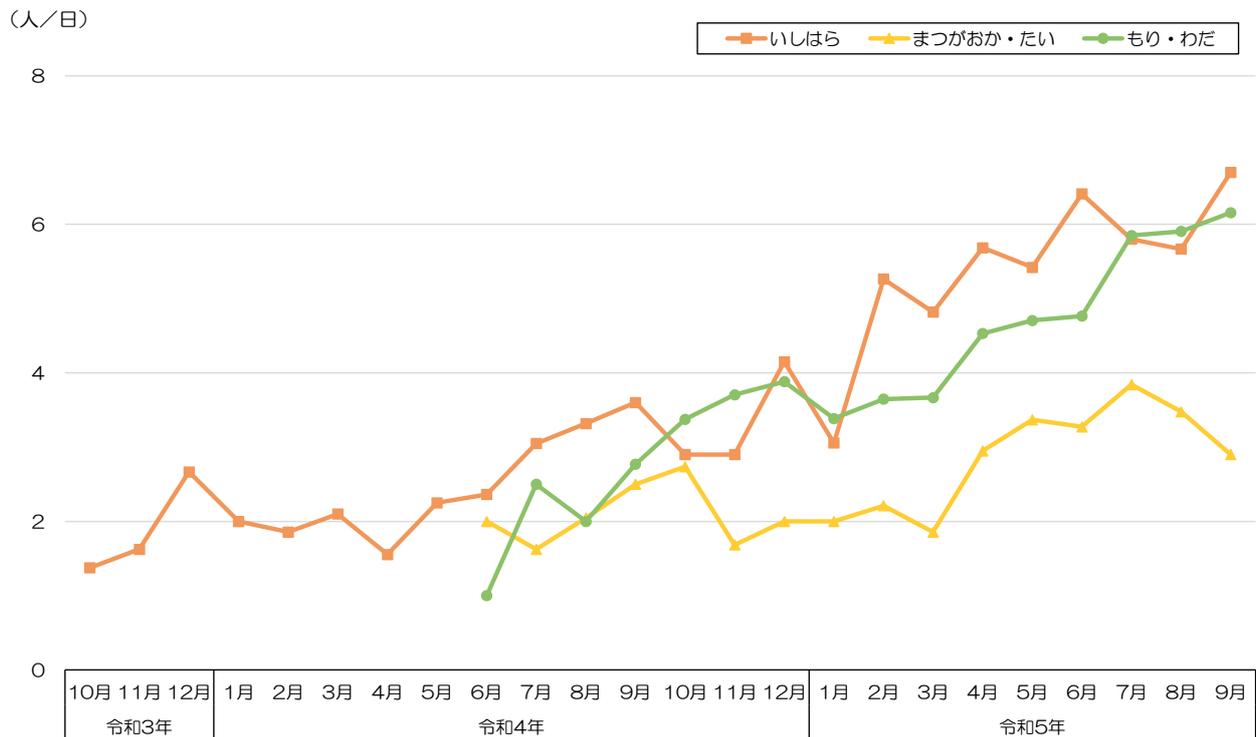


図 4.3-7 号・月別実働日数の推移

出典：土佐町

⑤ 性別

性別にみると、女性の利用者が男性よりも多くなっています。

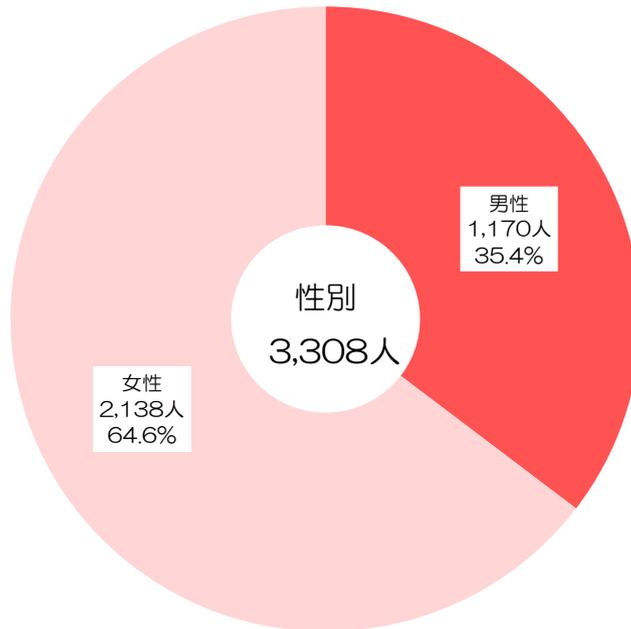


図 4.3-8 性別

出典：土佐町
※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑥ 曜日別

曜日別にみると、最も利用者が多いのは木曜日となり、879人(26.6%)となっています。

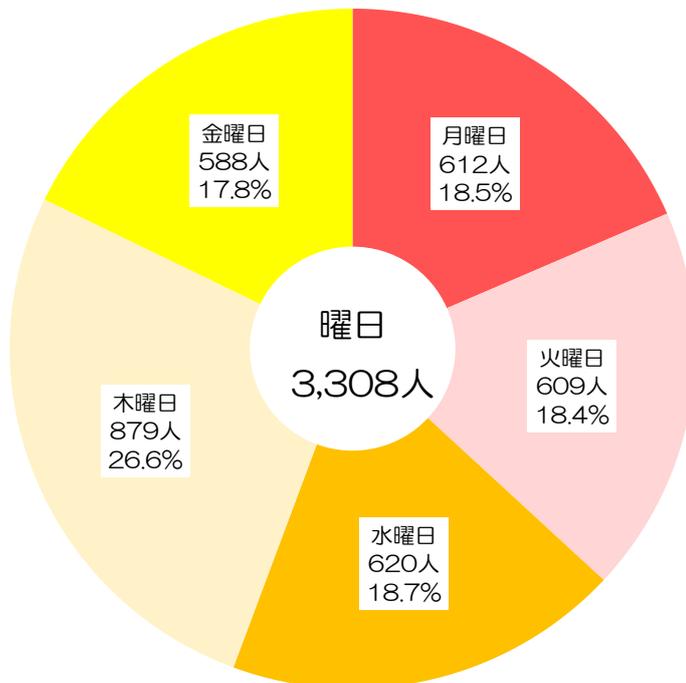


図 4.3-9 曜日別

出典：土佐町
※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑦ 年代別

年代別にみると、最も利用者が多いのは80～89歳となり、2,146人（64.9%）となっています。

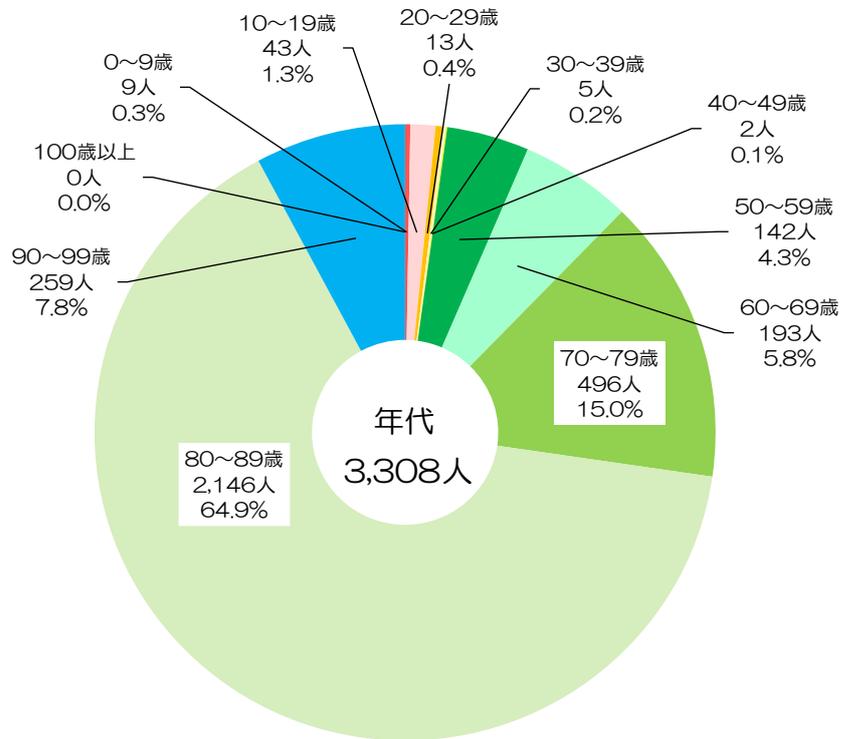


図 4.3-10 年代別

出典：土佐町
※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑧ 地区間の移動別

地区間の移動別をみると、最も多いのは「森→田井」で 297 人となり、次いで「石原→田井」が 281 人、「田井→石原」が 274 人となっています。

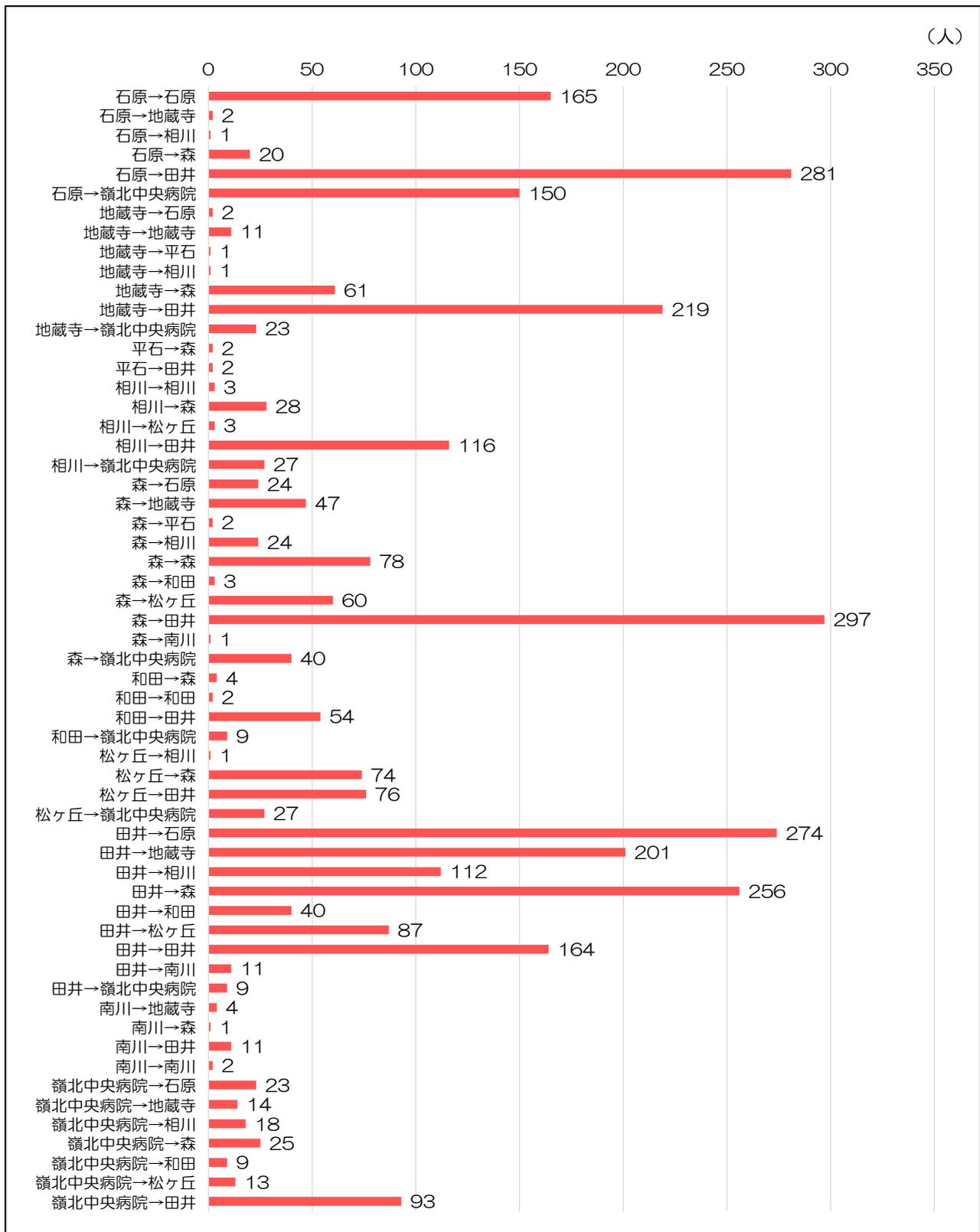


図 4.3-11 地区間の移動別

出典：土佐町
※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑨ 目的地別（乗車場所・降車場所）

目的地別（乗車場所）でみると、最も多いのは住宅地で983人（29.7%）となり、次いで買い物が863人（26.1%）、医療機関が457人（13.8%）となっています。

また、目的地別（降車場所）でみると、最も多いのは住宅地で846人（25.6%）となり、次いで医療機関が680人（20.6%）、買い物が644人（19.5%）となっています。

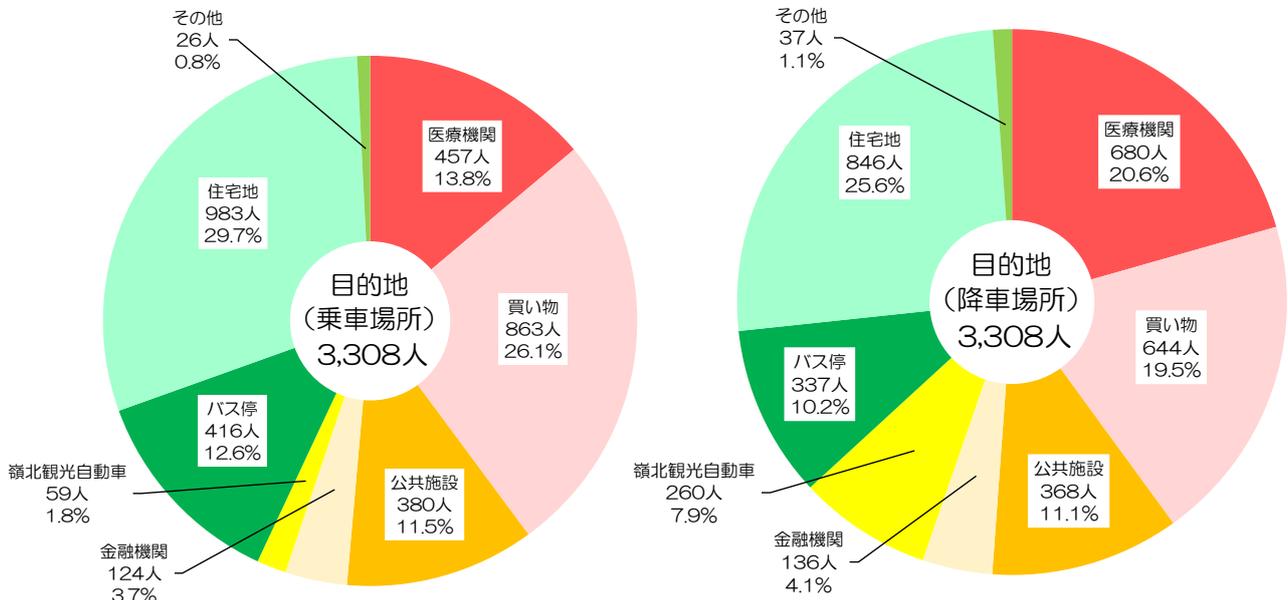


図 4.3-12 目的地別（乗車場所・降車場所）

出典：土佐町
 ※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑩ 時間帯別

時間帯別でみると、最も多いのは13時台で571人（17.3%）となり、次いで10時台が546人（16.5%）、11時台が537人（16.2%）となっています。

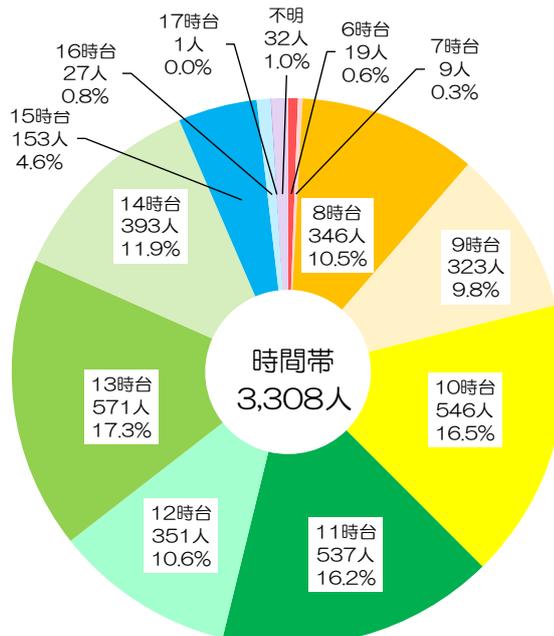


図 4.3-13 時間帯別

出典：土佐町
 ※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計
 ※乗車場所を出発した時間帯で算定

⑪ 曜日・時間帯別

曜日・時間帯別でみると、最も多いのは木曜日の13時台で192人となっています。

表 4.3-12 曜日・時間帯別

(単位：人)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	合計
6時台	3	11	2	1	2	19
7時台	2	2	2	1	2	9
8時台	68	68	65	70	75	346
9時台	49	73	41	97	63	323
10時台	115	107	89	126	109	546
11時台	123	103	98	141	72	537
12時台	65	53	79	77	77	351
13時台	108	73	115	192	83	571
14時台	51	74	72	137	59	393
15時台	20	33	44	20	36	153
16時台	3	9	5	7	3	27
17時台	0	0	0	1	0	1
不明	5	3	8	9	7	32
合計	612	609	620	879	588	3,308

出典：土佐町

※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑫ 居住地区別

居住地区別でみると、最も多いのは石原地区で1,025人(31.0%)となり、次いで地藏寺地区が644人(19.5%)、森地区が629人(19.0%)となっています。

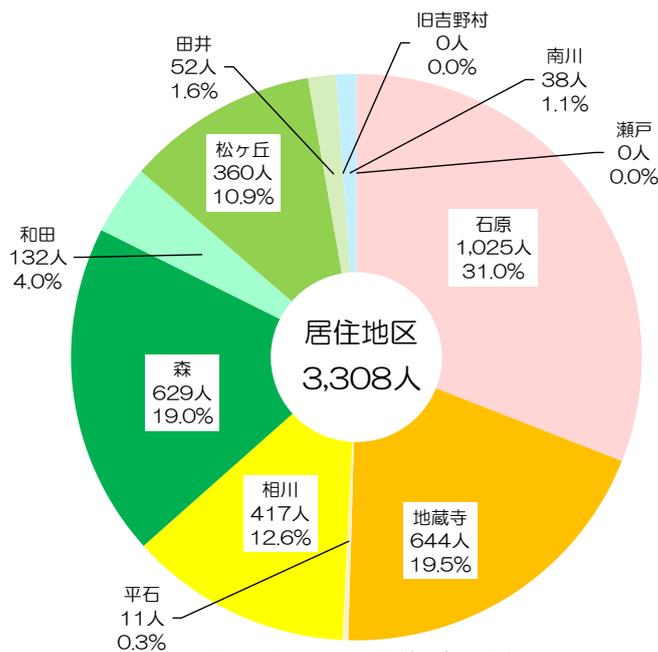


図 4.3-14 居住地区別

出典：土佐町

※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑬ 目的地・居住地区別（乗車場所・降車場所）

目的地・居住地区別（乗車場所）をみると、最も多いのは石原地区のバス停で 318 人となっています。

また、目的地・居住地区別（降車場所）をみると、最も多いのは森地区の住宅地で 245 人となっています。

表 4.3-13 目的地・居住地区別（乗車場所）

（単位：人）

	医療機関	買い物	公共施設	金融機関	嶺北観光自動車	バス停	住宅地	その他	合計
瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石原	139	300	81	21	6	318	159	1	1,025
地藏寺	42	186	166	34	9	37	170	0	644
平石	0	2	6	0	0	0	3	0	11
相川	61	139	11	14	0	11	180	1	417
森	100	164	34	3	5	47	276	0	629
和田	40	20	2	0	0	0	69	1	132
松ヶ丘	61	33	73	46	19	1	107	20	360
田井	13	5	7	4	20	2	1	0	52
旧吉野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南川	1	14	0	2	0	0	18	3	38
合計	457	863	380	124	59	416	983	26	3,308

表 4.3-14 目的地・居住地区別（降車場所）

（単位：人）

	医療機関	買い物	公共施設	金融機関	嶺北観光自動車	バス停	住宅地	その他	合計
瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石原	210	120	61	27	218	241	148	0	1,025
地藏寺	77	179	177	40	6	37	128	0	644
平石	7	2	0	0	0	0	2	0	11
相川	97	113	24	9	1	11	159	3	417
森	135	164	22	2	15	46	245	0	629
和田	60	12	7	0	0	0	52	1	132
松ヶ丘	72	39	67	52	4	1	97	28	360
田井	20	4	6	5	16	0	1	0	52
旧吉野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南川	2	11	4	1	0	1	14	5	38
合計	680	644	368	136	260	337	846	37	3,308

出典：土佐町

※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

⑭ 所要時間別

所要時間別にみると、65.5%の人が15分以内で利用しています。

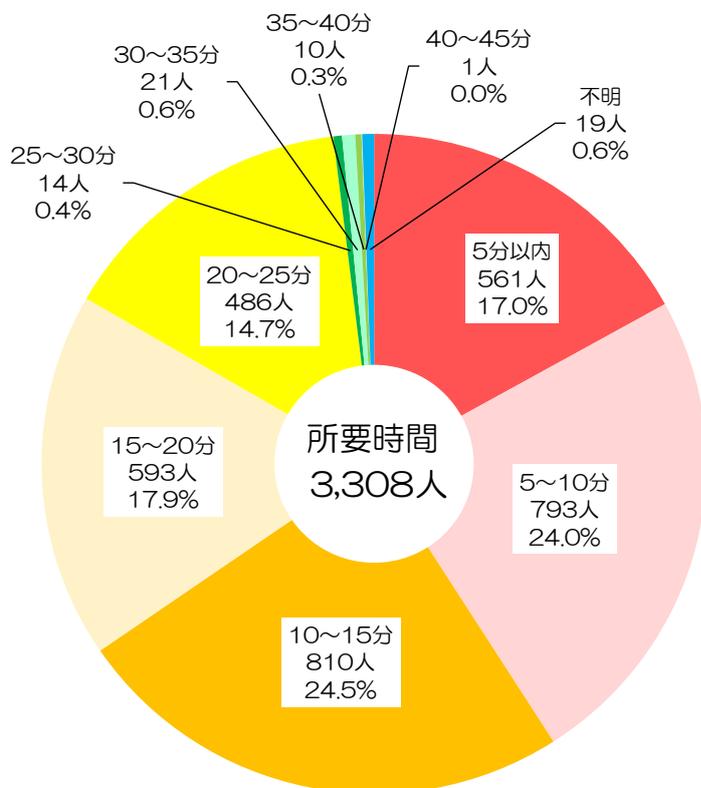


図 4.3-15 所要時間別

出典：土佐町

※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

※所要時間とは、乗車場所の出発から降車場所の到着までにかかった時間

⑮ 希望どおりの予約（出発時間・到着時間）

希望どおりの予約（出発時間）をみると、2,720人（89.4%）が希望どおりの時間に予約することができます。

また、希望どおりの予約（到着時間）をみると、232人（87.5%）が希望どおりの時間に予約することができます。

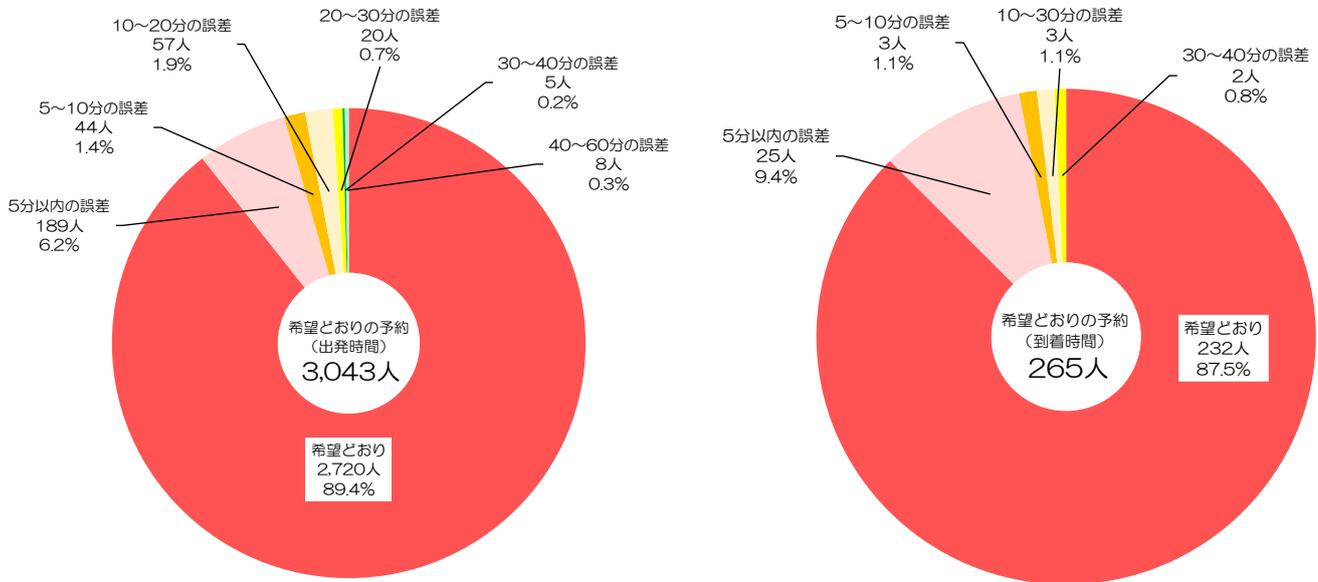


図 4.3-16 希望どおりの予約（出発時間・到着時間）

出典：土佐町

※令和3年11月～令和5年9月の利用者数の合計

※チョイソコとさちょうの場合、出発時間または到着時間のいずれかで利用したい時間帯を希望することができる

⑯ 利用の多い乗降場所（全体）

利用の多い乗降場所をみると、最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車 585 人：降車 415 人）となっています。

表 4.3-15 利用の多い乗降場所（全体）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	585	1位	末広ショッピングセンター	415
2位	寺山バス停	308	2位	嶺北中央病院	285
3位	嶺北中央病院	195	3位	早明浦病院	276
4位	早明浦病院	166	4位	（有）嶺北観光自動車	260
5位	AAさん宅前	123	5位	寺山バス停	231
6位	中地集会所結いの里（中地藏寺集会所）	119	6位	中地集会所結いの里（中地藏寺集会所）	119
7位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	88	7位	AAさん宅前	111
8位	土佐町役場	79	8位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	92
9位	田井医院	74	9位	土佐町役場	89
10位	伊勢川集会所	69	10位	田井医院	88
11位	マル二田井店	63	11位	伊勢川集会所	62
12位	ABさん宅前	61	12位	ABさん宅前	59
13位	ACさん宅前	60	13位	役場通りバス停（森郵便局前）	58
14位	（有）嶺北観光自動車	59	14位	セイムス田井店	53
15位	役場通りバス停（森郵便局前）	57	15位	マル二田井店	51
16位	セイムス田井店	54	16位	ACさん宅前	46
17位	ADさん宅前	48	17位	ADさん宅前	45
18位	AEさん宅前	42	18位	AEさん宅前	40
19位	AFさん宅前	39	19位	AGさん宅前	36
20位	AGさん宅前	38	20位	AHさん宅前	32

出典：土佐町

※期間：令和3年11月～令和5年9月

※個人宅は灰色で色付け

※利用の多い上位20箇所

⑰ 利用の多い乗降場所（居住地区別）

石原地区で最も多いのは乗車・降車ともに寺山バス停（乗車 308 人、降車 231 人）となっています。

地藏寺地区で最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車 147 人、降車 140 人）となっています。

平石地区で最も多いのは土佐町小中学校（乗車 6 人）、嶺北中央病院（降車 6 人）となっています。

相川地区で最も多いのは末広ショッピングセンター（乗車 63 人）、早明浦病院（降車 51 人）となっています。

森地区で最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車 141 人、降車 140 人）となっています。

和田地区で最も多いのは乗車・降車ともに早明浦病院（乗車 27 人、降車 43 人）となっています。

松ヶ丘地区で最も多いのは乗車・降車ともに伊勢川集会所（乗車 68 人、降車 61 人）となっています。

田井地区で最も多いのは乗車・降車ともに(有)嶺北観光自動車（乗車 20 人、降車 16 人）となっています。

南川地区で最も多いのは乗車・降車ともにマル二田井店（乗車 6 人、降車 6 人）となっています。

※最も多い場所は、個人宅を除いたものを記載している
 ※表の個人宅は灰色で色付け
 ※上位 10 箇所を記載（ただし、利用者が 1 人の場合は、記載していない）

表 4.3-16 利用の多い乗降場所（石原）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	寺山バス停	308	1位	寺山バス停	231
2位	末広ショッピングセンター	203	2位	(有) 嶺北観光自動車	218
3位	嶺北中央病院	91	3位	嶺北中央病院	150
4位	ACさん宅前	60	4位	末広ショッピングセンター	73
5位	BMさん宅前	37	5位	ACさん宅前	46
6位	A Iさん宅前	34	6位	早明浦病院	43
7位	さとのみせ前	32	7位	A Iさん宅前	31
8位	早明浦病院	31	8位	さとのみせ前	22
9位	マル二田井店	26	9位	石原コミュニティセンター	20
10位	旧石原小学校前	25	10位	BMさん宅前	18
			10位	JAれいほく支所 (JA SS 森給油所)	18

出典：土佐町

※期間：令和3年11月～令和5年9月

表 4.3-17 利用の多い乗降場所（地藏寺）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	147	1位	末広ショッピングセンター	140
2位	中地集会所結いの里（中地藏寺集会所）	118	2位	中地集会所結いの里（中地藏寺集会所）	118
3位	A Bさん宅前	61	3位	A Bさん宅前	59
4位	土佐町役場	41	4位	土佐町役場	47
5位	A Fさん宅前	39	5位	嶺北中央病院	32
6位	A Jさん宅前	29	6位	A Fさん宅前	22
7位	嶺北中央病院	21	6位	A Jさん宅前	22
8位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	20	6位	早明浦病院	22
9位	マルニ田井店	15	9位	西川歯科	22
10位	西川歯科	13	10位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	20
10位	田井郵便局	13			

表 4.3-18 利用の多い乗降場所（平石）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	土佐町小中学校	6	1位	嶺北中央病院	6
2位	A Kさん宅前	3	2位	A Kさん宅前	2
3位	末広 森店	2	2位	末広 森店	2

表 4.3-19 利用の多い乗降場所（相川）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	63	1位	早明浦病院	51
2位	A Dさん宅前	48	2位	A Dさん宅前	45
3位	A Gさん宅前	38	3位	末広ショッピングセンター	41
4位	A Hさん宅前	32	4位	A Gさん宅前	36
5位	セイムス田井店	28	5位	A Hさん宅前	32
6位	早明浦病院	24	6位	セイムス田井店	28
7位	嶺北中央病院	23	7位	嶺北中央病院	27
8位	A Lさん宅前	19	8位	A Lさん宅前	25
9位	A Mさん宅前	17	9位	田井医院	19
10位	ローソン田井店	14	10位	ローソン田井店	14

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

表 4.3-20 利用の多い乗降場所（森）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	141	1位	末広ショッピングセンター	140
2位	AAさん宅前	123	2位	AAさん宅前	111
3位	早明浦病院	55	3位	早明浦病院	80
4位	役場通りバス停（森郵便局前）	46	4位	役場通りバス停（森郵便局前）	46
5位	AEさん宅前	41	5位	AEさん宅前	40
6位	ANさん宅前	25	6位	嶺北中央病院	30
7位	嶺北中央病院	23	7位	田井医院	23
8位	中央集会所	21	8位	ANさん宅前	18
9位	田井医院	20	9位	（有）嶺北観光自動車	15
10位	土佐町役場	12	10位	中央集会所	13

表 4.3-21 利用の多い乗降場所（和田）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	AOさん宅前	34	1位	早明浦病院	43
2位	早明浦病院	27	2位	AOさん宅前	30
3位	APさん宅前	16	3位	APさん宅前	9
4位	末広ショッピングセンター	12	3位	嶺北中央病院	9
5位	嶺北中央病院	10	5位	セイムス田井店	8
6位	セイムス田井店	8	6位	ARさん宅前	6
7位	AQさん宅前	5	7位	土佐町役場	5
7位	ARさん宅前	5	7位	田井医院	5
9位	ASさん宅前	3	9位	末広ショッピングセンター	4
9位	ATさん宅前	3	10位	西川歯科	3

表 4.3-22 利用の多い乗降場所（松ヶ丘）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	伊勢川集会所	68	1位	伊勢川集会所	61
2位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	39	2位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	45
3位	嶺北中央病院	24	3位	嶺北中央病院	27
4位	田井医院	22	4位	JA葬祭ルミエールタ月	24
5位	JA葬祭ルミエールタ月	20	5位	田井医院	21
6位	AUさん宅前	19	5位	早明浦病院	21
6位	（有）嶺北観光自動車	19	7位	AUさん宅前	16
8位	AVさん宅前	14	8位	マル二田井店	14
9位	早明浦病院	13	9位	AVさん宅前	13
10位	AWさん宅前	12	10位	AWさん宅前	12
10位	AXさん宅前	12			
10位	末広ショッピングセンター	12			

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

表 4.3-23 利用の多い乗降場所（田井）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	(有) 嶺北観光自動車	20	1位	(有) 嶺北観光自動車	16
2位	早明浦病院	9	2位	早明浦病院	15
3位	土佐町役場	4	3位	JAれいほく支所 (JA SS 森給油所)	4
3位	JAれいほく支所 (JA SS 森給油所)	4	3位	嶺北中央病院	4
5位	末広ショッピングセンター	3	5位	土佐町役場	3
5位	嶺北中央病院	3	6位	末広ショッピングセンター	2
7位	田井局前バス停	2			

表 4.3-24 利用の多い乗降場所（南川）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	A Zさん宅前	11	1位	A Zさん宅前	9
2位	マルニ田井店	6	2位	マルニ田井店	6
3位	B Aさん宅前	5	3位	B Aさん宅前	5
4位	末広ショッピングセンター	4	4位	地藏寺集落活動センター (役場地蔵寺支所)	4
5位	サンシャイン田井店	3	4位	末広ショッピングセンター	4
6位	高知銀行	2	4位	ハヤージュップ・ニューライト	4
6位	ハヤージュップ・ニューライト	2	7位	田井医院	2

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

⑱ 利用の多い乗降場所（年代別）

0～19歳で最も多いのは土佐町小中学校（乗車10人）、嶺北中央病院（降車8人）となっています。

20～49歳で最も多いのは石原コミュニティーセンター・末広ショッピングセンター・嶺北中央病院（乗車2人）、(有)嶺北観光自動車（降車6人）となっています。

50～59歳で最も多いのはセイムス田井店（乗車19人）、嶺北中央病院（降車20人）となっています。

60～69歳で最も多いのは乗車・降車ともに伊勢川集会所（乗車68人、降車61人）となっています。

70～79歳で最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車126人、降車107人）となっています。

80～89歳で最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車408人、降車261人）となっています。

90～99歳で最も多いのは乗車・降車ともに末広ショッピングセンター（乗車38人、降車33人）となっています。

※最も多い場所は、個人宅を除いたものを記載している
 ※表の個人宅は灰色で色付け
 ※上位10箇所を記載（ただし、利用者が1人の場合は、記載していない）

表 4.3-25 利用の多い乗降場所（0～19歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	土佐町小中学校	10	1位	BDさん宅前	13
2位	地藏寺下バス停・下地藏寺集会所（泉商事）	7	2位	嶺北中央病院	8
2位	ALさん宅前	7	3位	土佐町小中学校	6
4位	嶺北中央病院	6	4位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	5
5位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	4	5位	地藏寺下バス停・下地藏寺集会所（泉商事）	4
6位	BDさん宅前	3	6位	ALさん宅前	3
6位	末広ショッピングセンター	3	6位	松ヶ丘コミュニティーセンター	3
8位	石原コミュニティーセンター	2	6位	末広ショッピングセンター	3
8位	中地集会所結いの里（中地藏寺集会所）	2	6位	湖の駅さめうらレイクタウン・さめうら荘	3
8位	(有)嶺北観光自動車	2	10位	早明浦病院	2

表 4.3-26 利用の多い乗降場所（20～49歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	BEさん宅前	7	1位	(有)嶺北観光自動車	6
2位	石原コミュニティーセンター	2	2位	BDさん宅前	2
2位	BFさん宅前	2	2位	BEさん宅前	2
2位	末広ショッピングセンター	2	2位	BFさん宅前	2
2位	嶺北中央病院	2	2位	末広ショッピングセンター	2
			2位	嶺北中央病院	2

出典：土佐町

※期間：令和3年11月～令和5年9月

表 4.3-27 利用の多い乗降場所（50～59 歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	AGさん宅前	38	1位	AGさん宅前	36
2位	セイムス田井店	19	2位	嶺北中央病院	20
3位	嶺北中央病院	16	3位	セイムス田井店	19
4位	ローソン田井店	15	4位	ローソン田井店	15
5位	B Iさん宅前	8	5位	B Iさん宅前	7
6位	マル二田井店	7	5位	末広ショッピングセンター	7
7位	APさん宅前	6	5位	マル二田井店	7
7位	早明浦病院	6	8位	早明浦病院	6
7位	末広ショッピングセンター	6	9位	土佐町役場	5
10位	サンシャイン田井店	5	9位	高知銀行	5
			9位	サンシャイン田井店	5

表 4.3-28 利用の多い乗降場所（60～69 歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	伊勢川集会所	68	1位	伊勢川集会所	61
2位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	34	2位	JAれいほく支所（JA SS 森給油所）	40
3位	JA葬祭ルミエールタ月	20	3位	JA葬祭ルミエールタ月	24
4位	AUさん宅前	19	4位	AUさん宅前	16
5位	BMさん宅前	10	5位	嶺北中央病院	12
6位	（有）嶺北観光自動車	8	6位	早明浦病院	10
7位	嶺北中央病院	7	7位	（有）嶺北観光自動車	6
8位	BEさん宅前	5	8位	BMさん宅前	4
9位	高知銀行	4	8位	高知銀行	4
9位	早明浦病院	4	8位	ローソン田井店	4
9位	ローソン田井店	4			

表 4.3-29 利用の多い乗降場所（70～79 歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	126	1位	末広ショッピングセンター	107
2位	中地集会所結いの里（中地蔵寺集会所）	93	2位	中地集会所結いの里（中地蔵寺集会所）	96
3位	AOさん宅前	34	3位	早明浦病院	53
4位	AJさん宅前	29	4位	AOさん宅前	30
5位	早明浦病院	27	5位	AJさん宅前	22
6位	中央集会所	21	6位	（有）嶺北観光自動車	19
7位	（有）嶺北観光自動車	15	7位	西川歯科	17
7位	嶺北中央病院	15	8位	嶺北中央病院	16
9位	西川歯科	13	9位	中央集会所	13
9位	セイムス田井店	13	10位	セイムス田井店	12

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

表 4.3-30 利用の多い乗降場所（80～89 歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	408	1位	末広ショッピングセンター	261
2位	寺山バス停	308	2位	寺山バス停	231
3位	嶺北中央病院	138	3位	(有) 嶺北観光自動車	227
4位	AAさん宅前	123	4位	嶺北中央病院	202
5位	早明浦病院	115	5位	早明浦病院	180
6位	ABさん宅前	61	6位	AAさん宅前	111
6位	土佐町役場	61	7位	土佐町役場	70
8位	ACさん宅前	59	8位	ABさん宅前	59
9位	役場通りバス停（森郵便局前）	51	9位	田井医院	54
9位	マル二田井店	51	10位	役場通りバス停（森郵便局前）	51

表 4.3-31 利用の多い乗降場所（90～99 歳）

乗車場所			降車場所		
順位	施設名称	人	順位	施設名称	人
1位	末広ショッピングセンター	38	1位	末広ショッピングセンター	33
2位	AHさん宅前	32	2位	AHさん宅前	32
3位	田井医院	29	3位	田井医院	30
4位	BMさん宅前	26	4位	嶺北中央病院	25
5位	AVさん宅前	14	5位	早明浦病院	24
6位	AXさん宅前	12	6位	BMさん宅前	13
6位	早明浦病院	12	6位	AVさん宅前	13
8位	嶺北中央病院	11	8位	AXさん宅前	10
9位	BJさん宅前	8	9位	BKさん宅前	8
9位	BKさん宅前	8	10位	BJさん宅前	6
9位	土佐町役場	8	10位	役場通りバス停（森郵便局前）	6
			10位	土佐町役場	6

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

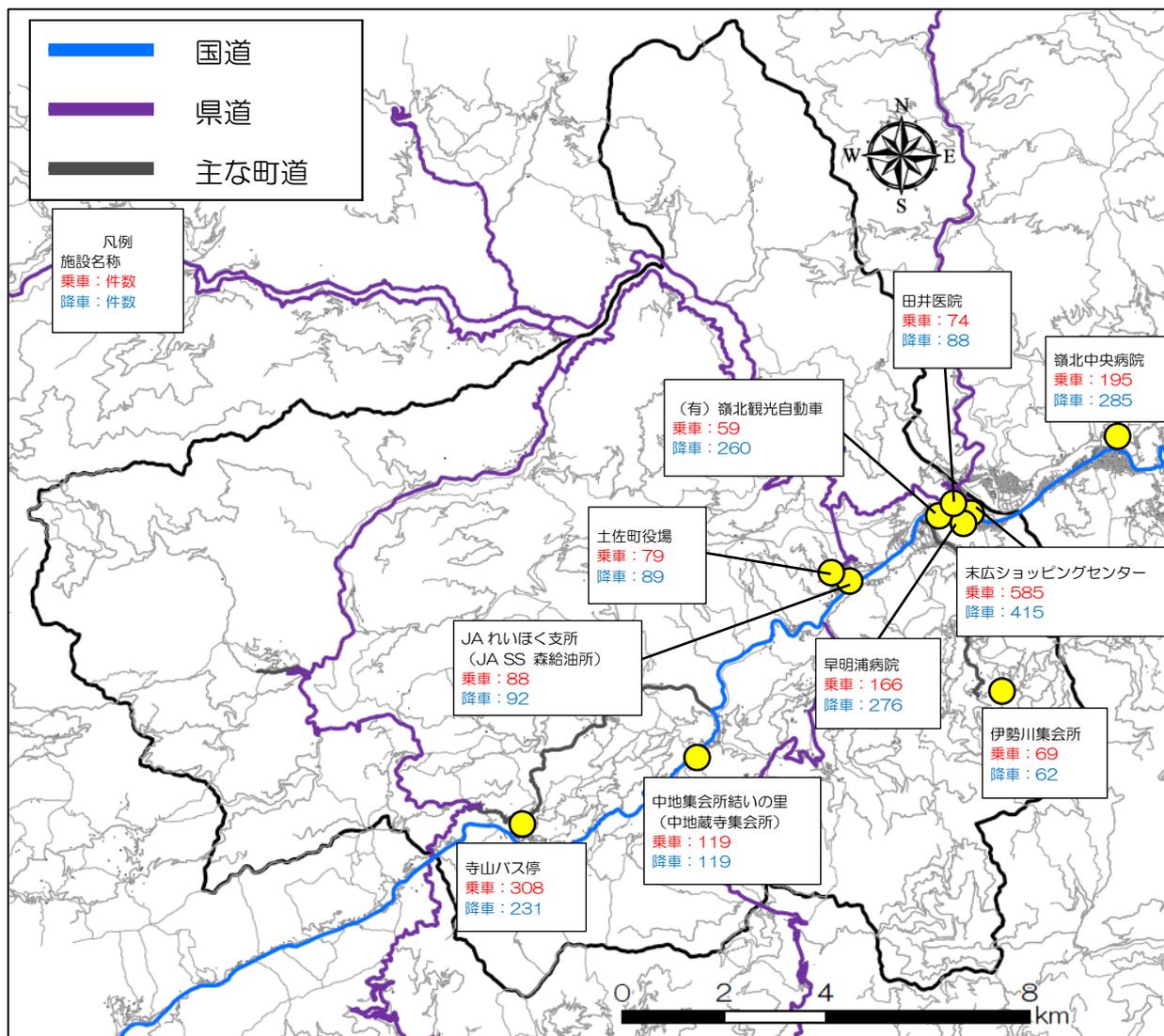


図 4.3-17 利用の多い乗降場所の上位 10 箇所（個人宅除く）

出典：土佐町
 ※期間：令和3年11月～令和5年9月

⑱ 利用回数

利用回数をみると、最も多いのは1～3回で52人（37.4%）となっています。また、最も利用回数が多い人で600回利用しています。

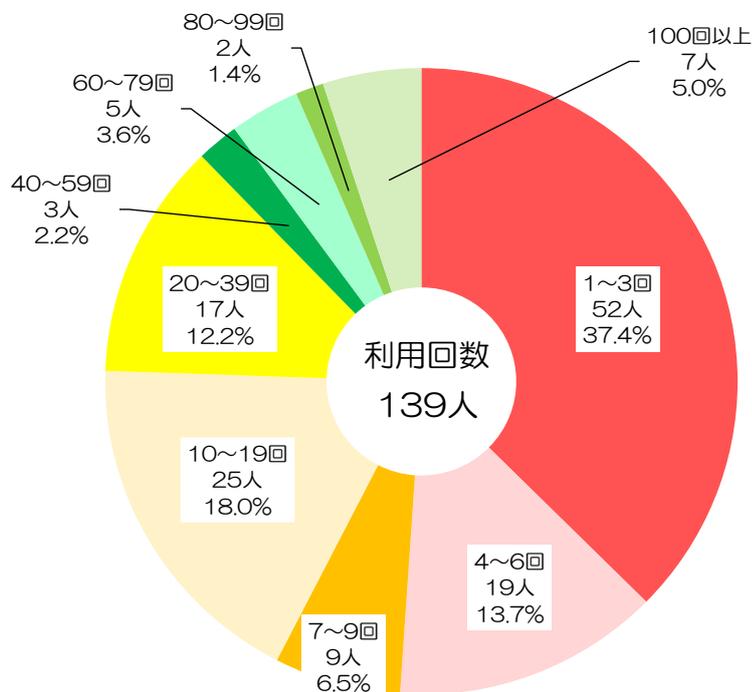


図 4.3-18 利用回数

出典：土佐町
※期間：令和3年11月～令和5年9月

⑳ 1日の利用者数

最も多い1日の利用者数は38人となっています。

また、1日の利用者が9人以下の日数は232日（60.4%）となっています。

表 4.3-32 1日の利用者数

最も多い1日の利用者数	38人
実働日数	384日
実働日数のうち、1日の利用者が20人以上の日数	18日
割合	4.7%
実働日数のうち、1日の利用者が10～19人の日数	134日
割合	34.9%
実働日数のうち、1日の利用者が9人以下の日数	232日
割合	60.4%

出典：土佐町
※期間：令和3年11月～令和5年9月

3) 運行経費の状況

事業費は年々増加傾向にあり、令和5年度では 18,326 千円となっています。

表 4.3-33 運行経費の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費【委託費】（千円）	2,950	12,694	18,326
運賃収入（千円）	0	0	0
収支率	0.0%	0.0%	0.0%
年間利用者数（人）	98	1,493	1,717
運行予定日数（日）	120	243	124
実働日数（日）	51	210	123
1人あたりの運行単価（千円）	30	9	11
1日あたりの運行単価（千円）	58	60	149

出典：土佐町

※令和3年度は、令和3年10月～令和4年3月

※令和4年度は、令和4年4月～令和5年3月

※令和5年度の事業費は、令和5年4月～令和6年3月までの値。それ以外は、令和5年4月～令和5年9月

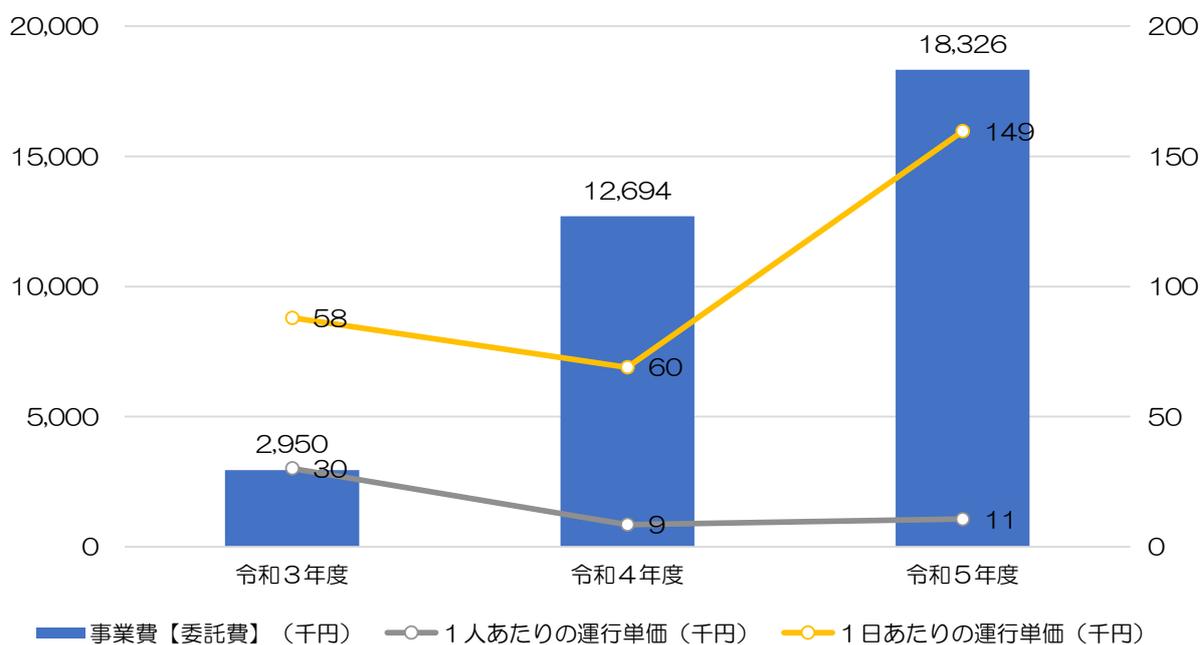


図 4.3-19 運行経費の状況

出典：土佐町

※令和3年度は、令和3年10月～令和4年3月

※令和4年度は、令和4年4月～令和5年3月

※令和5年度の事業費は、令和5年4月～令和6年3月までの値。それ以外は、令和5年4月～令和5年9月

4.4 タクシー

(1) 概要

本町を営業範囲としているタクシー事業者は2事業者（嶺北交通、川田ハイヤー）があります。

年間利用者数（嶺北交通（田井営業所のみ））をみると、令和元年度から令和4年度にかけて減少しています（△38.0%）。

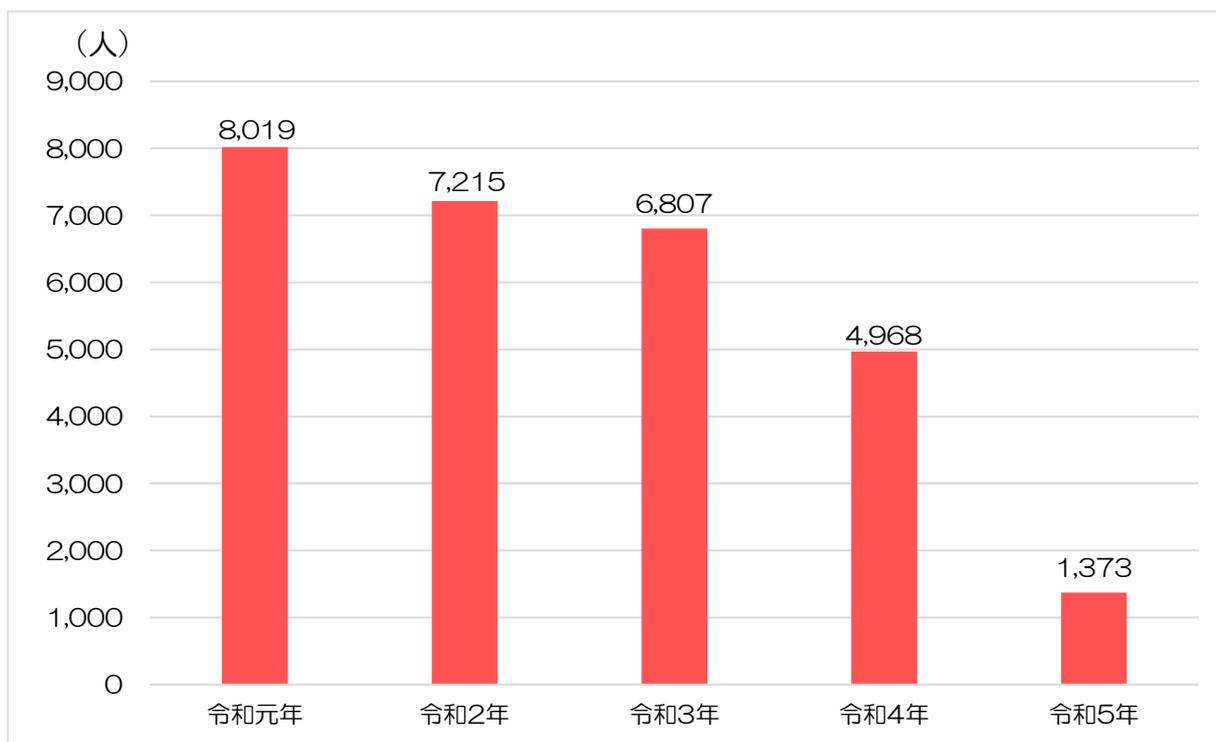


図 4.4-1 年間利用者数の推移（嶺北交通（田井営業所のみ））

出典：嶺北交通
※令和5年は1～5月の人数

表 4.4-1 タクシーの車両台数

事業者名	車両台数 (台)
嶺北交通（田井営業所のみ）	3
川田ハイヤー	2

出典：嶺北交通、川田ハイヤー（ヒアリング調査（令和5年6月27、28日））

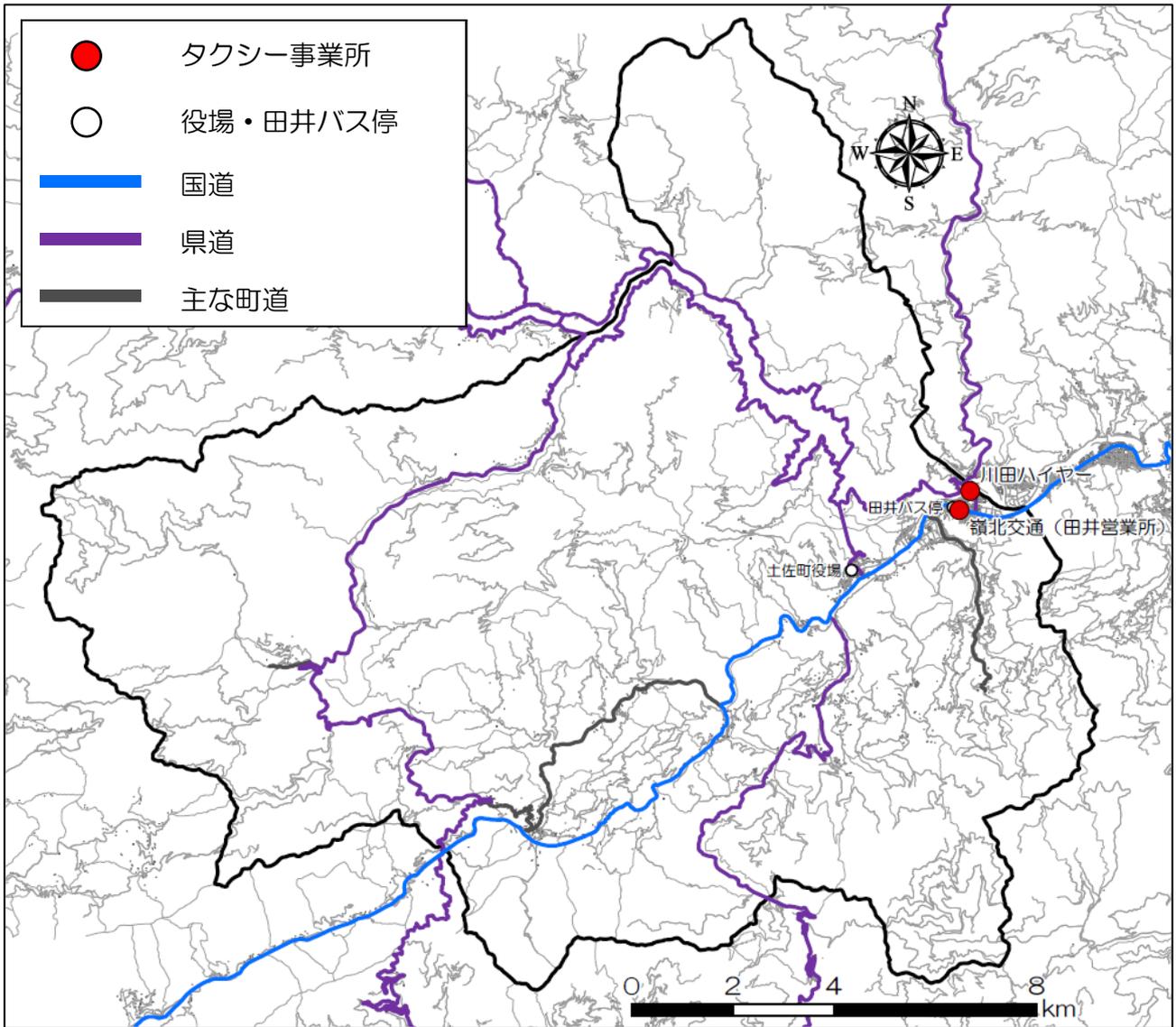


図 4.4-2 タクシー事業所の位置図

(2) 土佐町福祉タクシー事業

本町では高齢者や障害者の移動支援として、土佐町福祉タクシー事業を実施しています。

令和2年12月までは、利用者がタクシー事業者に全額払ってから、後日、町に初乗り運賃以外を請求するようにしていましたが、令和3年1月からは、初乗り運賃のみ利用者が直接タクシー事業者を支払い、残りの額をタクシー事業者から町に請求するようにしています。

表 4.4-2 土佐町福祉タクシー事業の利用回数及び扶助費の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用回数(回)	998	971	1,000	1,285	1,089
扶助費(円)	1,659,090	1,635,050	1,990,700	2,982,580	2,726,690

出典：土佐町

(3) 透析患者の送迎

本町では透析患者の移動支援として、外出支援事業を実施しています。

表 4.4-3 外出支援事業の利用人数及び外出支援事業委託料

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用人数(人)	4	2	3	4	1
外出支援事業委託料(円)	1,529,522	580,770	1,488,910	1,849,300	515,570

出典：土佐町

4.5 通学支援（スクールバス）

本町では小学生・中学生への通学支援として、嶺北観光自動車などに委託し、スクールバス（路線バス混乗及びスクールバス専用）を運行しています。

表 4.5-1 利用者数の推移

（単位：人）

路線名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
峰石原	4	2	5	0	4	1	4	1	4	1
西石原	25	7	26	7	26	8	21	6	22	11
檜山	29	0	33	0	34	0	26	0	29	0
伊勢川	7	0	8	0	11	0	10	0	11	0
黒丸	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
小合計	66	11	73	8	76	10	62	8	67	13
合計	77		81		86		70		80	

出典：土佐町

※西石原でカウントした小学生・中学生で実際は峰石原に乗っている者がいる（どちらの便にも乗れる小学生・中学生がいる）。

※保護者の送迎でバスを利用していない小学生・中学生もいる。

表 4.5-2 委託費及び補助金

（単位：円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校（嶺北観光自動車）	11,650,667	11,341,013	11,587,172	11,353,644	11,627,715
中学校（嶺北観光自動車）	20,248,408	19,659,531	20,213,297	19,619,012	20,445,855
シルバー人材センターへの委託費 【南川・和田方面】	858,843	691,824	789,030	1,060,480	
遠距離通学費補助金（保護者への補助金） 【南川・大澗】					187,040
合計	32,757,918	31,692,368	32,589,499	32,033,136	32,260,610

出典：土佐町

※路線バスと混乗して利用している。学校 15:50 発のみスクールバス専用になっている。

※スクールバス専用の車種：西石原便のみ中型バス（座席 28 席）、他はマイクロバス（座席 22 席）。

※令和3年度まではシルバー人材センターに委託していたが、令和4年度からはシルバー人材センターへの委託を無くし、代わりに保護者に対して（保護者が学校まで運転している）遠距離通学費補助金を出している。

※シルバー・遠距離通学費補助金の内容としては、スクールバスが通っていない地域に対しての委託費・補助金である。

4.6 その他の移動手段

(1) 移動販売

末広ショッピングセンターが土佐町内を販売エリアとして、移動販売（とくし丸）をしています。

表 4.6-1 移動販売（とくし丸）の概要

項目	内容
土佐町内での販売エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・森、田井、中島、石原、地藏寺（20～30 箇所程度） ・同じ場所での販売は週1～2回程度 ・基本的に利用者の自宅近くまで行く
利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・50人弱くらい
曜日・時間	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜～土曜の10～14時に販売 ・曜日によっては利用が少なく、14時よりも早く終わることもある
滞在時間	<ul style="list-style-type: none"> ・1箇所あたり5～10分程度である
販売ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回同じ（各販売場所の販売時間もほぼ同じ）
販売品目	<ul style="list-style-type: none"> ・約300種類で、おかず、生鮮食品、お菓子類、日用品（トイレットペーパー等）等 ・冷凍品は販売していない

出典：ヒアリング調査より

(2) デイサービス・デイケア

下記の表に記載した事業者では、利用者の送迎を実施しています。

表 4.6-2 デイサービス等の概要

事業者名	住所	介護サービスの種類
デイサービスたい	高知県土佐郡土佐町田井 1456-1	通所介護
デイサービスセンターときわ	高知県土佐郡土佐町田井 1377-29	地域密着型通所介護
デイサービス元気村たい	高知県土佐郡土佐町田井 1445-1	通所介護
レイクビューさめうら	高知県土佐郡土佐町田井 1372	通所リハビリテーション

出典：介護サービス情報公表システム（介護事業所・生活関連情報検索）

(3) 社会福祉協議会

町が社会福祉協議会に委託している「あったかふれあいセンター事業」では、参加者の送迎を行っています。

表 4.6-3 事業内容

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1 拠点 9 サテライトのサロン支援活動を中心に事業を展開。 ・地域サポーター（9名）を各サテライトに担当制にして配置し、サロン活動の充実を図る。 ・また、シルバー人材センターより3名の送迎運転手を派遣し、とんからりんの家・各サテライトの集いへの送迎の充実を図りながら、集いへの誘いだしを主目的として対象者を特定せずサテライト地域内の訪問を、継続的に実施する。
------	---

出典：土佐町

表 4.6-4 送迎の概要

送迎対象区	開催頻度	送迎頻度	車両	補足
地蔵寺	月2回	月2回	社協所有車（ノア 定員8人）	
平石	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
松ヶ丘	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
石原	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
森	月4回	月2回	社協所有車（ノア 定員8人）	
相川	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
南川	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
瀬戸	年4回	年4回	軽乗用車（定員4人）	
和田	月1回	月1回	社協所有車（ノア 定員8人）	
田井	週3日	週3日	社協所有車（ハイエース 定員10人）	利用者は週1回 木は1回運行 月・金は2回運行

出典：土佐町

※高齢者の集いとして、旧小学校区単位に月1～2回開催。町が社協に委託して実施。

※買い物に立ち寄りたりはしない。

4.7 本町の公共交通への公的負担の推移

本町の公共交通への公的負担の推移は、年々増加傾向にあり、令和4年度は約 8,100 万円となっています。

令和4年度の内訳をみると、最も多いのは路線バスで 40.5%（約 3,300 万円）となり、次いで通学支援（スクールバス）で 39.8%（約 3,200 万円）、チョイソコとさちょうで 15.7%（約 1,300 万円）となっています。

表 4.7-1 本町の公共交通への公的負担の推移

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	千円	割合								
路線バス	19,319	34.9%	21,333	38.5%	24,739	40.6%	28,905	42.0%	32,785	40.5%
高齢者通院バス料金助成実施事業	115	0.2%	128	0.2%	141	0.2%	83	0.1%	46	0.1%
チョイソコとさちょう							2,950	4.3%	12,694	15.7%
土佐町福祉タクシー事業	1,659	3.0%	1,635	3.0%	1,990	3.3%	2,982	4.3%	2,726	3.4%
外出支援事業委託料	1,529	2.8%	580	1.0%	1,488	2.4%	1,849	2.7%	515	0.6%
通学支援（スクールバス）	32,757	59.2%	31,692	57.2%	32,589	53.5%	32,033	46.6%	32,260	39.8%
合計	55,379	100.0%	55,368	100.0%	60,947	100.0%	68,802	100.0%	81,026	100.0%

出典：土佐町
※百円以下切り捨て

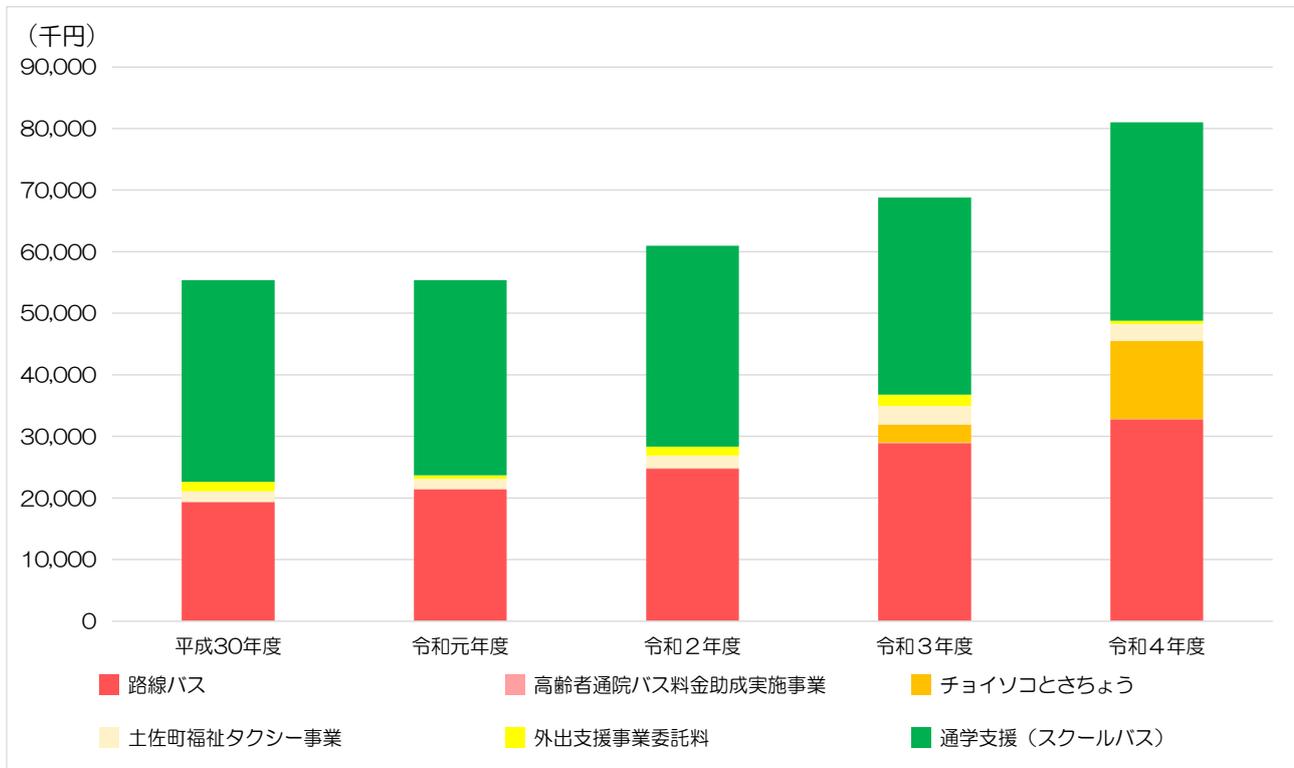


図 4.7-1 本町の公共交通への公的負担の推移

出典：土佐町
※百円以下切り捨て

4.8 交通結節点の整備状況

(1) 田井バス停

田井バス停は、待合室やトイレなどが整備されており、公共交通の結節点となっています。

表 4.8-1 田井バス停の整備状況

バス停名	待合室	ベンチ	P&R 駐車場	駐輪場	トイレ	Wi-Fi
田井	○	○	○	○	○	○

出典：現地調査より作成

※P&R駐車場は土佐町芝生広場（ころろ広場）に整備している



図 4.8-1 田井バス停

撮影日：令和5年6月27日

(2) 大杉駅

本町の最寄り駅は大杉駅（大豊町）であり、鉄道（土讃線）の利用者向けのパークアンドライド駐車場（車 de トレイン）が整備されており、公共交通の結節点となっています。

表 4.8-2 大杉駅の待合室の整備状況

駅名	駅前 広場	P&R 駐車場	駐輪場	バス アクセス	バス 待機場所	タクシー 乗り場	トイレ	バリア フリー
大杉駅	—	○	○	○	○	— ※①	○	○ ※②

出典：現地調査より作成

※①タクシー乗り場の整備はされていないが、乗り降りができるスペースがある。

※②車椅子を利用して駅構内に入ることができる（スロープあり）。



図 4.8-2 大杉駅

撮影日：令和5年6月27日

4.9 公共交通空白地域

路線バスのバス停から 300m 圏域に含まれる地域を公共交通カバー地域とし、令和2年国勢調査の本町の人口から公共交通カバー地域の人口を引いたものを公共交通空白地域の人口とした場合、本町の公共交通空白地域の人口は、617人（16.4%）になります。

表 4.9-1 公共交通空白地域の人口

総人口 (年齢「不詳」含む)	公共交通カバー地域 (バス停300m圏域内)		公共交通空白地域 (バス停300m圏域外)	
	人口(人)	人口比率(%)	人口(人)	人口比率(%)
3,753	3,136	83.6%	617	16.4%

出典：令和2年国勢調査 250mメッシュデータより算出

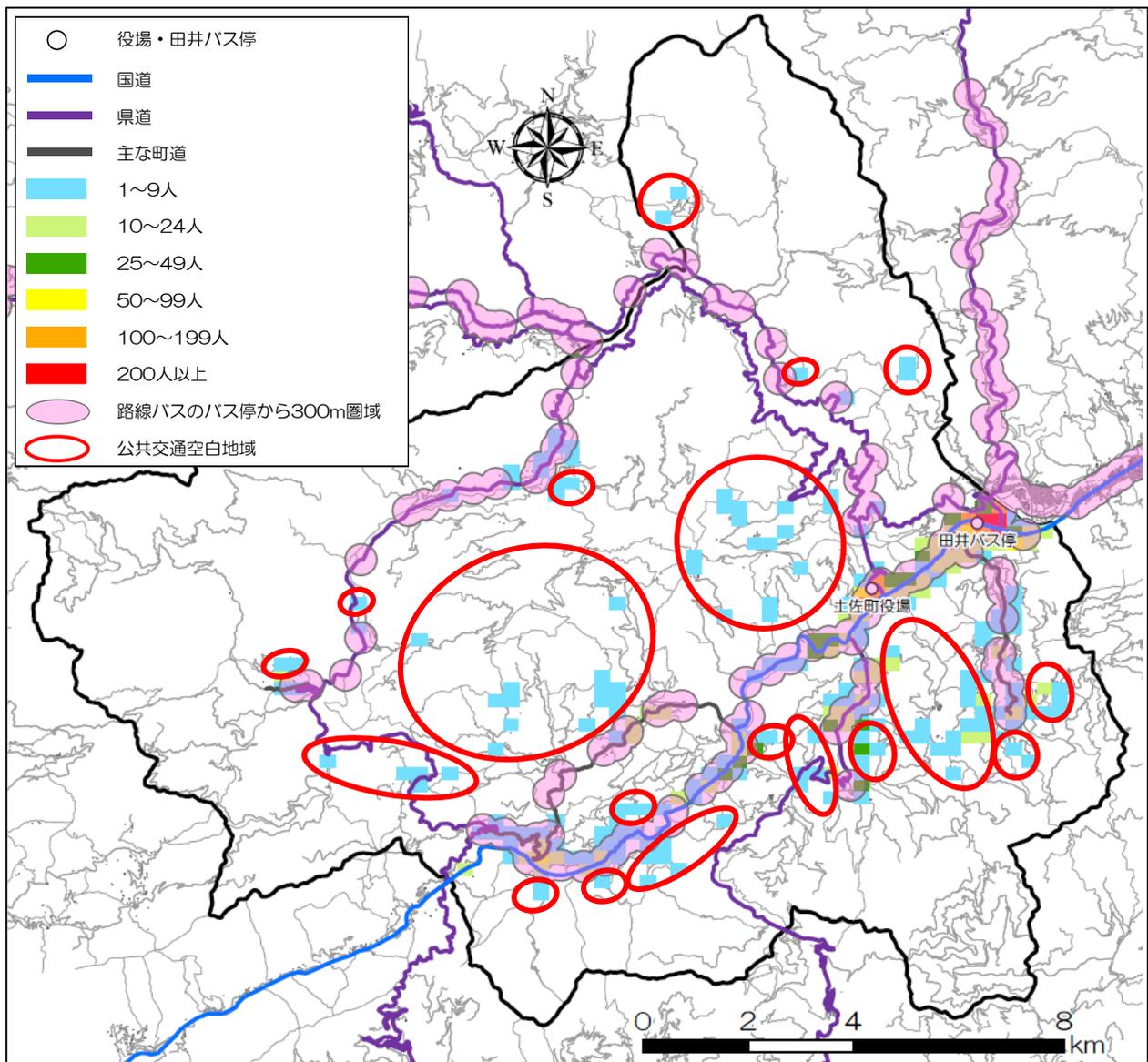


図 4.9-1 公共交通空白地域

出典：令和2年国勢調査 250mメッシュデータ

4.10 公共交通に対する住民ニーズ（アンケート調査）

(1) 目的

「土佐町地域公共交通計画」の策定に際して、本町における公共交通の利用実態や住民ニーズ等を把握し、今後の地域公共交通の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として住民アンケート調査を実施しました。

(2) 調査概要

- ① 調査対象：町内全世帯（世帯の中でより公共交通を利用している方が回答）
- ② 調査期間：令和5年7月～8月
- ③ 調査方法：地区長を通じて手渡しで住民に配布。郵送等による回収及びWebによる回答
- ④ 配布数：送付数 1,588通
- ⑤ 回収状況：回収数 435通（郵送：396人、Web：39人） 有効回収率：27.4%

※比率（%）はすべて百分率で表し、表示単位未満を四捨五入しているため、比率の数値の合計が100.0%にならない場合があります。

※無回答・無効票は省いています。

※複数選択の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

※図表中の選択肢表記について、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

※n：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

(3) 調査結果（概要）

1) 現在、希望どおりの外出はできていますか（回答1つ）

- ◆「十分にできている・おおむねできている」方が93.0%。
- ◆「あまりできていない・できていない」方が7.0%。

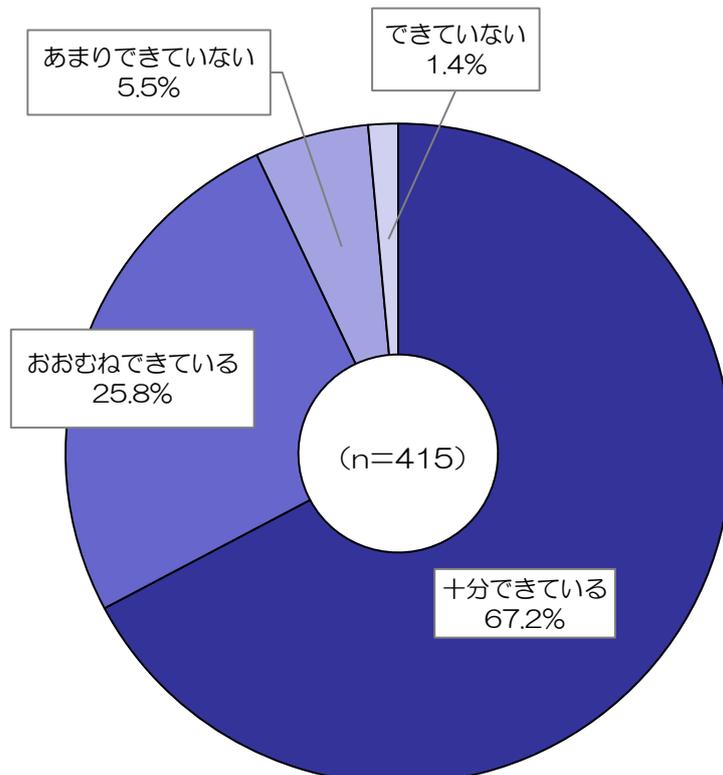


図 4.10-1 現在、希望どおりの外出はできていますか

2) 希望どおりの外出ができない理由（回答 2 つ以内）

【前ページの設問で「あまりできていない・できていない」と回答された方が回答】

- ◆ 「目的地に行く移動手段がない」「公共交通は移動するのに時間がかかる」が 42.9% で最も多い。
- ◆ 次いで「体力的につらく、駅やバス停まで歩くことができない」が 35.7% の順に多い。その他の内容「家族に送迎を頼む時、日程調整をしなければならない」。
- ◆ 「公共交通の便が少ないし、乗り継ぎが悪い」等。

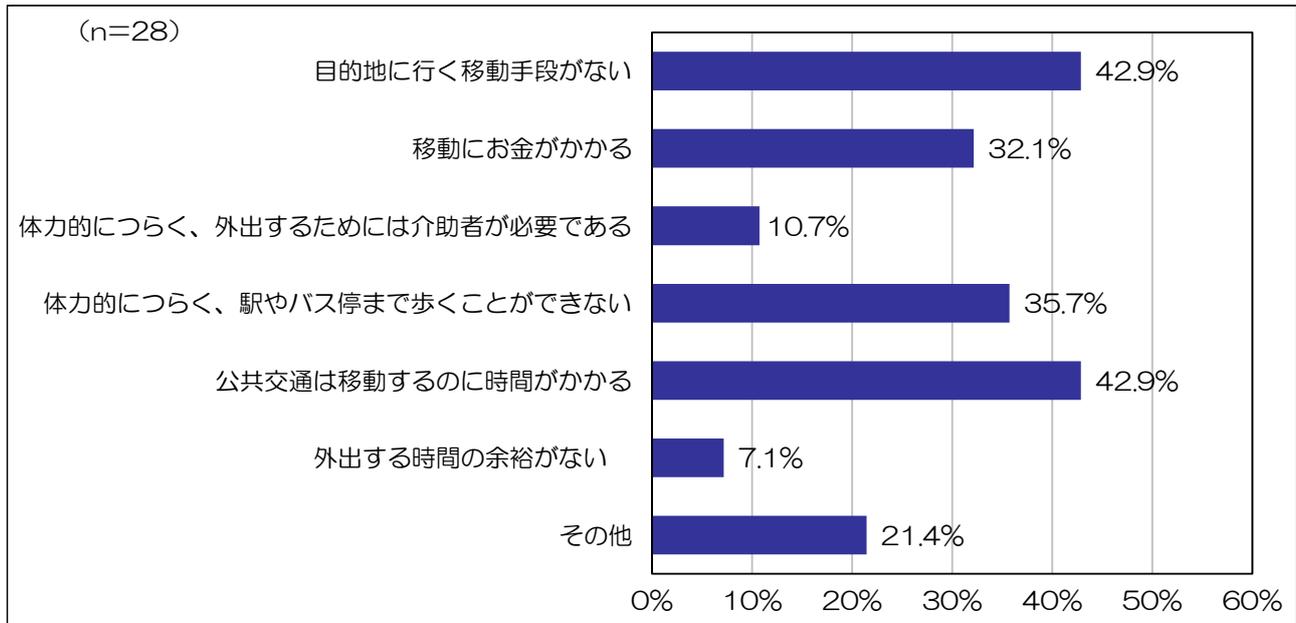


図 4.10-2 希望どおりの外出ができない理由

3) 「チョイソコとさちょう」の認知度（回答 1 つ）

◆ 「チョイソコとさちょう」を「知っている」方が 74.0%。「知らない」方が 26.0%。

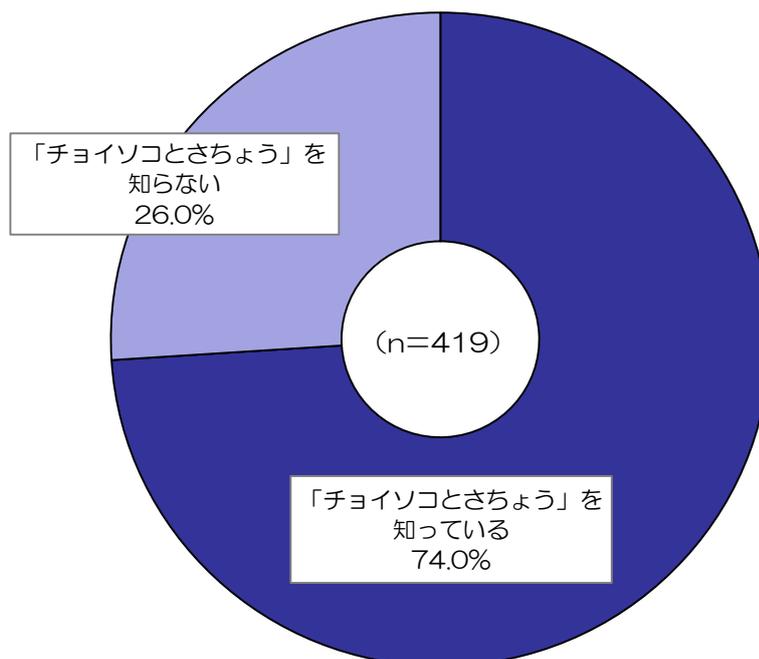


図 4.10-3 「チョイソコとさちょう」の認知度

4) 路線バス（嶺北観光自動車）の「中学生・高校生限定割引」・「運転免許証返納者割引」の認知度（回答1つ）

◆「知っていた」方が19.0%。「知らなかった」方が81.0%。

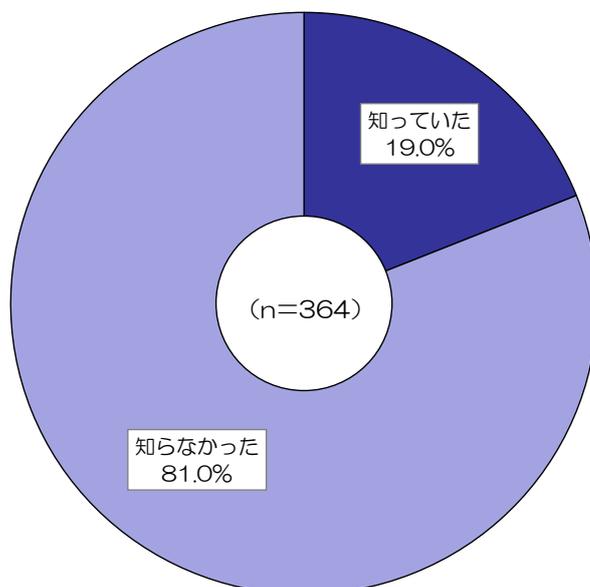


図 4.10-4 路線バス（嶺北観光自動車）の「中学生・高校生限定割引」・「運転免許証返納者割引」の認知度

5) 「中学生・高校生限定割引」・「運転免許証返納者割引」はどこで知りましたか（あてはまるもの全て）

【上記の設問で「知っていた」と回答された方が回答】

- ◆「口コミ」が69.2%で最も多い。
- ◆次いで「その他」が13.8%、「新聞の折り込みチラシ」が10.8%の順に多い。
- ◆その他の内容「バスの運転士」「地区会のチラシ」等。

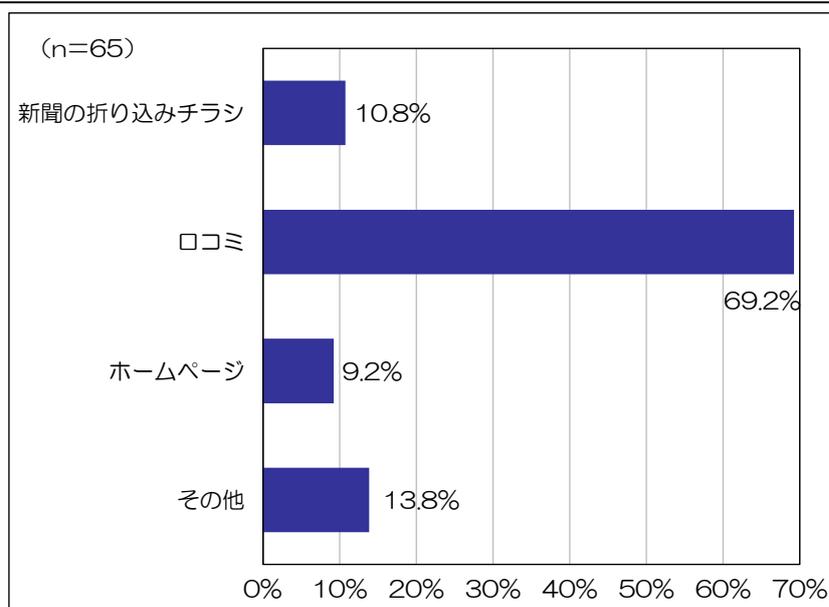


図 4.10-5 「中学生・高校生限定割引」・「運転免許証返納者割引」はどこで知りましたか

4.11 ヒアリング調査

(1) 嶺北観光自動車（路線バス、スクールバス）

1. 路線バスについて

① 運行ルート

- 現在、運行ルートを変更する予定はない。
- 中島橋（末広前の橋）が工事の関係で通れなくなることを心配している。迂回ルートとしては柳家食堂近くの橋を渡るしかなく、中型車も通れるが一般車とのすれ違いがあり、通行する際には気を付けなくてはならず、待避所を設けて貰えないか。お客様にとっては遠回りになってしまう。
- ダム再生事業の工事車両が頻繁に通ることになり、吉野を2分間隔で1台通る計画らしい。

② 運行ダイヤ（時刻表）

- 運行ダイヤの変更については、事前に周辺自治体に相談する。
- 運行ダイヤの変更がある場合、1ヶ月前ぐらいには新聞折込で全戸配布している（土佐町内だけではなく、沿線地域にお住まいの方へも配布している）。町の無線放送でお知らせしたり、バス停では変更の案内を出したり、バス車内では利用者に変更予定の時刻表を配布している。主要な商業施設や飲食店にもお願いして案内を貼っている。ホームページにも載せている。

③ 料金・割引制度

- バス自体の料金がもっと安くないだろうかと言われたことがある。利用者がほとんど高齢者（年金暮らし）のため安ければ安いほど良いと思う。とさでん交通から当社へ移管した際には料金は下がったが、利用者としてはもう少し安い料金を望まれている。
- ICカードは導入費もかかるが、ランニングコストも高く、少ない収入の中で投資することは難しく、現在、導入予定はない。
- 今年3月より、中高生・免許返納者に対して、通常料金の半額で利用できるようにした。免許返納者については、定期券の制度はあったが、毎日利用するには割高感があったため、1回の乗車あたりの通常料金を半額にした。

④ バス停

- バス停の配置場所の変更・名称変更は現在のところ予定はない。
- バス停の新設・改修等は嶺北地域公共交通協議会に諮っており、必要に応じて対応している。近年ではコロナの関係で開催できていないときもあった。令和4年度からは年1回開催している。
- バス停が古く使えなくなった場合はその都度、直している。
- とさでん交通から当社へ移管した関係でバス停の数は増えた。

⑤ 待合環境（上屋・ベンチ等）、バリアフリー

- 待合環境の改修予定等は具体的にはあがっていない。当社独自で設置している上屋は、森の農協のところ（バス停：農協前）のみであり、それ以外は地域の方や町が設置している。
- 上屋・ベンチの設置にあたっては、経費面（維持管理）や道路占用の関係でなか

なか簡単には設置できない。

⑥ バスロケーションシステム

- ・バスロケーションシステムを導入する予定は現在ない。ランニングコスト面や当社の路線バスを利用する方の多くが高齢者であり、スマートフォン等を持っておらず、将来的には考えていく必要もあると思うが、現在は利用する方は少ないと思う。

⑦ 利用者からの声

- ・利用者へのアンケートは実施していない。
- ・利用者は、運転手へ要望等を伝えている。
- ・昼間に増便の要望があり対応した。特に土曜に鉄道を利用し、大杉駅から田井方面に行く方からの声で、路線バスの待ち時間が長かったため、「大杉駅発 13:56→田井着 14:24」を新たに設けた。

⑧ デマンド型交通への移行

- ・現在の路線バスからデマンド型交通へ移行することは可能である。しかし必ずしもデマンド型交通が良い選択とは考えていない。必要に応じて地域に合った公共交通を運行したい。
- ・路線バスを使って医大に行く利用者は少なく、医大まで運行させるのかといった議論もあった。しかし鉄道を利用して行くことも難しく、せめて医大まで通したいという要望等で運行させている。

⑨ 交通安全の改善点

- ・運行ルートには危険な場所はないが、バス停の位置がカーブ中に設置しているものがある。
- ・必要に応じてカーブミラーの設置を依頼している。
- ・土砂崩れ等の影響で通行止めが出た場合、路線バスの運行を中止するようにしている。

⑩ 利用促進

- ・ダイヤ改正や中高生・免許返納者の通常料金の半額などの利用促進を行ってきた。
- ・昨年度、中学生に対して割引制度の説明を行った。
- ・小中学生はスクールバスを利用しているため、他地域と比べてバスの乗り方は知っているのではないか。
- ・乗り方教室の依頼があれば協力できる。
- ・町内企業への利用呼びかけとして、時刻表を新聞折込で全戸配布している。
- ・通勤の利用者が少なく、通勤のための時刻とはなっていないため、必要があれば今後検討したい。
- ・田井より石原方面は大人1名、スクールバスの定期券支給外の小学生1名の方が定期券を購入している。
- ・回数券の利用もある。

⑪ 運転手の確保

- ・現在、運転手について緊急を要するほどの不足ではない。しかし、運転手を募集してもすぐには見つからない。

- ・県と協力し、「どらなび（運転手専用の求人サイト）」に登録し、大阪・東京で就職イベントを実施した（県が費用を負担）。
- ・令和3年10月のとさでん交通の大杉駅・県庁前線からの撤退問題により運転手の増員が急務となり、13名入社した。内訳は県内（地元以外）6名、県外6名、地元1名である。うち7名は「どらなび」である。高齢の運転手も在籍しているため、今後のことも見据えて、「どらなび」を活用したい。（参考：令和3年10月以降の定年退職者等6名）
- ・地元の方に運転手になってほしい。新聞折込で運転手募集を行ったが応募者は0名だった。
- ・今までは大型二種免許の取得するためには3年以上の経験が必要だったが、法改正によって1年以上となった。
- ・現在、会社としては免許取得のために貸付制度を設けている。
- ・当社に入社する方は、都会とは違い田舎でゆったりとした仕事をしたい方が来られる。
- ・土佐町でも移住者フェアで東京等に行くこともあるため、運転手確保に向けて協力していくことは可能である。（町）

⑫ 車両購入

- ・直近では医大線を運行するために、車両4台を沿線自治体（県が1/2、それ以外は市町）で購入した。当社の自費では購入していない。
- ・医大線以外の車両は古くなってきており、沿線自治体に相談しているが、状況が整っておらず、保留中である。
- ・ダウンサイジングも検討したいが、現在スクールバスの関係で朝夕の利用が多く、現状の大きさ（乗車人数）は確保する必要がある。

⑬ 経営状態

- ・当社の路線バスのほとんどは補助路線であり、経営の関係で廃止することはない。当社の場合、他社が廃止した路線を引き受け走っており、路線バスを廃止する基準はない。

⑭ コロナ禍の影響

- ・コロナ禍の影響で利用者数は減ったが、元々他の交通手段がない方が使われていたため、他社と比べるとそこまで減少していない。最近は利用者数が徐々に戻ってきている。

2. 町への提案・要望

- ・現在、特にない。
- ・チョイソコとさちょうの運行については相談したい。

3. その他

- ・医大から高知市に行く路線バス（とさでん交通が運行）が減便される予定である。医大線（嶺北観光自動車）から乗り継いで利用者されている方は、1日に1名程度である。
- ・現在の貸切バスは、コロナ禍前の70%。一般団体の利用が少なく、学校が多い。

貸切用のバスを 10 台から 7 台に減らした。コロナがピークの際にも予約があったが、感染者が増えるとキャンセルされた。

- 路線バスの車両は 15 台（そのうち予備車が 1 台）である。そのうち 1 台が低床車両となっている。スクールバス（専用）も 15 台のうちに含まれている（ちなみに本山町のスクールバスも含まれている）。ステップがある車両には乗り口の一番下に台が出るようにしている。山間部地域においては坂道が多く、低床車両を運行した場合、床下を擦ってしまうため、導入したくてもできない。車種は日野自動車で、中型 1 台・マイクロ 14 台である。
- 運転手は 23 名（とさでん交通の出向者を含む）である。平均年齢は 53 歳。雇用形態は正社員（フルタイム）。

(2) 合同会社いしはらの里（チョイソコとさちょう）

1. チョイソコとさちょうについて

① 今後の料金・割引制度

- 現在の料金は無料だが、有料にした場合、利用頻度は減ると思う。有料でも利用したい人は大半であると思うが、金額によると思う。
- 頻繁に利用されている方にとってチョイソコとさちょうは、無くてはならない足になりつつある。
- ドライバー会議では、500 円は高いのではないかという意見があった。
- 石原に住んでいる人が田井まで 500 円で行けるのは安いと思うが、森に住んでいる人が田井まで 500 円かかるのは路線バスの料金より高くなってしまう。
- タクシーのように距離に応じて値段を設定するのはどうか。
- 全国のチョイソコの事例をみると年会費を貰って運行しているところもある。いわゆるサブスクリプションである。1 ヶ月定期のような仕組みも一つではないか。
- 身体障害者や高齢者、中学生以下の割引制度はあってもいいと思う。

② 車両

- 現在、車両 3 台で運行しているが、運営するうえでギリギリの状況であり、予約を断ることもある。今は車両を増やす必要はないと思う。
- 今年に入って忙しくなった。特にいしはら号の利用頻度が増えた。曜日でいえば、前までは水曜・木曜の利用が多かったが、最近は月曜・火曜の利用が増えて忙しくなっている。
- 1 週間に 1 回くらいのペースで予約を断っている。
- 基本的に乗合は少なく目的地まで 1 人を運ぶことが多いが、いしはら号の乗合率は高く、2～3割は乗合になる。
- 現在、火曜のみの運行となっているためか下瀬戸・南川（登録者会員は 21 名）の利用者が少ない。今後、利用できる曜日が増えた場合、車両の数が不足すると思う。利用が少ない要因として、利用したい曜日に通院できないことが一つの要因となっているのではないか。公平性の観点から言えば、他の地域よりも不便になっている。火曜のみに運行している理由は、他の地域で火曜の利用が少なかったためだが、最近、他の地域で火曜の利用が増えてきている。

- 理想は下瀬戸・南川に車両があって、下瀬戸・南川に居住している運転手がいれば効率的な運行ができるが、現状は他の地域から車両・運転手が行っている。しかし下瀬戸・南川のために車両を構えても、利用者は多くないことが予測される。仮に平日毎日使えるようになっても、毎日の運行することはないと思う。
 - 仮に嶺北観光自動車がチョイソコを運行する場合、ステップワゴン（ホンダ）は元々合同会社いしはらの里の使用車となるため、改めて準備する必要があるかもしれない。
 - 基本的には、3台ごと（いしはら号、もり・わだ号、まつがおか・たい号）で担当する地域は決まっているが、例えばいしはら号が忙しく、石原で車両が足りない場合、アイシンの配車システムで他の地域で運行している車両が振り分けられることもある。
 - 主に車両内で使用する配車・運行管理システム用のタブレットの充電不具合や車両のモニターへの表示などでタブレット側の不具合がある。
- ③ 運行時間
- 現在、平日のみの運行となっているが、土曜日に利用したいという声がある。土曜日に病院が開いているところがあり、通院で利用したいらしい。
 - 路線バスの便数が減った場合、チョイソコとさちょうの休日運行を検討しなければならないかもしれない。
- ④ 運行上の改善点
- 買い物した後の荷物を自宅まで運んでほしいという要望があり、運転手が対応していると思う。
 - 運転手はドライバー業務以上のことをしていると思う。例えば利用者の自宅近くにおいて、バックで方向転換する際に後方が草で見えないため、草刈りをしている。また、利用者で腎臓病のため水を毎週買う方がいるが、75歳以下のため自宅近くを降り場にできず、降り場が中央集会所となり、一緒に自宅まで運んでいる。
- ⑤ 交通安全の改善点
- いしはら号が末広ショッピングセンターの駐車場で停めている際（運転手・利用者は車内にいなかった）に、他の車両に当てられたことがあり、加害者の保険で直した。
 - 道幅が狭い箇所が多いため、車両を擦ったことがある。
 - 自宅近くまで車両が入れない場合は、事前にその情報が登録されており、予約があると予約画面にデータメモで分かるようになっていて、利用者に車両が入れる場所まで出てきてもらうようにしている。
 - 車両保険には加入している。また、1件だけ合同会社いしはらの里として損害賠償が含まれている保険に加入している。
- ⑥ 利用促進
- 地域のイベントで集落活動センターのチラシでチョイソコとさちょうをPRしている。また、社会福祉協議会で利用を呼びかけている。いしはらの里だより（広報紙）にも記事を載せている。
 - 町でもチョイソコとさちょうのチラシを配布している。

⑦ 運転手の確保

- 合同会社いしはらの里や町で募集をかけたり、知り合いに声をかけたりした。土佐町内には4箇所の集落活動センターがあり、そことも連携して募集をかけた。元町役場の職員や社会福祉協議会で運転手をしていた方が運転している。
- 現状、運転手が不足している状況ではないが、緑ナンバー事業者が主体で運行してもらいたい。
- 今後有料になった場合、運転手は二種免許が必要である。
- 運転手への報酬は時給制となっている。

⑧ 運行エリア拡大

- 下瀬戸・南川が平日運行となった場合、運転手・車両が足りない状況になるのではないか。
- 中心地の田井は現状、自宅近くには行かない設定にしているが、そこを自宅近くまで行くようになれば、田井の方で利用したい人が増えると思う。

⑨ 予約方法

- 現在の予約は電話のみであり、インターネット予約は今すぐ必要ではない。
- 電話予約のみにしていることで、細かい調整ができており、併せて利用者の確認もできている。高齢者がインターネット予約すると操作ミスがあり、日にちを勘違いすることがあるのではないか。
- 若い方の利用が増えてきたら、3日前締切でインターネット予約を可能にするのも一つの案である。
- 車内に予約を確認するタブレットを備え付けており、運転手は出勤してその日の予約状況を確認することになる。前日にシステムとは別にLINEでオペレーターから次の日の予約状況の知らせが送られている。
- 利用者の中には、チョイソコとさちょうをタクシーと思っている方がいる。予約時期をみると、当日予約の1時間未満が1割を占めている。
- 高齢者以外の利用で中学生がカヌーの練習に行くために利用している。授業後の部活参加のために親が送れない場合も対応している。
- オペレーターは3人おり、日ごとにローテーションで回し、1日1人で対応している。
- 現在、路線バスが走る時間帯は運行できないが、予約のシステム上でその時間帯を外すことができず、時刻表を確認しながら、利用者に予約可能か伝えており、オペレーターの負担になっている。システム変更を依頼すればできると思うが費用がかかってしまうのではないか。
- 路線バスとの兼ね合いで17:00までの運行ができない。15:30または16:00までの運行となり、送りの時間帯を考慮して運行時間を16:00までとしても良かったのではないか。

⑩ 配車システム

- チョイソコの配車システムに対する不満は基本的にはない。ただし、路線バスが走る時間帯は、チョイソコとさちょうを運行できず、予約のシステム上でその時間帯を外すことができないことが不満である。
- オペレーターと運転手同士がLINEのグループでやり取りを行い、予約変更があ

った場合でも、柔軟に対応している。

- 道路工事・雪があった場合、いつもより余分に時間がかかってしまう。
- 通信エリア外では車載用のタブレットのチョイソコシステムが作動しない。(例：芥川・南川)
- チョイソコのシステムは Google と連動しているが、土砂崩れがあった場合などは反映されない。
- ドライバーの待機場所は、石原であれば集落活動センターいしはらの里、それ以外は自宅や町役場で待機している。待機時間も時給は発生している。
- 令和 5 年 7 月から予約用の携帯電話には、発信者の名前を登録しているため、予約に必要な会員番号を聞かなくてもよいため、業務の負担が軽減されている。
- 配車の予約など機能的には他の配車システムで行うことも可能ではないか(仮に夜間の運行開始となれば夜間だけでもネットで予約、配車ができるのではないか)。

2. 町への提案・要望

- 今後、デマンド型交通の運行主体が嶺北観光自動車になる場合、オペレーター業務を合同会社いしはらの里が担うことはできないか。利用者も慣れていない人に電話を取ってもらった方が安心するのではないか。3年間の業務実績がある。
- 目的地(乗降場所)からスポンサー料をいただいてはどうか。
- 夜間運行の希望の声が多い。夜間の急病などの緊急時に不安や、夜間営業の飲食店がこのままでは立ち行かなくなるのではないか。

3. その他

- チョイソコのシステム料は、月 20 万円(割引料金)かかっている。本来は月 25 万円である。
- 車両は、乗客 4 人乗り 2 台(トヨタルーミー)、乗客 5 人乗り 1 台(ステップワゴン(ホンダ))である。
- 運転手は 13 名で平均年齢 61 歳である。

(3) 嶺北交通(タクシー)

1. タクシー利用者の状況・特徴について

- 利用者は高齢者が多く、目的地は医療機関が多い。午前中(特に朝)に利用する人が多い。
- とときどき買い物に利用している人もいる。
- 土佐町内では、早明浦病院、田井医院、西川歯科、末広ショッピングセンターが多い。
- 大川村から早明浦病院の移動も時々ある。
- 前は嶺北中央病院の先生の送り迎えをしていたが、今は大川村が運転手を雇って診療所まで送迎している。
- 南国市・高知市への利用は医大・医療センター・眼科が多い。

2. タクシーについて

① 利用促進

- ・ 特にない。

② 運転手の確保

- ・ 今の状態では運転手を雇っても給料を支払えない。チョイソコとさちょうが始まってから、土佐町分の現在の事務員と運転手の給料の支払いが困難な時がある。本山町分は8月より1名雇用した。

③ 車両購入

- ・ 新たに車両を購入する予定はない。

④ 経営状態

- ・ チョイソコとさちょうの影響で車両台数は増やせない。

⑤ コロナ禍の影響

- ・ コロナの影響で利用者が戻ってきていない。夜に飲みに行くことが無くなった。近年、忙しいときは、23～24時まで運行していたこともあった。

3. 町への提案・要望

- ・ タクシーは公共交通と言われるが、路線バスのような補助がなく、不採算部分の助成を要望する。

4. その他

- ・ コロナの影響で町よりガソリン代補助があったが、来年度から無くなるのではないかと。
- ・ 17時以降は本山町内の運行（タクシー）を社長一人で行っている。
- ・ 高知市内のタクシー利用者も減ってきている。
- ・ コロナによって飲み屋（高知県内や土佐町内）が減った。夜の利用はコロナ禍から戻ってきていない。
- ・ チョイソコとさちょうの事業が拡大した場合、タクシー事業を辞める可能性もある。タクシーをやりたい人が多いみたいだが、商売にならない。利用者からやりたいと言っている人がいると聞いたことはあるが、実際にその人とはまだ会えていない。個人タクシーであれば可能だと思うが、従業員を雇うのは無理だと思う。
- ・ チョイソコとさちょうで往路、復路をタクシー利用する人もいる。
- ・ 本山町内のタクシー運転手を1名増やす予定である。二種免許を持っていてもすぐには運転手にはなれないため、タクシーセンターで講習を受ける（毎月2日間の講習がある）。
- ・ 後継者は現在いない。県の商工会議所に事業継承について相談している。四国銀行も後継者を探してくれているが、返答がない。高知市内の同業者に相談しても、本山町で事業を行う会社はいないのではないかと言われた。
- ・ 介護タクシーをやりたいという方がおり、運輸局に相談したところ、タクシー経験が10年以上なければ認可できないと言われた。また、介護ヘルパー2級が必要になるのではないかと。
- ・ 山間部に行ったときシエンタの底を擦ってしまうため、ホンダのフリードでしか

行けないところもある。

- 大杉ハイヤーが廃業したため、ときどき大豊町の方から利用したいという電話がある。
- ダムの再生事業でのタクシー需要増加を期待している。
- 土佐町内のタクシー車両は3台。現状1台が稼働している（シエンタ（乗客4人まで）。過去には9人乗りがあったが、利用が少なくなり廃車にした。一時期、土佐町・本山町に5台ずつ（計10台）所有していることもあったが、現在、会社としては計5台となっている。
- 土佐町内のタクシー運転手は2人。そのうち1人は休養中である。平均72.5歳。（ちなみに本山町では3人のタクシー運転手がいる（社長含み）。）
- 土佐町内の営業時間は、7:00～17:00である。土曜は午前中運行し、午後は本山町分が運行する。

5. 本山町の公共交通について

- 本山町では本山町からの受託でさくらバスを往復5回運行させている。人口が限られているため、利用者は固定されている。さくらバスは曜日が限定されているため、利用できない曜日は福祉タクシー券を使って病院まで行っている。
- 本山町のさくらバスが運行されるようになってから、福祉タクシー券の利用は減った。
- 本山町のさくらバスの個人負担は、身体障害者の方は100円、それ以外の一般の方は200円となっている。定期券もあり、1ヶ月1,000円で乗り放題になる。
- 本山町のさくらバスは町内には山間部もあるため、自宅までの運行ではなく、バス停までの運行となる。月曜日は予約があったときのみ運行している。交通量の多い国道を走っていないため、基本フリー乗降となっている。
- 支払方法は現金を車内の料金箱に入れる。集計し毎月1回本山町に納めている。
- さくらバス専用の運転手を1人構えている。

(4) 川田ハイヤー（タクシー）

1. タクシー利用者の状況・特徴について

- 利用者は高齢者が多く、目的地は医療機関が多い。午前中に利用する人が多い。
- 最近、コロナワクチン接種のために利用する人がいる。
- 現在、高知市や南国市に行く人は少ない。高知空港には1年に1回程度である。

2. タクシー運行の将来計画等について

① 運転手の確保

- 後継者を探している最中である。しかしながら、若い人は給料面等の理由からやりたがらない。
- 後継者について、心配してくださる方もおられる。

② 車両購入

- 新たに車両を購入する予定はない。

3. 町への提案・要望

- 何かしらの補助をしてほしい。
- 福祉タクシー券が増え、無料化などして利用者が増加してほしい。

4. その他

- ジャンボタクシーは昔、所有していたが、今はない。
- 昔は車両台数を増やすことは難しかったが、今は増やすことが可能になった。
- 車両は中型だが、料金は小型で貰っている。
- 昔は景気が良かったため、利用者も多かった。特に早明浦ダム工事の仕事関係の人が利用していたと聞く。土佐町内の飲み屋も減ってしまった。仕事が増えればいいと思う。
- 他都道府県や高知市では、初乗り料金の値上げ（高知市で約 600 円）を予定しているが、弊社では難しい。
- 車両は2台（シエンタ、SAI）。どちらも乗客は4人まで。
- 運転手は2人。雇用形態は1人フルタイム（休日なし）。もう1人は週2～3日の1日8時間勤務。

(5) 末広ショッピングセンター【とくし丸】（移動販売）

1. 移動スーパーとくし丸の事業経緯

- 7～8年前に事業を始めた。事業の開始にあたって、サニーマートが高知県の代理店となっており、サニーマートに移動販売について相談したところ、嶺北地域（大豊町、本山町、土佐町、大川村）のみであれば、移動販売を行って良いと許可を貰ってから事業を開始した。
- 末広ショッピングセンターの商品を販売している。1つの商品につき、20円上乘せして販売している。
- 車両（軽自動車）は専用車で冷蔵設備が付いている。

2. 事業の概要

- 2名で嶺北地域を回っており、1名が大豊町・本山町東部、もう1名が土佐町・本山町西部・大川村の一部を担当している。
- 販売を行う場所は土佐町内では20～30箇所程度（利用者は50人弱くらい）で、同じ場所での販売は週1～2回程度である。土佐町内では、森、田井、中島、石原、地藏寺である。（ちなみに本山町は、汗見川、寺家、吉野、高角である。）
- 月曜～土曜の10～14時に販売している。曜日によっては利用が少なく、14時よりも早く終わることもある。
- 基本的に利用者の自宅近くまで行っている。
- 販売品目は約300種類で、おかず、生鮮食品、お菓子類、日用品（トイレトパーパー等）等。冷凍品は販売していない。購入が多いのはおかずや惣菜である。
- 生鮮食品やおかずは、毎日車両に積み込んで商品を交換している。それ以外の日持ちする商品は積んでいる。

- 出発前の朝に末広ショッピングセンターの商品を積み込んでいる。
- 販売を行う場所は、事業を始めるときに移動スーパーのチラシを各戸に配布し、希望があった場所で販売している。
- 1箇所あたりの滞在時間は5～10分程度である。
- 販売ルートも毎回同じで、各販売場所の販売時間もほぼ同じある。
- 給料はとくし丸から支払われている。末広ショッピングセンターとの関係は、商品を届けるパートナーである。
- ちなみにとくし丸は全国で1,000台近くが走っている。
- 車両は個人が購入している。末広ショッピングセンターは購入していない。

3. 利用者の特性

- 利用者は平均80歳くらいの女性が多い。一人暮らしの人も多い。若い方の利用は少ない。

4. 利用者の移動手段

- 自宅前での販売になるため、販売車まで歩いてくる。

5. 利用者からの要望

- 利用者から要望の商品があれば、次の販売時に持って行く（ただし、末広ショッピングセンターの商品に限る）。

6. とくし丸を運営するうえで、困っていることや不安なこと（問題点・課題）

- 特にない。

7. 今後、運行台数を増やす予定

- 末広ショッピングセンターとしては、今後、車両を増やす予定はない。現状、嶺北地域の3町1村を2台で運行しており、販売エリアも狭いことから、台数を増やせば売り上げが落ちてしまうため、現状維持である。

8. 町への提案・要望等

- 車両の新規導入への補助を出していただきたい。町長にも要望している。専用車で商品を載せるケースや冷蔵設備が必要となるため、1台あたり300万円以上もする。車自体の名義は個人になる。

9. その他

- 昨年からJAの移動販売が無くなった。
- 町との見守り協定を結んでいる。
- 本山町ではJAが移動販売を辞めたので、来てもらいたいと依頼がある。
- 土佐町を担当する人が今年8月で辞めるため、新たな人が研修中である（新車を購入予定）。
- 商品代金は末広ショッピングセンターに納め、売上の一部をとくし丸へ納める。

給料はとくし丸から出ている。

第5章 地域公共交通に関する課題の整理

地域公共交通に関する課題を整理します。

① 地域特性や地域住民のニーズに応じた公共交通サービスの提供

- ◆現状、路線バスは通学や通院などを移動の目的として、地域住民に利用されていますが、年間利用者は減少傾向にあります。
- ◆一方、新たな地域の移動手段として、令和3年度より土佐町乗合交通実証事業（チョイソコとさちょう）を実施し、地域の足として定着しつつあり、路線バスの運行状況と調整しながら、本格運行が望まれています。
- ◆路線バスは利用者が日によっては0人の便もあるため、地域特性や地域住民のニーズを把握しながら、運行の見直しが求められています。

② 希望どおりの外出ができていない人への移動手段の確保

- ◆アンケートより希望どおりの外出が「あまりできていない・できていない」と回答された方は7.0%で、ほとんどが70歳以上の高齢者です。
- ◆外出できていない理由としては、第1位が「目的地に行く移動手段がない」「公共交通は移動するのに時間がかかる」が42.9%、第2位が「体力的につらく、駅やバス停まで歩くことができない」が35.7%、第3位が「移動にお金がかかる」が32.1%となっています。
- ◆チョイソコとさちょうは75歳以上であれば自宅前から目的地に行けるものの、田井地区などにお住まいの方は自宅前が乗降場所にはならないためや、路線バスと同方向・同時間帯は利用できないため、不便に感じていると考えます。
- ◆また、「公共交通は移動するのに時間がかかる」については、利用してもらいながら慣れていただく工夫や、待ち時間などの負担を軽減させる取組が必要です。

③ 公共交通への関心が低い

- ◆アンケートより「チョイソコとさちょう」を知らない方が26.0%となっています。
- ◆また、路線バスの「中学生・高校生限定割引」・「運転免許証返納者割引」を知らない方が81.0%となっています。
- ◆これらの結果より、地域住民の公共交通に対する関心が低く、公共交通が移動手段として認知されていないことがわかります。
- ◆地域の移動手段として選ばれるための取組や、地域住民の公共交通に対する関心度を高めていく取組が必要です。

④ タクシーの利用者の減少

- ◆土佐町を営業範囲としているタクシー事業者は2事業者がありますが、年間利用者数は減少傾向にあり、タクシー事業者の存続が厳しい状況のため、存続に向けた支援が求められています。

⑤ 福祉輸送への対応

◆現状、土佐町内には介護タクシー事業者が無く、車いす利用者等の移動はデイサービス等の介護保険事業利用時、または家族等が送迎しており、新たな福祉輸送が求められています。

⑥ 適正な財政負担

◆土佐町における公共交通への公的負担は、約 8,100 万円（令和 4 年度）であり、今後限られた財政状況を踏まえ、できるだけ負担を増やさず、地域住民の利用状況やニーズに応じた効率的・効果的な運営を通じて、公共交通サービスの質を維持し、さらに向上させることが求められています。

第6章 地域公共交通の形成に向けた基本方針

6.1 地域公共交通が目指す将来像

上位・関連計画などを踏まえ、本計画が目指す将来像を「地域住民の生活を支え、共につくる持続可能な公共交通」とします。

地域住民の生活を支え、共につくる持続可能な公共交通

土佐町の公共交通は、地域住民の移動ニーズに対応し、本町の社会基盤の一つとして機能することを目指します。

また、地域住民の生活を支え、豊かな暮らしを提供するための機能があり、土佐町や交通事業者、地域住民などと共につくり持続可能な公共交通を目指します。

6.2 計画の基本方針

基本方針① 地域住民の生活を支え、誰もが利用できる公共交通の構築

- ◆地域住民の移動手段として生活を支え、誰もが利用できる公共交通を構築します。
- ◆地域住民が希望どおりに外出するために、利用しやすい公共交通を提供します。
- ◆地域住民から移動手段として選ばれる公共交通を構築します。
- ◆公的負担の増加をなるべく抑え、効率的で効果的な公共交通の運行を目指します。

基本方針② わかりやすく利用しやすい公共交通の環境の整備

- ◆希望どおりの外出ができていない方などにわかりやすく公共交通の情報を提供します。
- ◆公共交通を身近な移動手段として認識してもらう取組を実施し、利用促進を図ります。

基本方針③ 共につくる持続可能な公共交通の維持・確保

- ◆運転手の確保に向けた対策を検討し、取組を支援します。
- ◆公共交通の維持・確保に向けて、土佐町や交通事業者だけではなく、地域住民などと共につくる協働の取組を推進します。

6.3 地域公共交通の将来イメージ

(1) 地域公共交通の将来イメージ（5年後）

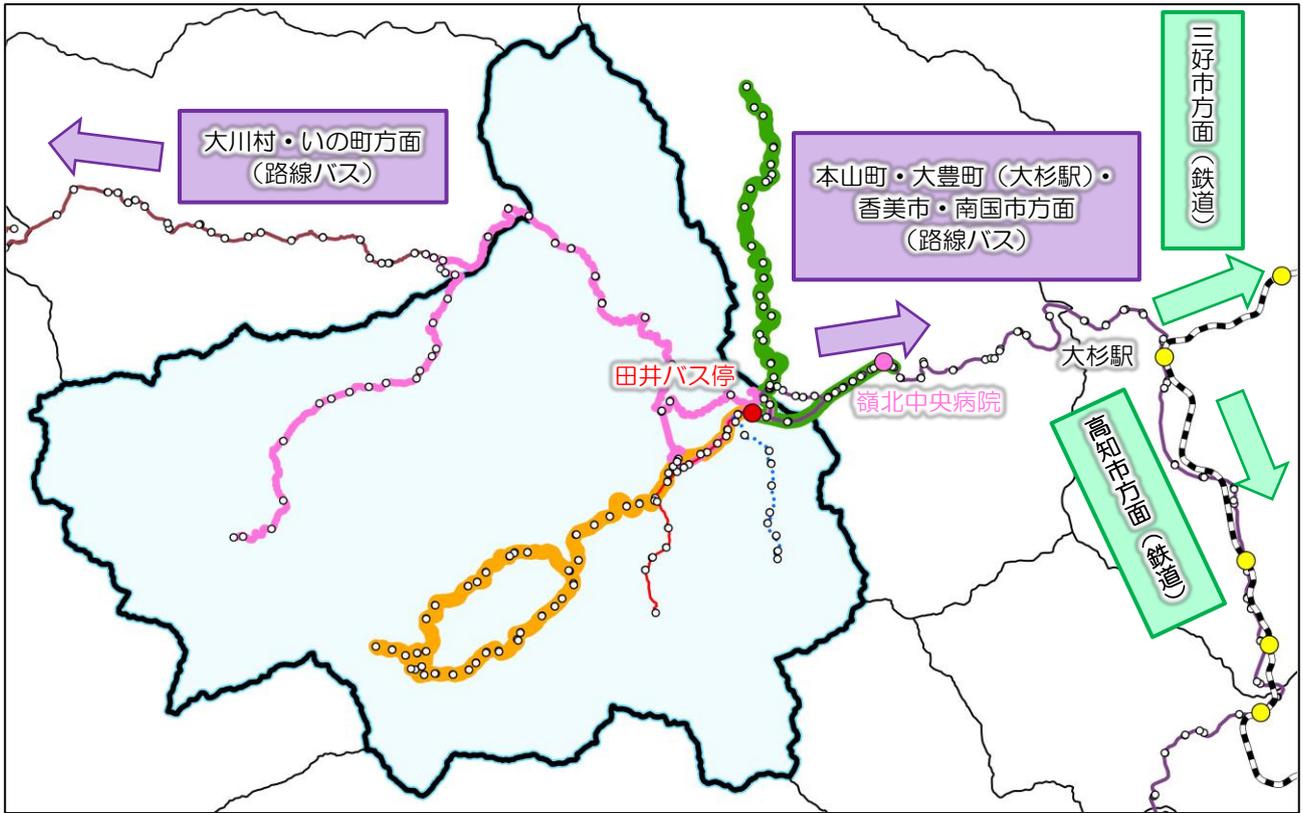
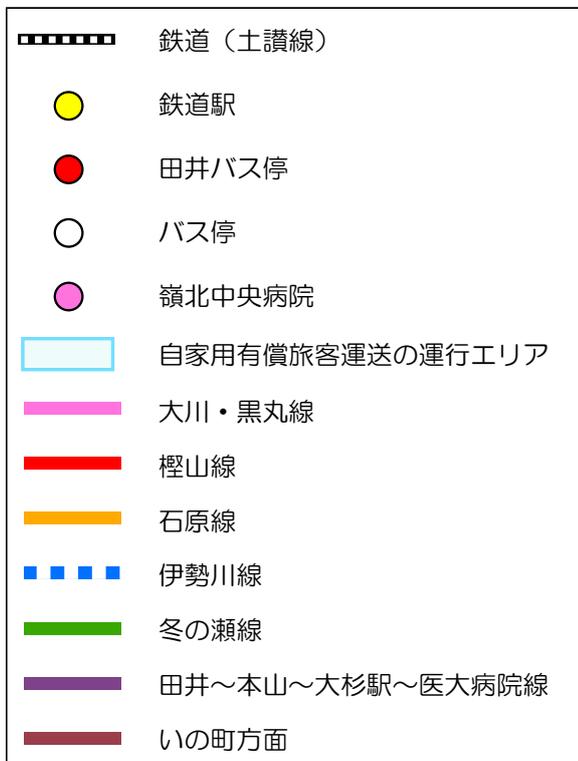


図 6.3-1 地域公共交通の将来イメージ（5年後）



(2) 地域公共交通の将来イメージ（中長期）

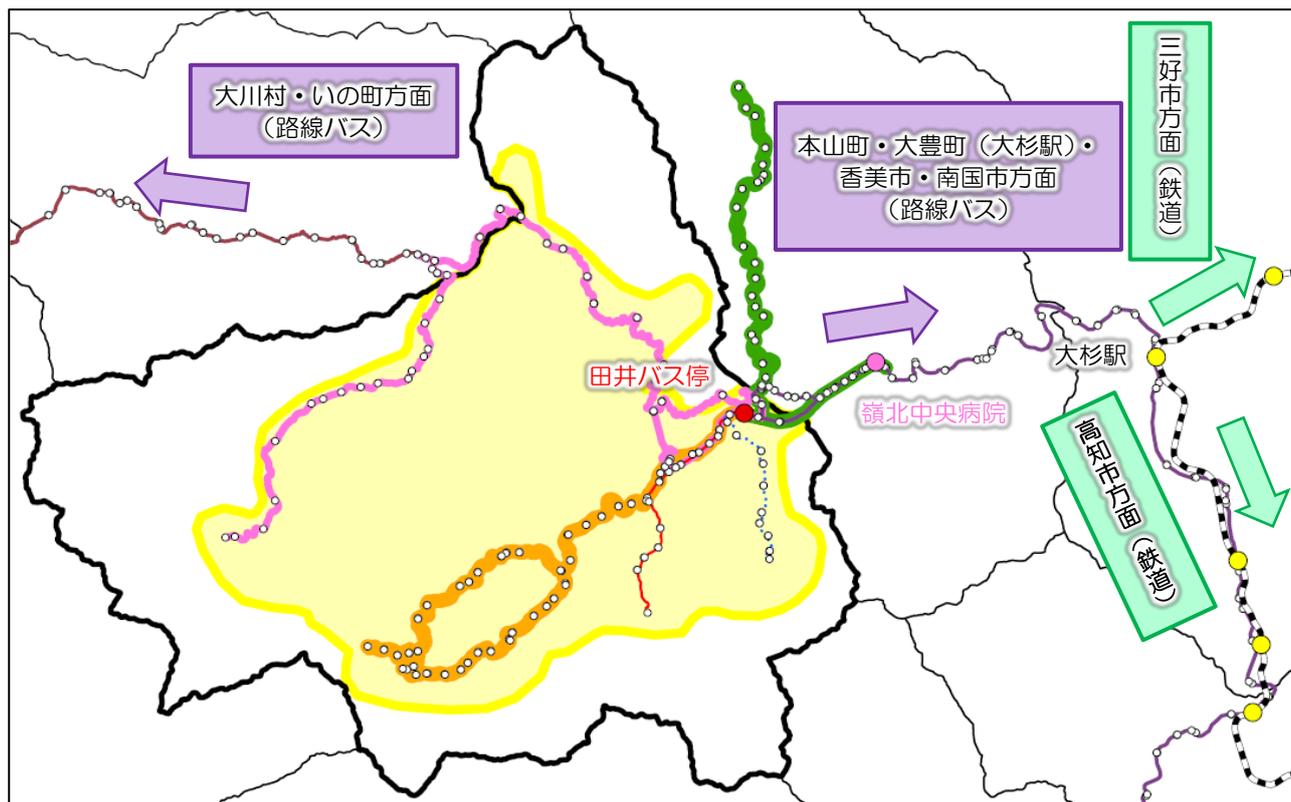


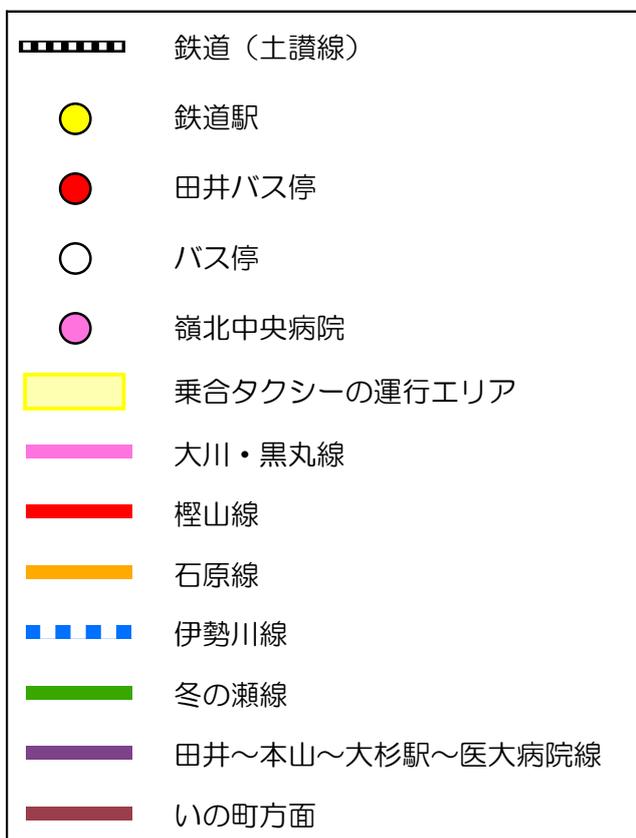
図 6.3-2 地域公共交通の将来イメージ（中長期）

◆路線バス：大川・黒丸線、冬の瀬線については、関係他町村の動向により、変更の場合あり

※檜山トンネル開通時には路線見直し

◆乗合タクシー：タクシー事業者が受託の場合

※ここで言う乗合タクシーとは、一般乗合旅客自動車運送事業として、路線を定めず、旅客の需要に応じた乗合運送を行う「区域運行」を想定しており、タクシー事業者が運行主体になる。



6.4 地域公共交通の位置づけ

(1) 交通手段の位置づけ

機能の分類	交通手段	位置づけ
広域幹線 (鉄道)	鉄道(土讃線)	◇町外(大豊町)にある大杉駅等を経由し、他都市への広域移動に対応する定時性のある交通手段。広域幹線(バス)と連携し、広域移動を担う。
広域幹線 (バス)	路線バス (嶺北観光自動車) ○大川～役場東～田井線 ○大川～中島～田井線 ○黒丸～大川線 ○西石原～地藏寺・バイパス・田井・北岸～本山線 ○田井～北岸・本山～大杉駅・医大病院線 ○田井～中島～冬の瀬線 ○田井～本山～寺家～冬の瀬線	◇主に町内と町外(本山町、大豊町、大川村、香美市、南国市)を直結する利便性が高い広域移動手段。町内と町外を結ぶ広域移動を担う。 ◇町内の移動も支援する。
地域幹線 (バス)	路線バス (嶺北観光自動車) ○田井～南泉入口(バイパス)～檜山線 ○田井～伊勢川線 ○田井～【中学校前】～伊勢川線 ○田井(南泉入口(バイパス)・地藏寺経由)峰石原線 ○田井～森土居～(地藏寺)～平石～西石原～峰石原線 ○田井～森土居～地藏寺～西石原線	◇町内の移動を支援する主要な交通手段。身近な交通として、町内間の移動を担う。
地域支線	自家用有償旅客運送	◇町内の移動を支援する主要な交通手段。身近な交通として、町内間の移動を担う。(町外移動できるのは、嶺北中央病院のみ)
その他	スクールバス	◇小学生・中学生の通学を目的とした交通手段。通学生の利用時間に合わせた運行により、通学における移動を担う。
	タクシー	◇路線バス、自家用有償旅客運送では対応が難しい少量の移動需要などに対し、よりきめ細かいサービスを提供する交通手段。自宅から目的地までの移動を担う。

(2) 交通結節点の位置づけ

機能の分類	交通結節点	位置づけ
広域交通結節点	大杉駅	◇大豊町にある駅で高知市など広域移動するための核となる交通結節点(土佐町においては、路線バス(嶺北観光自動車)を利用して乗り継ぐ)。
広域・地域内交通結節点	田井バス停	◇路線バス(嶺北観光自動車)や自家用有償旅客運送のバス停があり、町内外の円滑な移動を支える交通結節点。

第7章 基本方針を実現するための事業

7.1 事業体系

基本方針	事業	実施主体		
		土佐町	交通事業者	地域住民
① 地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの実現	① 路線バスの維持・確保	○	○	
	② 土佐町乗合交通実証事業(自家用有償旅客運送)の本格運行	○	○	
	③ 土佐町福祉タクシー事業・透析患者の送迎の継続	○	○	
	④ 通学支援の継続	○	○	
	⑤ 新たな福祉輸送の検討	○	○	
② わかりやすく利用しやすい公共交通の環境整備の実現	⑥ わかりやすい公共交通情報の提供	○	○	
	⑦ 待合環境の整備	○	○	
	⑧ モビリティマネジメントの推進	○	○	○
③ 共につくる持続可能な公共交通の実現	⑨ 地域公共交通を支える人材確保	○	○	
	⑩ 地域公共交通の見直しに向けた地域座談会の開催	○	○	○

7.2 事業の主な内容

基本方針① 地域住民の生活を支える公共交通ネットワークの実現

事業① 路線バスの維持・確保

【事業の背景・目的】

- ◆土佐町内を運行する路線バスを住民の足として、維持・確保します。
- ◆また、町外に出かけるための広域交通としての機能や、小学生・中学生の通学手段であるため、町内外をスムーズに移動できるようにします。

【事業の概要】

- ◆利用者のニーズを確認しながら、必要に応じてダイヤ改正を検討します。また、割引制度（「中学生・高校生限定割引」「運転免許証返納者割引」）の周知を推進します。
- ◆また、下記の内容についても検討します。
 - ・利用者が少ない路線の減便
 - ・利用ニーズが多い時間帯への変更

路線名	方向性
土佐町内の路線	減便・現状維持
田井～北岸・本山～大杉駅・医大病院線	現状維持

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
中学生・高校生・運転免許返納者割引の周知・実施				
減便手続	伊勢川線・樫山線の昼便の減便・17時以降便の減便			
他路線減便の検討	状況調査	減便手続 (減便が必要な場合)	減便実施	

【計画の評価指標】 路線バスの年間輸送人員

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
124,300人	122,900人	121,600人	120,500人	119,500人

事業② 土佐町乗合交通実証事業（自家用有償旅客運送）の本格運行

【事業の背景・目的】

- ◆現在、実証運行中の土佐町乗合交通実証事業（自家用有償旅客運送「チョイソコとさちょう」）は、地域の足として定着しつつあり、今後も継続して実施し、本格運行を開始します。

【事業の概要】

- ◆現在の運行内容と同じで、事前予約制・乗合で区域運行とします。
- ◆アンケート結果や交通事業者・関係者等の意見を踏まえて、利用者にとって利用しやすい料金設定を行います。
- ◆アンケート結果や交通事業者・関係者等の意見を踏まえて、下記の内容について検討します。
 - ・割引制度の導入
 - ・土曜日・日曜日の運行
 - ・運行時間の変更
 - ・路線バスの同方向・同時間帯の利用不可の廃止
 - ・田井地域などに居住している方の自宅前までの送迎

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
<p>The diagram shows a horizontal timeline from Heisei 6 to Heisei 10. A thick black arrow spans the entire period. Below this arrow, there are two horizontal bars with text boxes. The first bar starts at the beginning of Heisei 6 and ends at the end of Heisei 7, with a text box labeled '本格運行の準備' (Preparation for full-scale operation). The second bar starts at the beginning of Heisei 8 and ends at the end of Heisei 10, with a text box labeled '本格運行' (Full-scale operation). Below the second bar, there are two smaller text boxes: '運行・料金等について検討 必要に応じて変更' (Review and change as needed regarding operation and fares) spanning Heisei 7 and Heisei 8, and '変更手続 (変更の必要がある場合)' (Change procedure (when change is needed)) spanning Heisei 9 and Heisei 10. A final text box labeled '変更実施' (Change implementation) is located at the end of Heisei 10.</p>				
	運行・料金等について検討 必要に応じて変更		変更手続 (変更の必要がある場合)	変更実施

【計画の評価指標】 土佐町乗合交通事業（自家用有償旅客運送）の年間利用者

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1,000人	1,500人	2,300人	3,100人	4,000人

事業③ 土佐町福祉タクシー事業・透析患者の送迎の継続

【事業の背景・目的】

- ◆路線バスや自家用有償旅客運送の利用が難しい人のために、土佐町福祉タクシー事業や透析患者の送迎を継続して実施し、タクシーによる移動を支援します。

【事業の概要】

- ◆土佐町福祉タクシー事業は、現在の事業内容を継続させ、初乗り運賃のみ利用者が直接タクシー事業者を支払い、残りの額をタクシー事業者から町に請求するようにします。
- ◆透析患者の送迎は、現在の事業内容を継続させ、外出支援事業を実施します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		継続して事業を実施		

事業④ 通学支援の継続

【事業の背景・目的】

- ◆現在、土佐町では小学生・中学生への通学支援として、嶺北観光自動車に委託し、スクールバス（路線バス混乗及びスクールバス専用）を運行しており、今後も継続して支援します。
- ◆また、スクールバスを利用できない地域の方に対しては、遠距離通学費補助金により、今後も継続して支援します。

【事業の概要】

- ◆スクールバスについては、利用者の人数を把握し、適切な車両サイズによる運行を実施します。
- ◆運行方法や送迎時間の変更などについては、関係各課や交通事業者などと協議しながら対応します。
- ◆遠距離通学費補助金を継続します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		継続して事業を実施		



事業⑤ 新たな福祉輸送の必要性の検討

【事業の背景・目的】

- ◆町内には介護タクシー事業者は無く、車いす利用者等の移動はデイサービス等の介護保険事業利用時、または家族等による送迎が現状であり、新たな福祉輸送の必要性を検討します。

【事業の概要】

- ◆新たな福祉輸送の必要性を検討します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				
担当課等による 検討開始		担当課・関係機関による検討		

基本方針② わかりやすく利用しやすい公共交通の環境整備の実現

事業⑥ わかりやすい公共交通情報の提供

【事業の背景・目的】

- ◆公共交通の情報を地域住民にわかりやすく提供し、公共交通の認知度を高め、利用促進を図ります。

【事業の概要】

- ◆「広報とさちよう」や町・交通事業者ホームページなどを活用し、時刻表や運行ルートなどわかりやすく情報を提供します。また、公共交通の現状や利用するメリット、利用の仕方などの情報を提供します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
→				
内容検討	町ホームページ・広報「とさちよう」での情報掲載			
→				
交通事業者ホームページでの情報掲載				

事業⑦ 待合環境の整備

【事業の背景・目的】

- ◆利用者が安心して利用できるように、待合環境の整備に努めます。

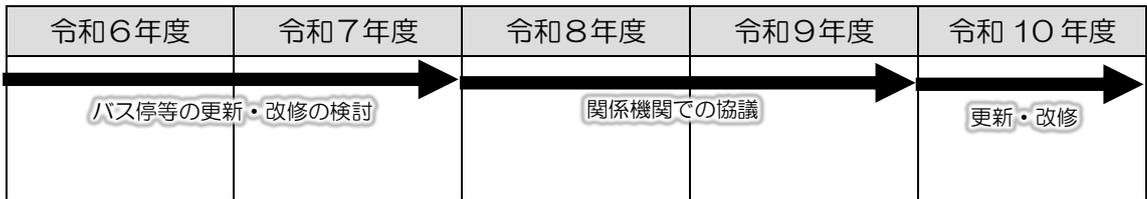
【事業の概要】

- ◆必要に応じて、バス停等の更新・改修を検討します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				
バス停等の更新・改修の検討		関係機関での協議		更新・改修

事業⑧ モビリティマネジメントの推進

【事業の背景・目的】

- ◆公共交通の認知度を高めて利用者が利用しやすく感じるようにし、モビリティマネジメントの推進を通じて、利用促進を図ります。
- ◆現状、チョイソコとさちょうの利用者の79.9%は70～80歳の高齢者ですが、今後は学生・子育て世代の移動手段として利用してもらうために、利用促進を図ります。

【事業の概要】

- ◆高齢者・子育て世代を主な対象とした「自家用有償旅客運送」の乗り方教室を開催します。また、中学生を主な対象とした「路線バス」の乗り方教室を開催します。
- ◆土佐町が開催・協賛するイベント案内のチラシなどに路線バスの時刻表を載せて、公共交通機関の利用を呼びかけます。

【実施主体】

土佐町、交通事業者、地域住民

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
内容検討	「自家用有償旅客運送」の乗り方教室の開催			
	JR・路線バスの利用案内・バス会社による時刻表の配布			
内容検討	「路線バス」の乗り方教室の開催			

モビリティマネジメントとは

ある地域において、「過度に自家用車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を利用する状態」へと変えていく一連の取組をいう。

具体的には、学校で講習会や乗り方教室等を開催し公共交通に関心を持ってもらうといった取組を通じて、自発的な行動の変換を促していく、コミュニケーションを中心とした交通政策を指す。

基本方針③ 共につくる持続可能な公共交通の実現

事業⑨ 地域公共交通を支える人材確保

【事業の背景・目的】

- ◆ 今後、運転手の確保が難しい状況が予測されるため、公共交通サービスの品質や継続性に影響を与えないように、運転手確保の取組を支援します。

【事業の概要】

- ◆ 高知県と協力しながら就職イベントの参加や、土佐町及び高知県が運営する移住ポータルサイトや移住相談会などを活用し、公共交通の担い手確保を支援します。

【実施主体】

土佐町、交通事業者

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		就職イベント等への参加		
		移住相談会等での紹介		

事業⑩ 地域公共交通の見直しに向けた地域座談会の開催

【事業の背景・目的】

- ◆公共交通について地域住民から意見をいただく機会が少ないため、地域座談会等を開催します。
- ◆また、公共交通に関する情報提供を行います。(アンケートより情報を知る手段として口コミが一番多いことがわかり、広報紙やホームページを活用した取組も重要ですが、顔を合わせて直接、地域住民に対して情報提供を行うことが効果的であると考えられます。)

【事業の概要】

- ◆路線バスのダイヤ改正や自家用有償旅客運送の運行内容の改善など、地域住民（特に高齢者等のいわゆる交通弱者）のニーズを正しく認識するために毎年、あったかふれあいセンター等の開催に合わせて地域座談会を開催し、公共交通への反映を検討します。
- ◆開催にあたっては、地域住民に土佐町の公共交通の現状を共有し、公共交通の確保・維持に向けた当事者意識の醸成を図ります。

【実施主体】

土佐町、交通事業者、地域住民

【実施時期】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
内容検討		毎年1回は実施		

第8章 計画の評価指標と進捗管理

8.1 計画の評価指標の設定

計画の評価指標① 路線バス

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
年間輸送人員(人)	125,702	119,500	今後、利用者の減少が見込まれるなか、5%以内の減少に止めることを目指す。
収支率(%)	33.5	28.0	今後、利用者の減少や運転手の人件費が上がってくることが見込まれるなか、28.0%程度に止めることを目指す。

計画の評価指標② 土佐町乗合交通事業(自家用有償旅客運送)

指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
年間利用者(人)	3,432 (見込値)	4,000	今後、本格運行を開始し、地域の足として、令和5年度(見込値)を基準にして、500人程度の増加を目指す。
収支率(%)	—	7.9	今後、本格運行を開始し、利用者数の増加を目指しながら、7.9%程度を目指す。

計画の評価指標③ 土佐町の公共交通への公的負担

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
公的負担額(千円)	81,026	85,000	今後、運転手の人件費が上がってくることが見込まれるなか、5%以内の増加に止めることを目指す。

計画の評価指標④ 「広報とさちょう」における公共交通の情報提供

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の考え方
「広報とさちょう」に公共交通の特集記事を掲載数(回)	0	計5 (毎年1回掲載)	公共交通の認知度を高め、利用促進を図るために、毎年1回以上掲載することを目指す。

8.2 計画の実施及び進捗管理の体制

(1) 計画の進捗管理

毎年度実施する土佐町地域公共交通会議において、計画に位置づけられた各事業の取組状況と各評価指標の評価結果を報告し、計画の進捗管理を行います。

なお、計画の進捗状況を踏まえ、土佐町地域公共交通会議で事業の見直し等を必要に応じて実施します。

(2) 計画期間全体の取組スケジュール

計画期間全体における毎年度の事業実施や評価等の取組スケジュールを以下に示します。

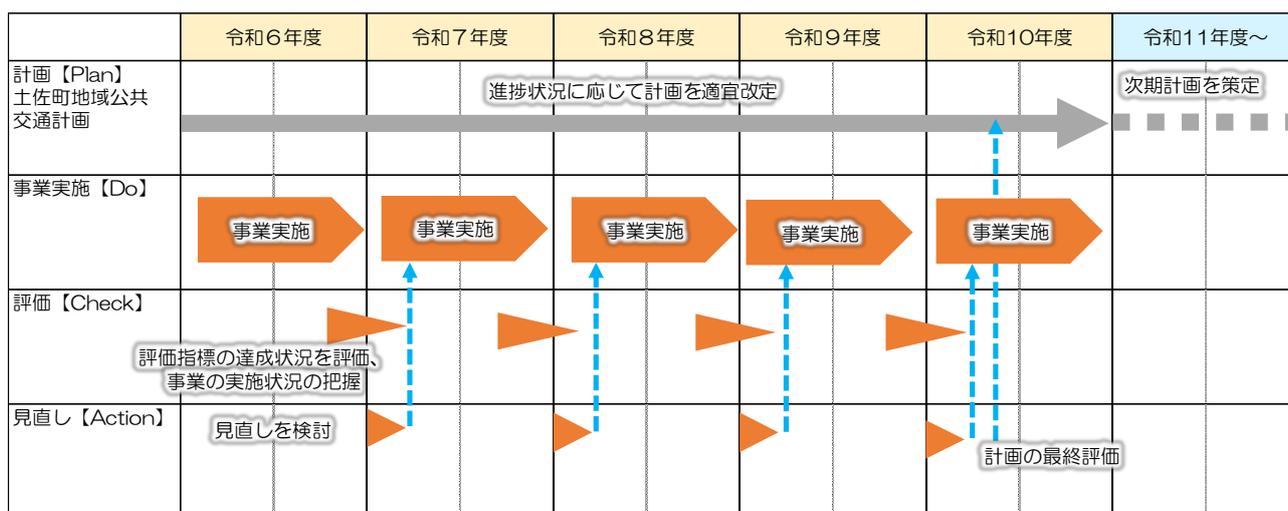


図 8.2-1 計画期間全体の取組スケジュール

土佐町地域公共交通計画

発行年月：令和6年3月

発行：土佐町

〒781-3492 高知県土佐郡土佐町土居 194

TEL：0887-82-0480

FAX：0887-82-2681
